

第3次三鷹市基本計画(第2次改定)に向けた
市民意向調査結果報告書

平成19年3月

三 鷹 市

目次

1 . 調査の概要	
1 . 1 調査の目的	1
1 . 2 調査方法	1
1 . 3 回収状況	1
1 . 4 調査体制	1
1 . 5 本報告書の記載について	2
2 . 回答者の属性	
2 . 1 回答者の属性	3
2 . 2 母集団の属性と回答者の属性の比較	6
3 . 全施策	
3 . 1 全施策の平均値比較	7
3 . 2 クラスタ分析による施策間比較	13
4 . 最重点・重点プロジェクト	
4 . 1 最重点プロジェクト	15
4 . 2 重点プロジェクト	17
5 . 施策別の重要度・満足度	
5 . 1 世界に開かれた平和・人権のまちをつくる	19
5 . 2 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる	24
5 . 3 安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる	37
5 . 4 人と自然が共存できる循環・環境のまちをつくる	48
5 . 5 希望と安全にみちた健康・福祉のまちをつくる	55
5 . 6 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	62
5 . 7 創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる	72
5 . 8 ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる	81
6 . その他	
6 . 1 三鷹市での居留意向	86
6 . 2 三鷹市政への満足度	88
6 . 3 三鷹市役所への信頼度	88
7 . 結果の考察（まとめ）	89
資料（調査票）	

1 . 調査の概要

1 . 1 調査の目的

本調査は、三鷹市在住の 15 歳以上の市民を対象に、本市のさまざまな取り組みに対する重要度・満足度を調査し、今後の市政に市民の声を反映させるために実施したものである。本調査は主に、現在三鷹市でとり行っている第 3 次基本計画に基づく各施策について、市民がどの程度重要と感じているか、またその取り組みについてどの程度満足しているかを意識調査したものである。

なお調査結果については、平成 19 年度に予定している第 3 次基本計画の第 2 次改定、また今後のより良い行政サービスを提供する仕組みづくりのための基礎資料とすることを目的としている。

1 . 2 調査方法

調査地域：東京都三鷹市全域

調査対象：市内在住の 15 歳以上の男女

対象者数：3,500 人

抽出方法：三鷹市住民基本台帳（平成 19 年 1 月 1 日現在）から無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収

調査期間：平成 19 年 2 月 5 日～3 月 5 日

1 . 3 回収状況

標本数	3,489
総回収数	1,655
うち有効回答数	1,650（有効回答率 47.3%）

1 . 4 調査体制

本調査は、三鷹市企画部企画経営室からの委託により、財団法人日本総合研究所が実施した。

1.5 本報告書の記載について

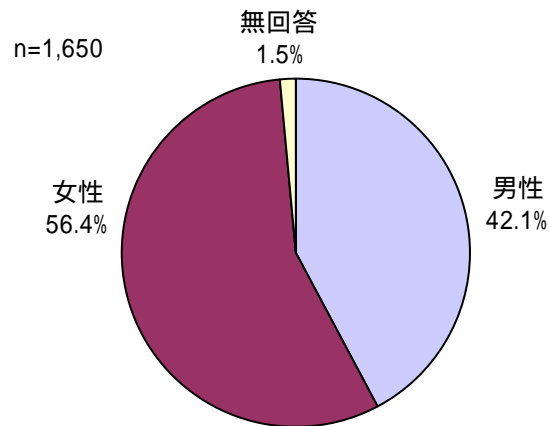
三鷹市では、平成16年6月に同様の調査（「第3次三鷹市基本計画改定に向けた市民意向調査」）を実施している。

本報告書の中で、平成16年の調査結果と今回の調査結果の比較を行っているものもあるため、前者を「前回調査」、後者を「今回調査」と表記する。

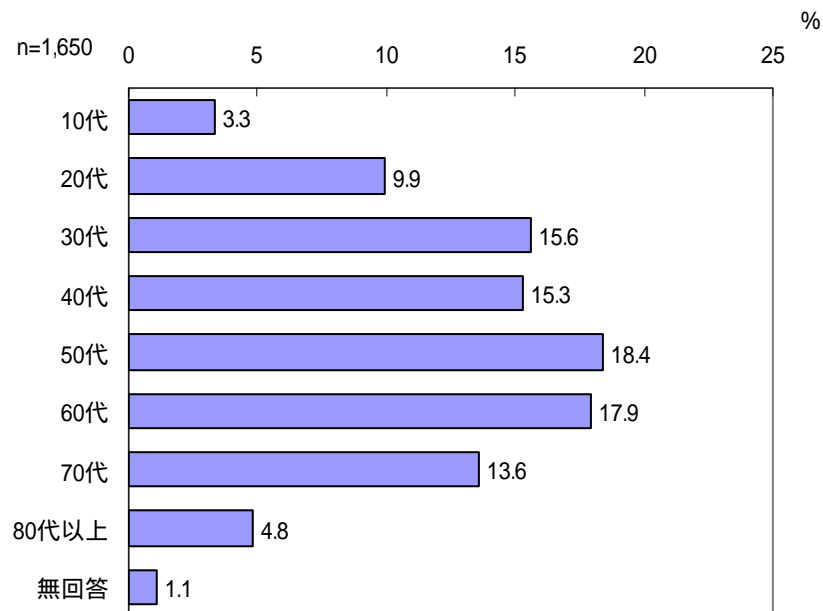
2 . 回答者の属性

2 . 1 回答者の属性

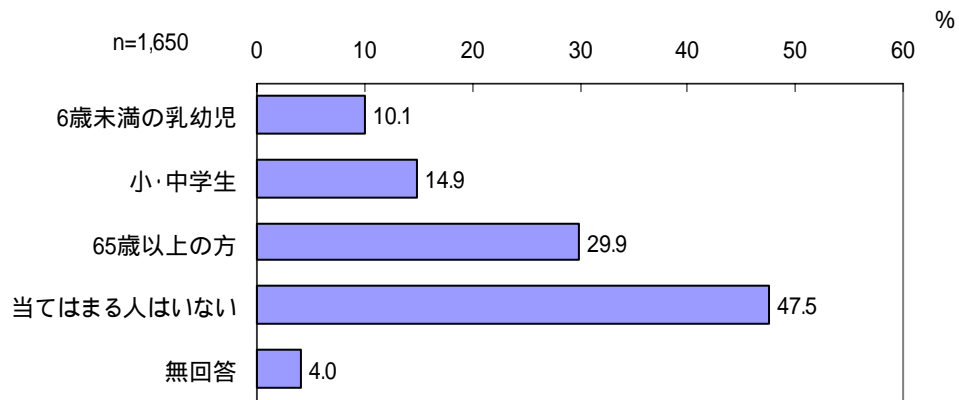
(1) 性別



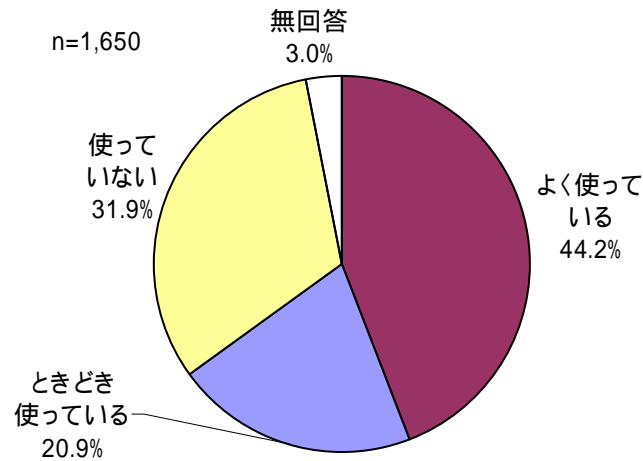
(2) 年齢



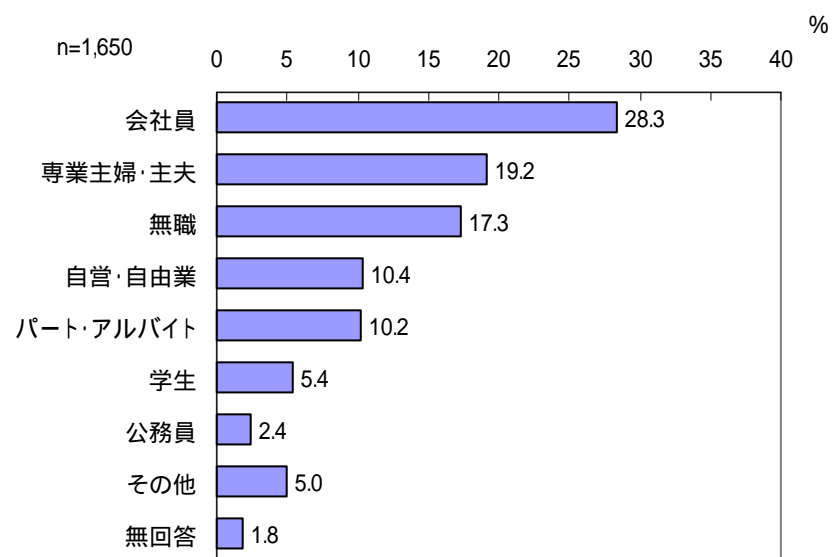
(3) 同居している家族 (複数回答)



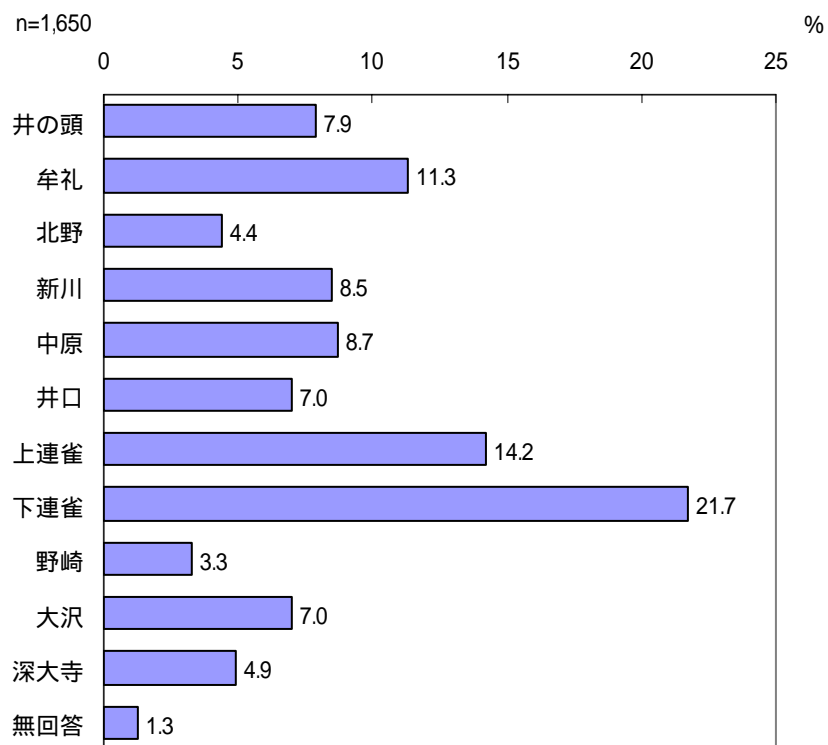
(4) インターネットやEメールの使用状況



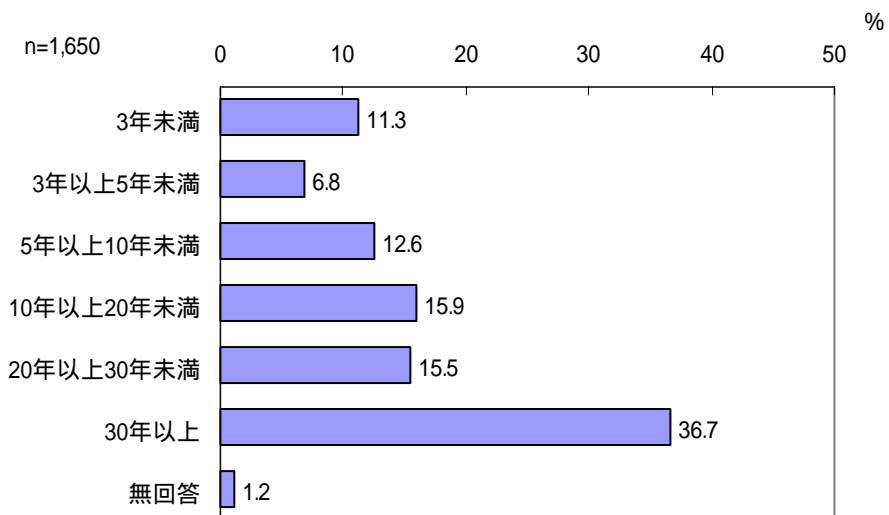
(5) 職業



(6) 居住地



(7) 居住年数



2.2 母集団の属性と回答者の属性の比較

三鷹市住民基本台帳（平成 19 年 1 月 1 日現在）より作成した母集団の属性と、本調査の回答者の属性を比較した。

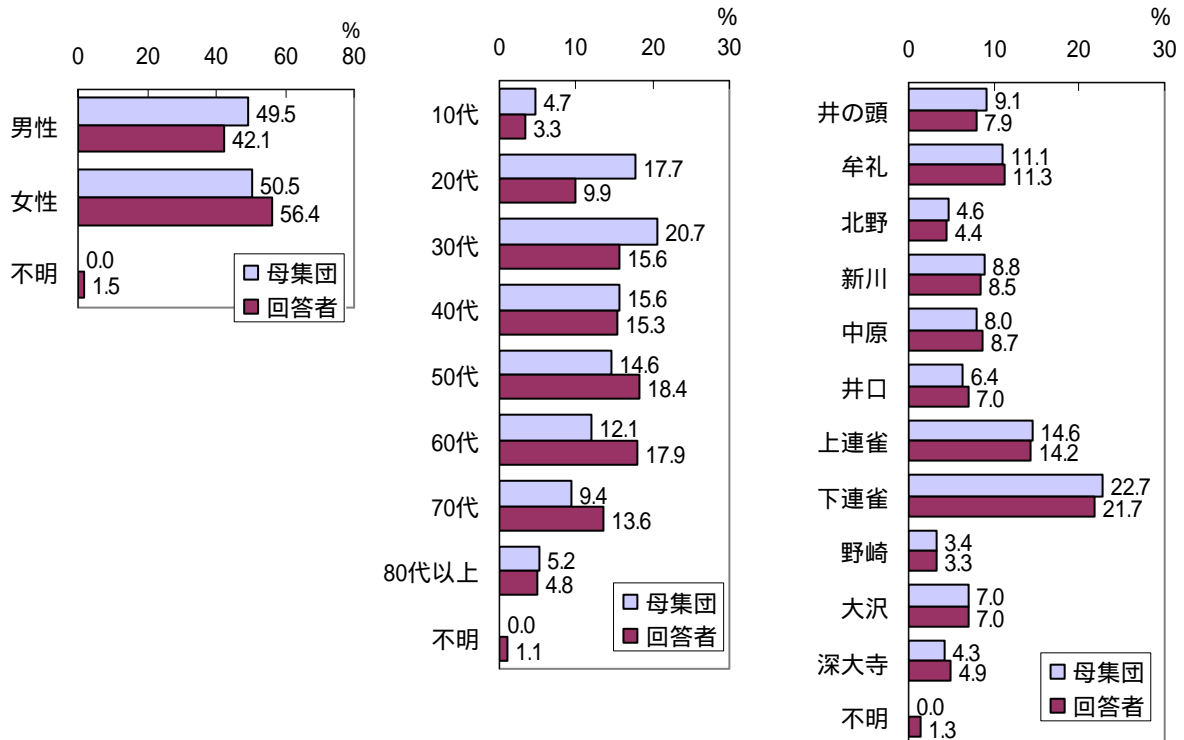
まず性別は、母集団と比べて回答者の男性の構成比が低く、女性が高くなっている。

次いで年齢は、母集団と比べて 30 代以下の若年層の構成比が低く、50 代以上の中高年齢層の構成比が高くなっている（なお本調査における「10 代」は、15 歳～19 歳までをいう）。

居住地に関しては、母集団と回答者でほとんど差はみられない。

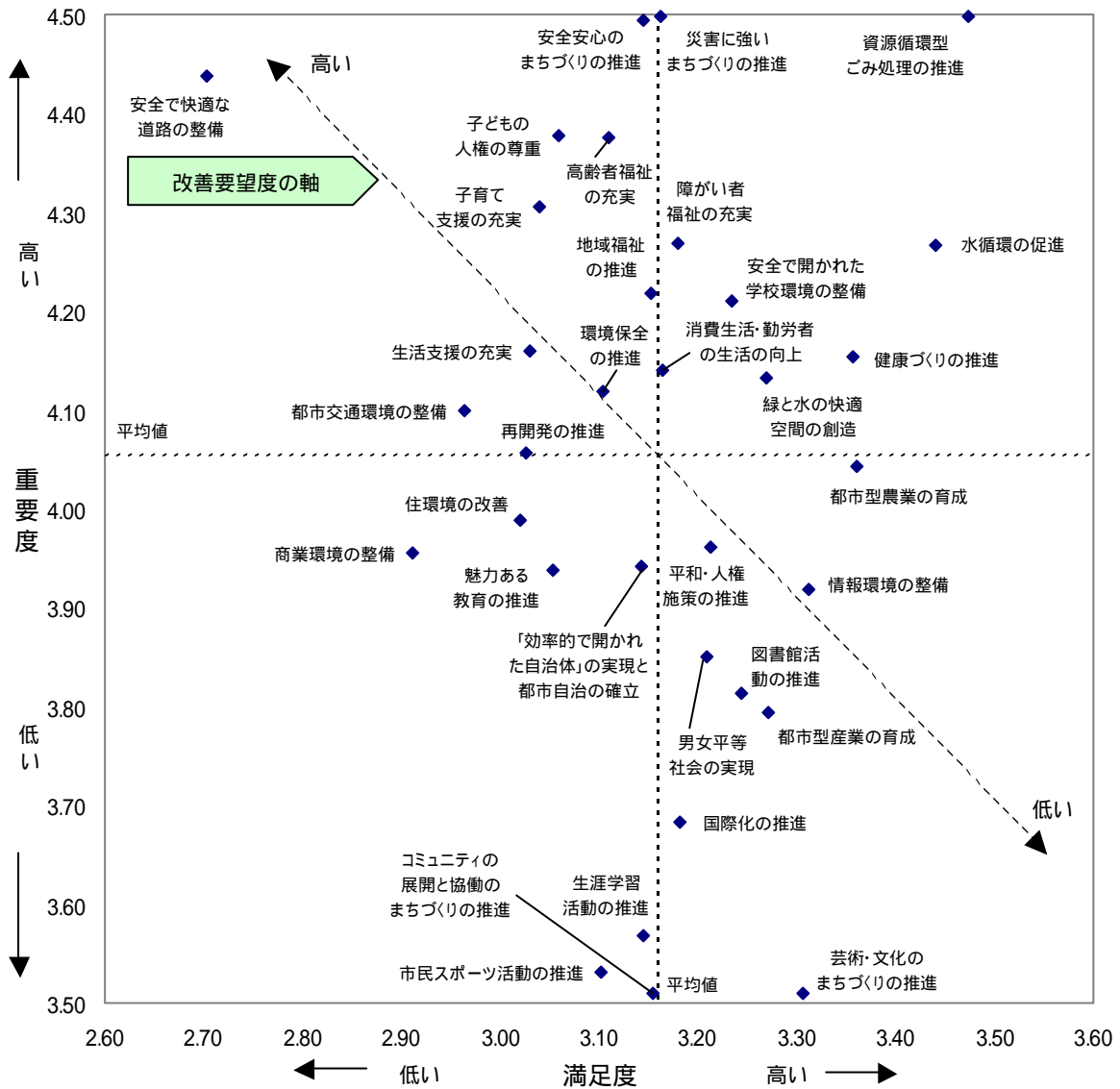
	性別		年齢			居住地		
	母集団	回答者		母集団	回答者		母集団	回答者
男性	85,131	695	10代	7,183	55	井の頭	15,572	130
女性	86,925	931	20代	26,804	164	牟礼	19,026	186
			30代	31,307	258	北野	7,953	72
			40代	23,593	252	新川	15,205	140
			50代	22,092	303	中原	13,824	143
			60代	18,310	296	井口	11,025	115
			70代	14,237	224	上連雀	25,044	234
			80代以上	7,814	80	下連雀	39,131	358
						野崎	5,768	54
						大沢	12,048	115
						深大寺	7,460	81
合計	172,056	1,626	合計	151,340	1,632	合計	172,056	1,628

「10代」は15～19歳。



3. 全施策

3.1 全施策の平均値比較



グラフの見方

それぞれの設問で、三鷹市の施策に対する回答者の重要度（「重要」、「まあ重要」、「ふつう」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」の5段階評価）を5～1点に得点化した。満足度も同様に得点化し（「満足」、「まあ満足」、「ふつう」、「やや不満」、「不満」の5段階評価、ただし「わからない」は得点化から除く）、重要度と満足度の得点の平均値を算出した。

上図は、全33項目にわたる施策の重要度と満足度の平均値をプロットしたものである。図中の点線は全ての設問の平均値（重要度4.05、満足度3.16）を表しており、これを基に4領域に分けることができる。なお、本来であれば中間の評価である「ふ

つう」(3点)を中心に領域を分けることが妥当であるが、平均値が3点を大きく上回っていることから、領域の区分には平均値を用いることとした(以下、各施策のグラフでも同様)。

前回調査の「住環境の改善・防犯対策の推進」は、今回調査では「安全安心のまちづくりの推進」と「住環境の改善」の2つに分けられている。したがって、今回調査の施策数は、前回調査より1項目多い33施策となっている。

【前回調査】		
施策名	重要度	満足度
住環境の改善・防犯対策の推進	3.99	3.02
【今回調査】		
施策名	重要度	満足度
安全安心のまちづくりの推進	4.49	3.15
住環境の改善	3.99	3.02

重要度・満足度ともに高い領域(第1象限、右上)にある項目は、「資源循環型ごみ処理の推進」(問17)、「水循環の促進」(問18)、「災害に強いまちづくりの推進」(問14)、「健康づくりの推進」(問23)などである。

重要度が高く、満足度が低い領域(第2象限、左上)にある項目は、「安全で快適な道路の整備」(問10)、「安全安心のまちづくりの推進」(問13)、「子どもの人権の尊重」(問24)などである。

重要度が低く、満足度が高い領域(第4象限、右下)にある項目は、「芸術・文化のまちづくりの推進」(問31)、「国際化の推進」(問1)、「都市型産業の育成」(問6)、「図書館活動の推進」(問29)などである。

最後に、重要度・満足度ともに低い領域(第3象限、左下)にある項目は、「市民スポーツ活動の推進」(問30)、「コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進」(問32)、「生涯学習活動の推進」(問28)、「商業環境の整備」(問7)などである。ただし重要度・満足度がともに低いとはいえ、満足度はほぼ全てで中間点の3点以上、重要度にいたっては中間点をはるかに越えていることを考慮すると、全項目の重要度・満足度は全体的に高いといえる。

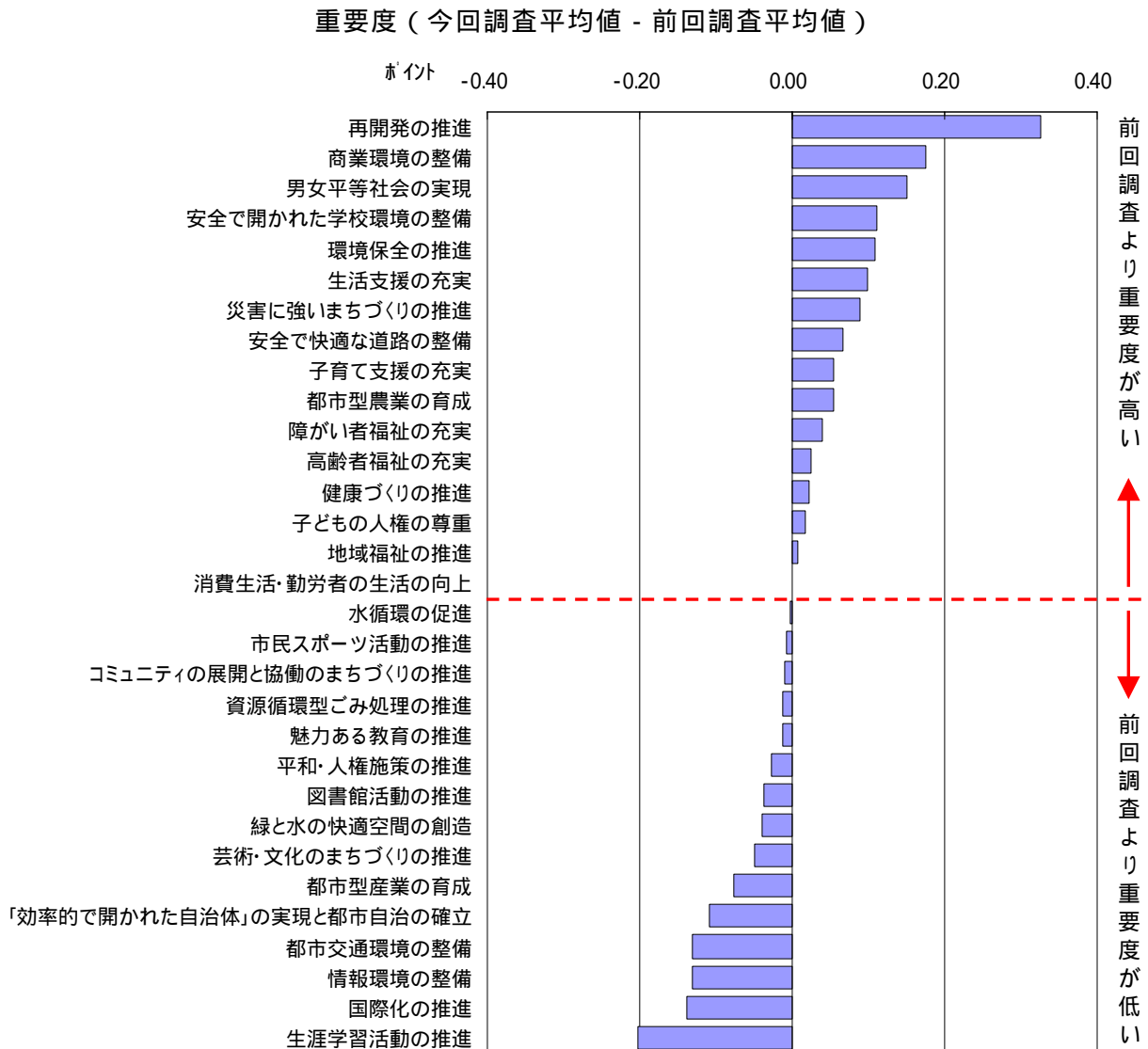
その中でも「安全で快適な道路の整備」(問10)については、重要度の評価が非常に高いのに対し、満足度が中間点の3点を下回っていることが特徴として挙げられる。

施策別平均値の変化（前回調査との比較）

今回調査における施策別の重要度・満足度の平均値を前回調査と比較した。それぞれの施策について、今回調査の平均値と前回調査の平均値の差を求めたものが、下のグラフである。

まず重要度について概観すると、前回調査より重要度が高くなった施策と低くなった施策の数はほぼ半々である。

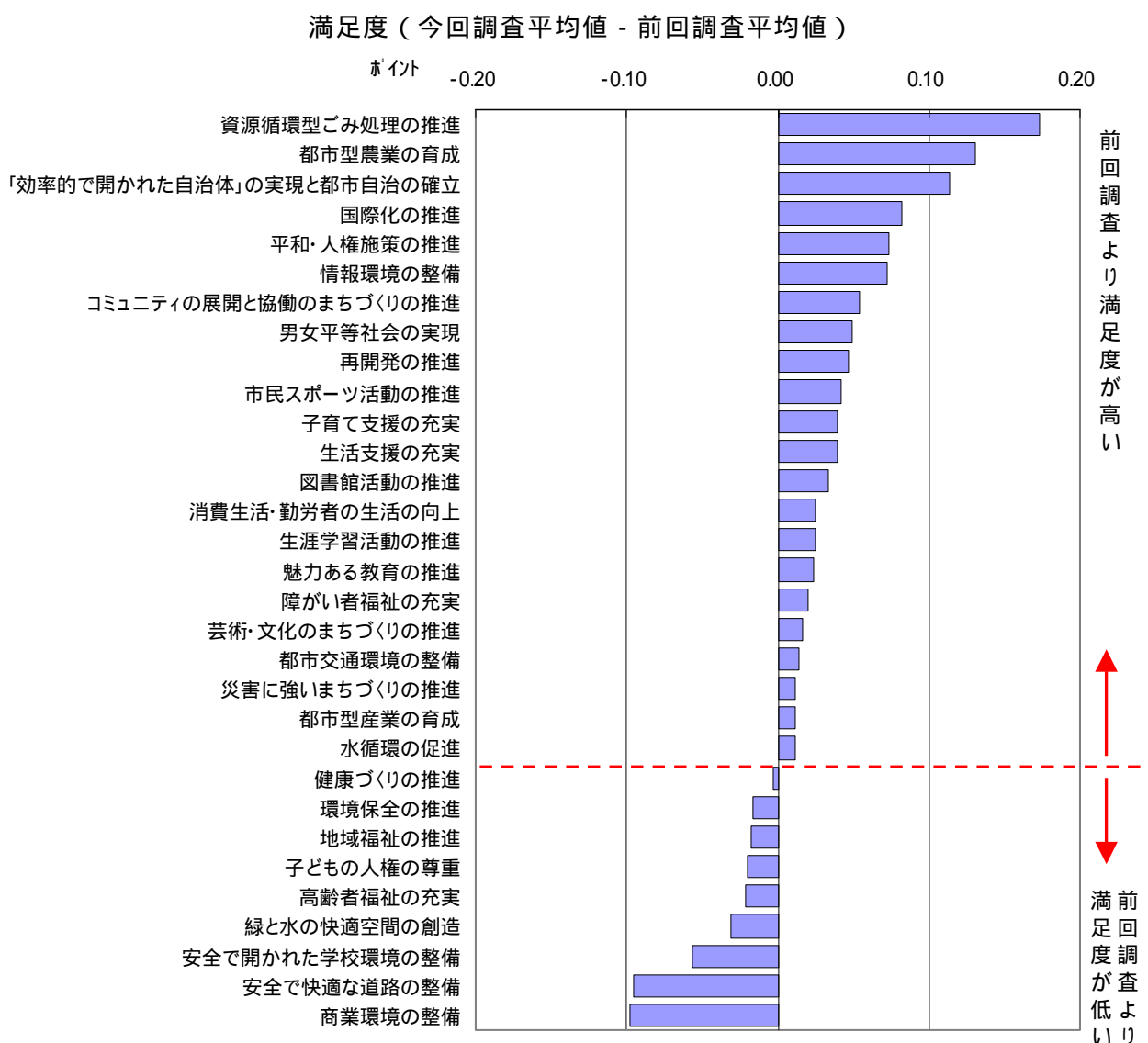
そのうち最も重要度が高くなった（差が大きい）施策は「再開発の推進」である。次いで、「商業環境の整備」、「男女平等社会の実現」、「安全で開かれた学校環境の整備」と続いている。一方、最も重要度が低くなった（差が大きい）施策は「生涯学習活動の推進」である。次いで、「国際化の推進」、「情報環境の整備」、「都市交通環境の整備」と続いている。



注：前回調査の項目「住環境の改善・防犯対策の推進」は、今回の調査では「住環境の改善」と「安全安心のまちづくりの推進」の2項目に分けられたため、比較から除外した。

次に満足度についてみると、全施策の4分の3の施策で、満足度が前回調査を上回っていることから、ここ数年間の市政に対する評価が得られたといえる。そのうち最も満足度が高くなった（差が大きい）施策は「資源循環型ごみ処理の推進」である。次いで、「都市型農業の育成」、「『効率的で開かれた自治体』の実現と都市自治の確立」、「国際化の推進」と続いている。一方、最も満足度が低くなった（差が大きい）施策は「商業環境の整備」である。次いで、「安全で快適な道路の整備」、「安全で開かれた学校環境の整備」、「緑と水の快適空間の創造」と続いている。

概ね、前回調査より満足度が低くなった施策では、重要度が前回調査に比べて高くなっている。



注：前回調査の項目「住環境の改善・防犯対策の推進」は、今回の調査では「住環境の改善」と「安全安心のまちづくりの推進」の2項目に分けられたため、比較から除外した。

改善要望度

各施策の重要度・満足度を同等の尺度で評価するため、それぞれの数値を標準化し、標準化された重要度・満足度を合算して新たな指標「改善要望度」を作成した。これは重要度と満足度双方を考慮して、いずれの施策を優先的に改善すればよいのかを把握する一つの指標と位置づけられる。

なお改善要望度は、満足度が低く重要度が高いほど数値が大きくなり、満足度が高く重要度が低いほど小さくなるよう、以下のような数式を用いて算出した。

$$\text{改善要望度} = (\text{重要度 } z \text{ 値}) - (\text{満足度 } z \text{ 値})$$

$$\text{重要度 } z \text{ 値} = (\text{各施策の重要度平均} - \text{重要度全体の平均}) / \text{重要度全体の標準偏差}$$

$$\text{満足度 } z \text{ 値} = (\text{各施策の満足度平均} - \text{満足度全体の平均}) / \text{満足度全体の標準偏差}$$

今回調査

前回調査

順位	施策	重要度 平均値	満足度 平均値	改善 要望度	前回比	順位	改善 要望度
1	安全で快適な道路の整備	4.44	2.70	4.294		1	3.780
2	子どもの人権の尊重	4.38	3.06	1.764		4	1.637
3	子育て支援の充実	4.30	3.04	1.642		3	1.825
4	安全安心のまちづくりの推進	4.49	3.15	1.610		5*	1.487
5	災害に強いまちづくりの推進	4.50	3.16	1.519		7	1.299
6	高齢者福祉の充実	4.38	3.11	1.436		8	1.224
7	都市交通環境の整備	4.10	2.96	1.427		2	2.125
8	商業環境の整備	3.95	2.91	1.266		18	-0.019
9	生活支援の充実	4.16	3.03	1.207		9	1.185
10	再開発の推進	4.06	3.03	0.865		17	0.019
11	住環境の改善	3.99	3.02	0.671		5*	1.487
12	地域福祉の推進	4.22	3.15	0.608		14	0.396
13	障がい者福祉の充実	4.27	3.18	0.602		12	0.547
14	環境保全の推進	4.12	3.10	0.582		16	0.020
15	魅力ある教育の推進	3.94	3.05	0.278		13	0.471
16	消費生活・勤労者の生活の向上	4.14	3.16	0.257		15	0.359
17	安全で開かれた学校環境の整備	4.21	3.23	0.054		25	-0.919
18	「効率的で開かれた自治体」の実現と都市自治の確立	3.94	3.14	-0.293		10	0.847
19	緑と水の快適空間の創造	4.13	3.27	-0.449		21	-0.731
20	資源循環型ごみ処理の推進	4.50	3.47	-0.517		11	0.548
21	平和・人権施策の推進	3.96	3.21	-0.678		19	-0.206
22	健康づくりの推進	4.15	3.36	-0.951		29	-1.333
23	男女平等社会の実現	3.85	3.21	-1.034		30	-1.447
24	水循環の促進	4.27	3.44	-1.107		28	-1.332
25	都市型農業の育成	4.04	3.36	-1.356		31	-1.559
26	図書館活動の推進	3.81	3.24	-1.390		26	-1.259
27	市民スポーツ活動の推進	3.53	3.10	-1.440		27	-1.297
28	国際化の推進	3.68	3.18	-1.444		20	-0.545
29	情報環境の整備	3.92	3.31	-1.475		22	-0.732
30	生涯学習活動の推進	3.57	3.14	-1.594		24	-0.883
31	都市型産業の育成	3.79	3.27	-1.641		23	-0.882
32	コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進	3.51	3.15	-1.858		32	-1.673
33	芸術・文化のまちづくりの推進	3.51	3.31	-2.853		33	-2.951

*前回調査時の施策名は、「住環境の改善・防犯対策の推進」であったが、今回調査では「安全安心のまちづくりの推進」と「住環境の改善」の2つの施策に分けられているため、前回調査との比較は参考にとどめる。

注：薄い網掛けは、前回調査よりも5位下がったもの
濃い網掛けは、前回調査よりも5位上がったもの

前回調査と比較して、上位 10 施策の順位の入替わりをみると、「安全で快適な道路の整備」が前回調査に引き続き第 1 位となっている。第 2 位は「子どもの人権の尊重」(前回調査では第 4 位)、第 3 位は「子育て支援の充実」(同 3 位)と続いている。

前回調査の順位から大きく入れ替わったのは、第 8 位の「商業環境の整備」(同 18 位)と第 10 位の「再開発の推進」(同 17 位)である。

改善要望度の高い上位 10 施策は、交通環境、子ども、まちづくり、福祉、活性化に関連する施策といえる。

逆に順位が下がった(要望度が低くなった)施策は、第 18 位の「『効率的で開かれた自治体』の実現と都市自治の確立」(同 10 位)と第 20 位の「資源循環型ごみ処理の推進」(同 11 位)が挙げられる。これらの施策については、前回調査と比べ満足度が向上した(P.10)ことが影響していると考えられる。

3.2 クラスタ分析による施策間比較

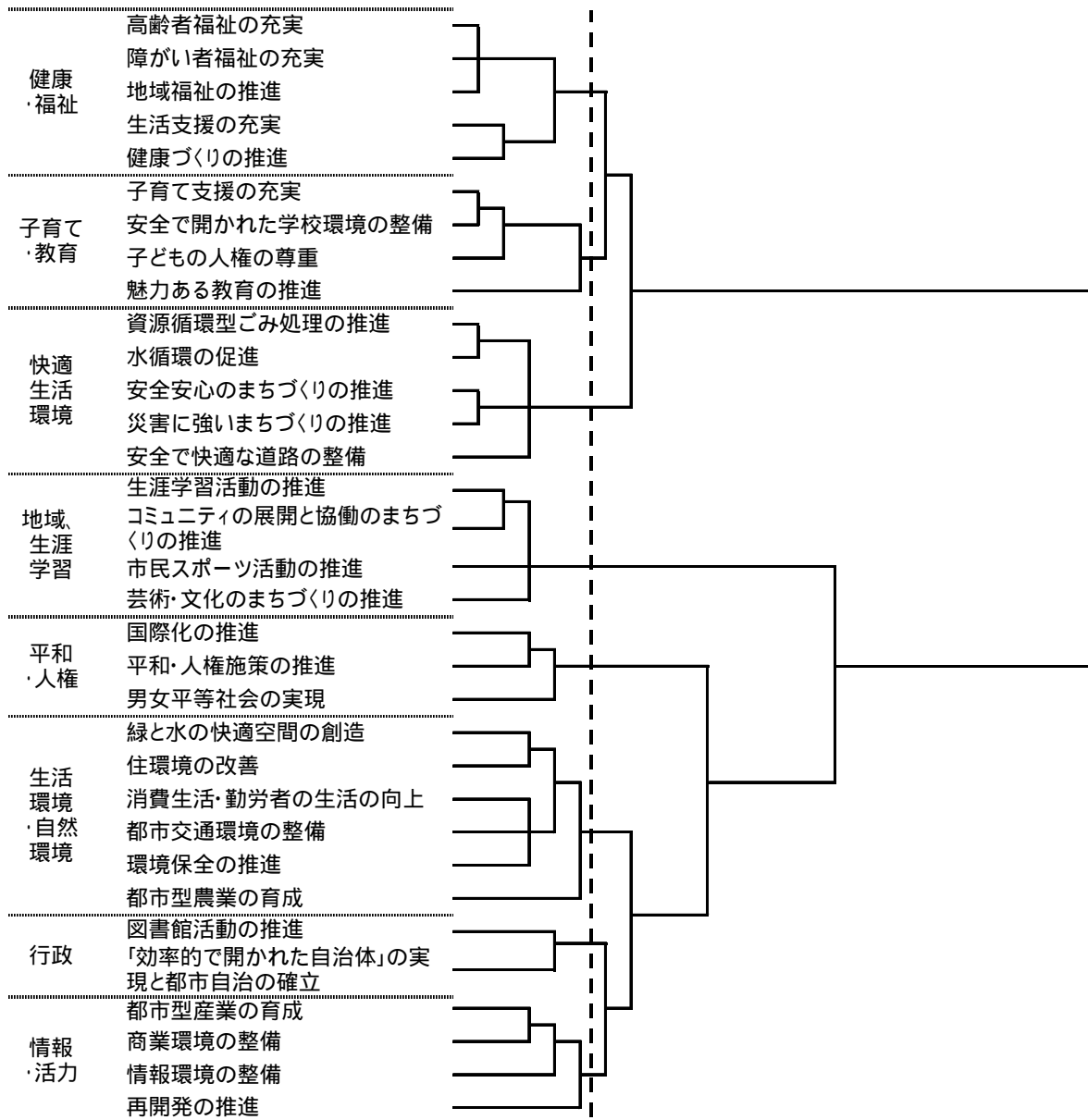
現在三鷹市で取り組んでいる全 33 施策を、クラスタ分析という分析手法を用いて類似するグループに分類した。この分析手法は、複数のデータのある類似の尺度を用いて似たもの同士を集め、いくつかのグループ（クラスタ）に分類するものである。類似の尺度としては相関係数^{*1}を、結合段階の相互の距離の測定はウォード法^{*2}を適用した。

以下、重要度・満足度別にそれぞれクラスタ分析を行った結果をデンドログラム（樹形図）で表す。

*1 相関係数...2つのデータ間の関係性を示す指標。

*2 ウォード法...クラスタを結合するときクラスタ内のばらつきができるだけ増えないように結合していく手法で、実用的に優れた方法としてよく利用されている。

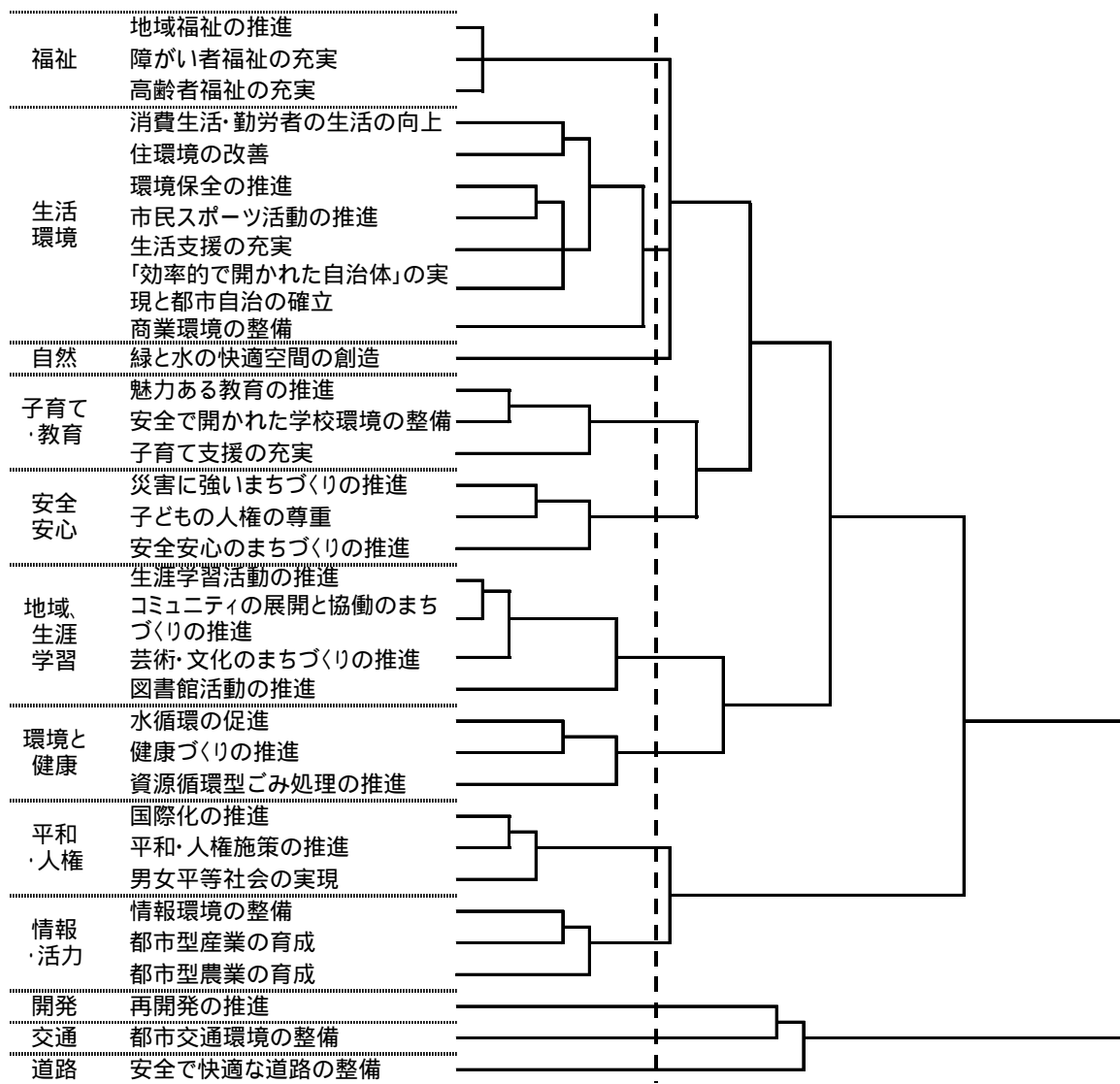
重要度のデンドログラム



デンドログラムは各施策が結合されていく過程を表しており、距離（横軸）が短いほど関連性が強く、互いに類似しているといえる。

結合されたグループの数は任意に決めることができるので、関連するグループの解釈が最も妥当と考えられる部分でグループを区切ると、重要度のデンドログラムでは図の左側に示すように大きく 8 グループ、同様に満足度は大きく 12 グループに分けることができる。

満足度のデンドログラム



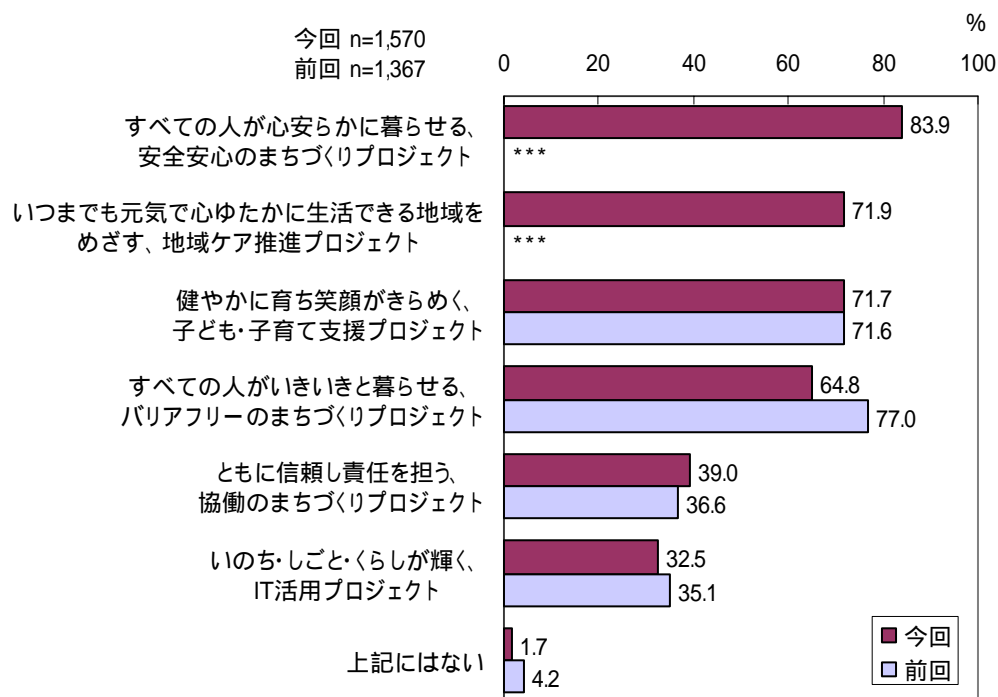
4 . 最重点・重点プロジェクト

4 . 1 最重点プロジェクト

現在三鷹市では、下図の6施策を最重点プロジェクトと位置づけて取り組んでいる。このうち、回答者が今後も引き続き重点的に取り組む必要があると答えた施策は、「安全安心のまちづくり」が83.9%で最も多い。その他、「地域ケア推進」(71.9%)、「子ども・子育て支援」(71.7%)、「バリアフリーのまちづくり」(64.8%)においても、6~7割の回答者が今後も重点的に取り組むべきと答えている。

なお、前回調査時点の最重点プロジェクトは4つであったが、その後新たに「安全安心のまちづくり」、「地域ケア推進」の2つのプロジェクトが追加されている。

前回の調査結果と比較すると、「バリアフリーのまちづくり」は、前回調査では77.0%であったが、今回調査では64.8%と10ポイント程度低下している。



最重点プロジェクトに対する回答を年代別にみると、70代や80代以上の高年齢層では、全ての最重点プロジェクトについて、今後も重点的に取り組む必要があると考えている回答者が多くなる。

また同居している家族別にみると、「6歳未満の乳幼児」、「小・中学生」の子どもがいる世帯では、「子ども・子育て支援」に対して重点的に取り組む必要があると回答しており、「65歳以上の方」のいる世帯では「地域ケア推進」に対して重点的に取り組む必要があると回答する割合が高い。

		合計	ク ト	の ま	に 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	進 を プ ロ ジ ェ ク ト	を プ ロ ジ ェ ク ト	たい ま ま で 元 気 で 心 推 進	を プ ロ ジ ェ ク ト	健 やか に 育 ち 笑 顔 が 育 き	支 援 プ ロ ジ ェ ク ト	健 やか に 育 ち 笑 顔 が 育 き	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	上 記 に は な い	
年 齢	合計	1,554	1,304	1,118	1,114	1,008	608	507	26										
		100.0%	83.9%	71.9%	71.7%	64.9%	39.1%	32.6%	1.7%										
	10代	53	77.4%	62.3%	66.0%	73.6%	52.8%	34.0%	3.8%										
	20代	160	77.5%	57.5%	70.0%	58.8%	31.9%	24.4%	1.9%										
	30代	247	85.4%	61.9%	79.8%	59.5%	34.4%	27.5%	2.0%										
	40代	242	83.5%	59.9%	69.0%	58.3%	28.1%	27.7%	1.2%										
	50代	288	83.0%	76.7%	66.0%	60.8%	36.5%	29.5%	1.0%										
	60代	284	84.5%	79.6%	69.0%	69.0%	41.2%	38.0%	1.8%										
	70代	209	89.0%	87.6%	75.6%	77.5%	55.0%	44.0%	1.9%										
80代以上	71	85.9%	91.5%	83.1%	76.1%	54.9%	42.3%	1.4%											

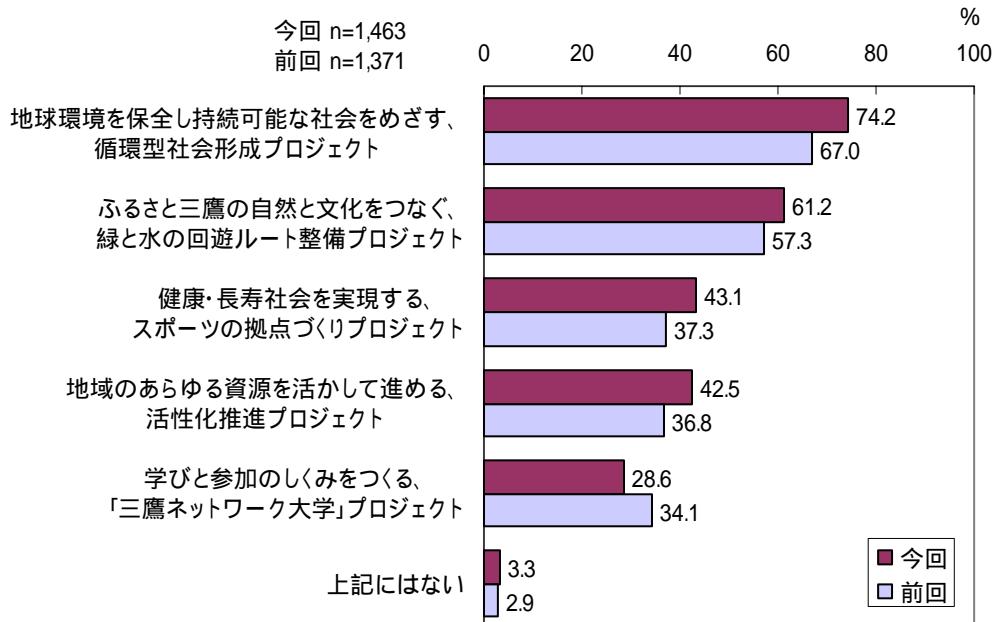
		合計	ク ト	の ま	に 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	進 を プ ロ ジ ェ ク ト	を プ ロ ジ ェ ク ト	たい ま ま で 元 気 で 心 推 進	を プ ロ ジ ェ ク ト	健 やか に 育 ち 笑 顔 が 育 き	支 援 プ ロ ジ ェ ク ト	健 やか に 育 ち 笑 顔 が 育 き	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	と 暮 ら す べ て の 人 が 心 安 ら か く る 、 プ ロ ジ ェ ク ト	上 記 に は な い	
同 居 家 族	合計	1,570	1,274	1,091	1,090	982	597	494	25										
		100.0%	81.1%	69.5%	69.4%	62.5%	38.0%	31.5%	1.6%										
	6歳未満の乳幼児	165	87.3%	93.3%	57.6%	62.4%	35.2%	27.3%	0.6%										
	小・中学生	238	86.6%	80.3%	60.1%	60.9%	34.9%	30.3%	0.8%										
	65歳以上の方	466	87.8%	74.2%	83.5%	70.0%	47.4%	36.7%	1.3%										
当てはまる人はいない	748	81.6%	66.0%	71.8%	63.8%	37.4%	32.5%	2.1%											

4.2 重点プロジェクト

現在三鷹市では、図中の 5 施策を重点プロジェクトと位置づけて取り組んでいる。このうち、回答者が今後も引き続き重点的に取り組む必要があると答えた施策は、「循環型社会形成」が 74.2%で最も多く、次いで「緑と水の回遊ルート整備」が 61.2%で続いている。

前回の調査結果と今回の調査結果を比較すると、「三鷹ネットワーク大学」以外のプロジェクトで前回の割合を上回っている。「三鷹ネットワーク大学」は、前回調査では 34.1%であったが、今回調査では 5.5 ポイント低下し 28.6%となっている。これは、単に「三鷹ネットワーク大学」に対して重点的に取り組むべきと考える市民が減ったと解釈するのではなく、前回調査時点は「三鷹ネットワーク大学」開校前の企画段階であったため、その回答の割合には市民の期待や関心の高さが反映していたものと考えられるべきであろう。

前回調査時点の重点プロジェクトは 6 つであったが、そのうち「高齢者施策推進プロジェクト」は最重点プロジェクトに追加された（「地域ケア推進プロジェクト」に盛り込まれた）。



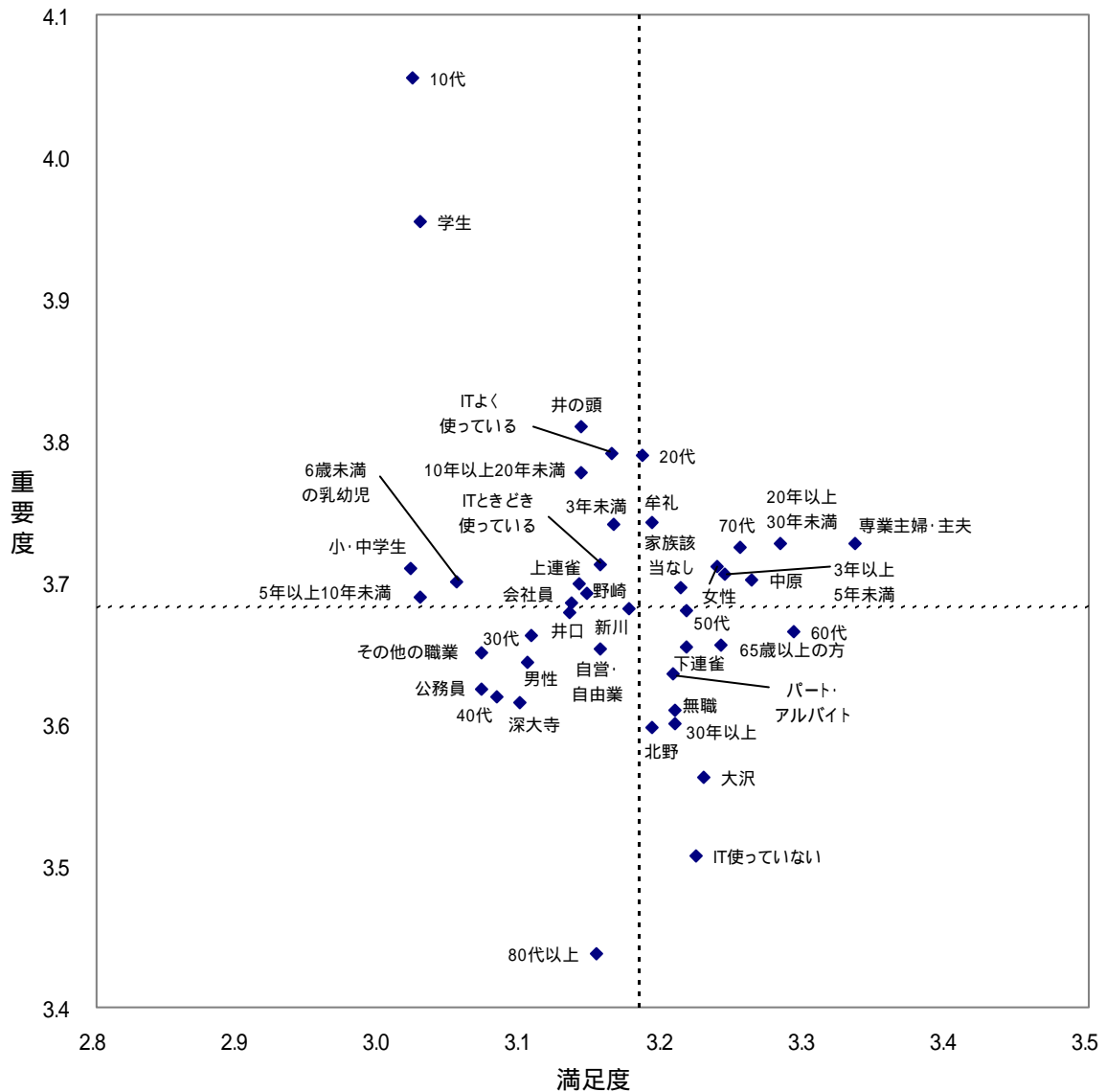
なお、重点プロジェクトに対する回答を年代別にみると、最重点プロジェクトと同様、70代や80代以上の回答の割合が高くなる。

		合計	プロジェクト 循環型社会 形成	地球環境 保全	持続可能な 社会	地域活性化 推進	健康・長寿 社会	現点づくり プロジェクト	文化の回遊 ネットワーク	水質改善 プロジェクト	ふるさと三鷹 の自然	活性的な 推進	地域のある ゆるぎ	プロジェクト 「三鷹大学」	学びと参加 のしくみ	上記には ない
年齢	合計	1,448	1,076	884	622	615	416	48								
		100.0%	74.3%	61.0%	43.0%	42.5%	28.7%	3.3%								
	10代	50	82.0%	56.0%	40.0%	30.0%	18.0%	4.0%								
	20代	153	72.5%	58.8%	34.0%	37.3%	22.9%	3.3%								
	30代	243	68.3%	52.7%	36.2%	37.4%	22.2%	4.9%								
	40代	237	71.3%	51.9%	33.3%	35.9%	21.9%	4.2%								
	50代	268	75.7%	59.0%	42.9%	39.9%	28.7%	3.0%								
	60代	253	75.5%	70.0%	51.4%	47.4%	35.2%	2.4%								
	70代	187	80.2%	73.8%	57.2%	57.2%	39.6%	2.7%								
80代以上	57	78.9%	73.7%	54.4%	57.9%	45.6%	0.0%									

5 . 施策別の重要度・満足度

5 . 1 世界に開かれた平和・人権のまちをつくる

(1) 国際化の推進



上図は年齢や職業、居住地など回答者の属性別（「2.1 回答者の属性」参照）に重要度と満足度の平均値をプロットしたものである。図中の点線は、本設問に対する重要度と満足度の平均値を示している（以下、同様）。

全回答者の「国際化の推進」（問1）に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ3.68、3.18である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「専業主婦・主夫」、「20年以上30年未満（居住年数）」などである。

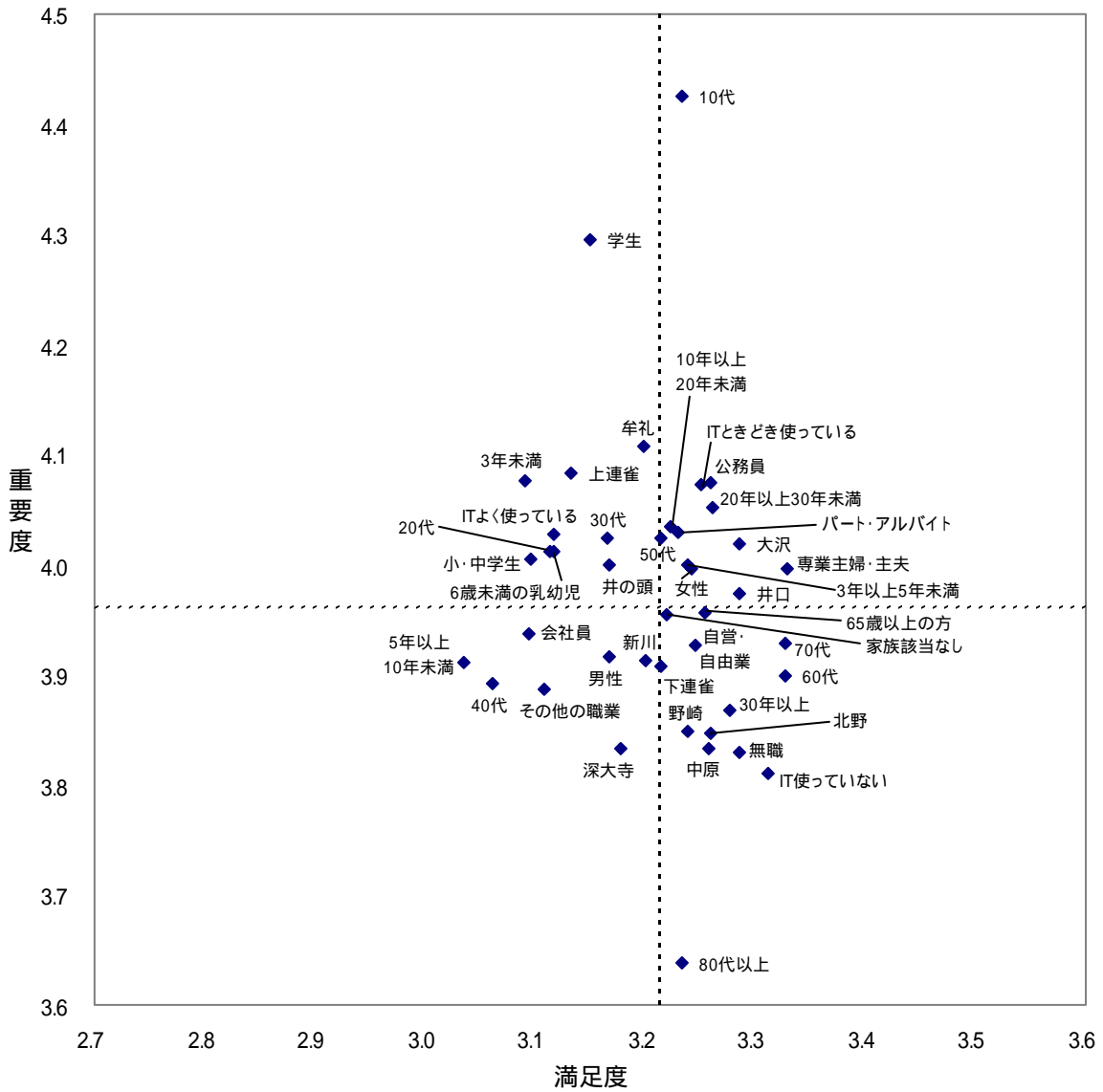
重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「10代」、「学生」、「井の頭」、「小・

中学生（同居家族）」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「IT使っていない」、「大沢」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「40代」、「80代以上」、「公務員」、「深大寺」などである。

(2) 平和・人権施策の推進



全回答者の「平和・人権施策の推進」(問 2)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.96、3.21 である。

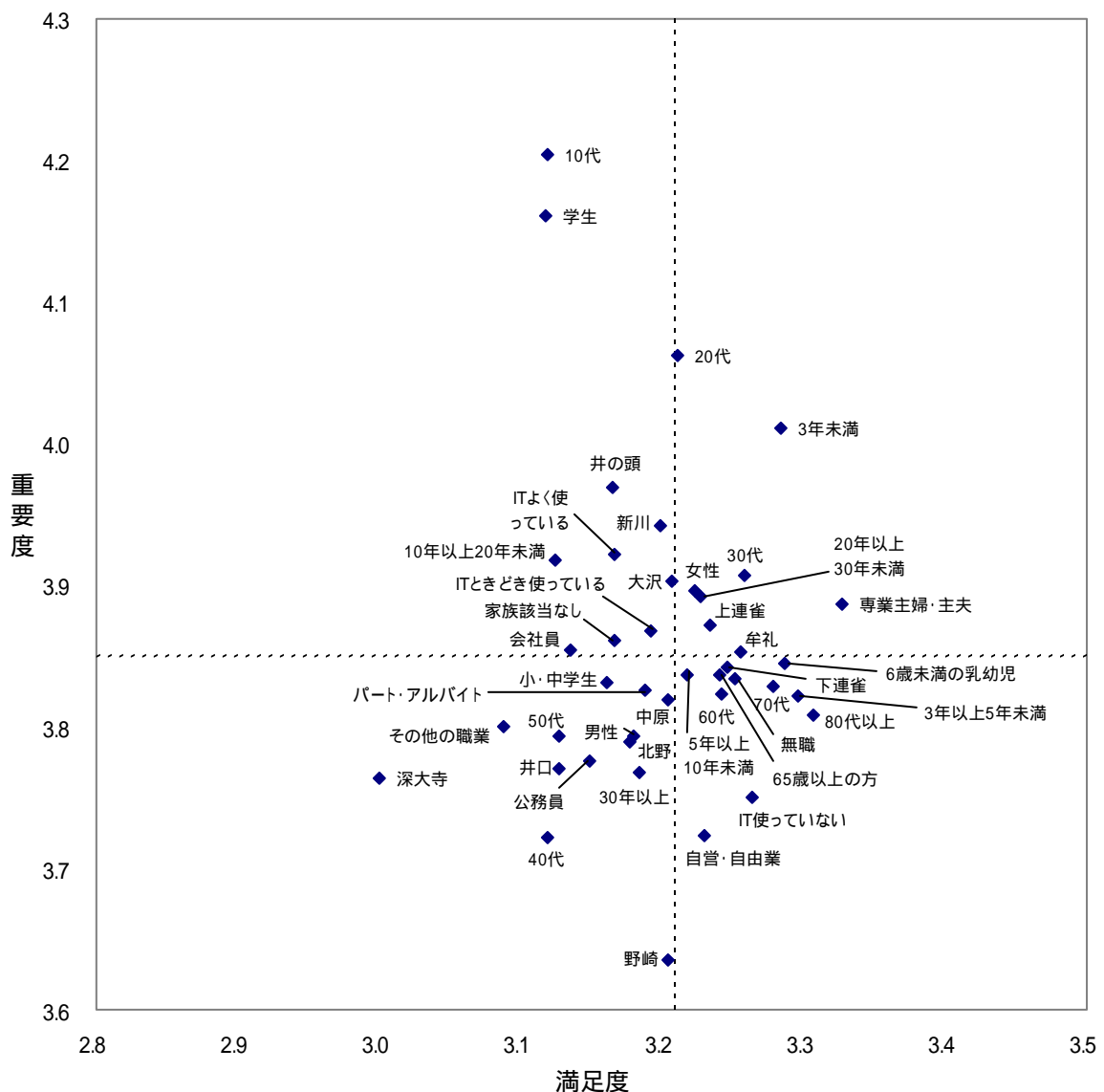
重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「10代」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「学生」、「上連雀」、「牟礼」、「3年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「無職」、「IT使っていない」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「40代」、「その他の職業」、「深大寺」、「5年以上10年未満(居住年数)」などである。

(3) 男女平等社会の実現



全回答者の「男女平等社会の実現」(問3)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.85、3.21 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「20代」、「専業主婦・主夫」、「3年未満(居住年数)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「10代」、「学生」、「井の頭」、「10年以上20年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「自営・自由業」、「IT使っていない」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「40代」、「その他の職業」、「深大寺」、「野崎」などである。

「男女平等社会の実現」については、性別によって捉え方（関心度合い）が異なると考えられるが、プロット図からは「男性」よりも「女性」の方が重要度・満足度ともに高いことがわかる。

また年齢による違いもみられ、「10代」～「30代」の年齢層の重要度は平均値を上回っているのに対し、「40代」～「80代以上」は平均値を下回っている。したがって比較的年齢の若い層の方が「男女平等社会の実現」に対する重要度が高いといえる。

男女平等社会の実現 重要度 × 性別

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,579	458	550	473	75	23
		100.0%	29.0%	34.8%	30.0%	4.7%	1.5%
性	男性	682	28.9%	31.5%	32.1%	5.0%	2.5%
	女性	897	29.1%	37.3%	28.3%	4.6%	0.7%

男女平等社会の実現 満足度 × 性別

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,569	77	247	744	71	44	386
		100.0%	4.9%	15.7%	47.4%	4.5%	2.8%	24.6%
性	男性	676	5.5%	15.1%	47.0%	3.8%	4.3%	24.3%
	女性	893	4.5%	16.2%	47.7%	5.0%	1.7%	24.9%

男女平等社会の実現 重要度 × 年齢

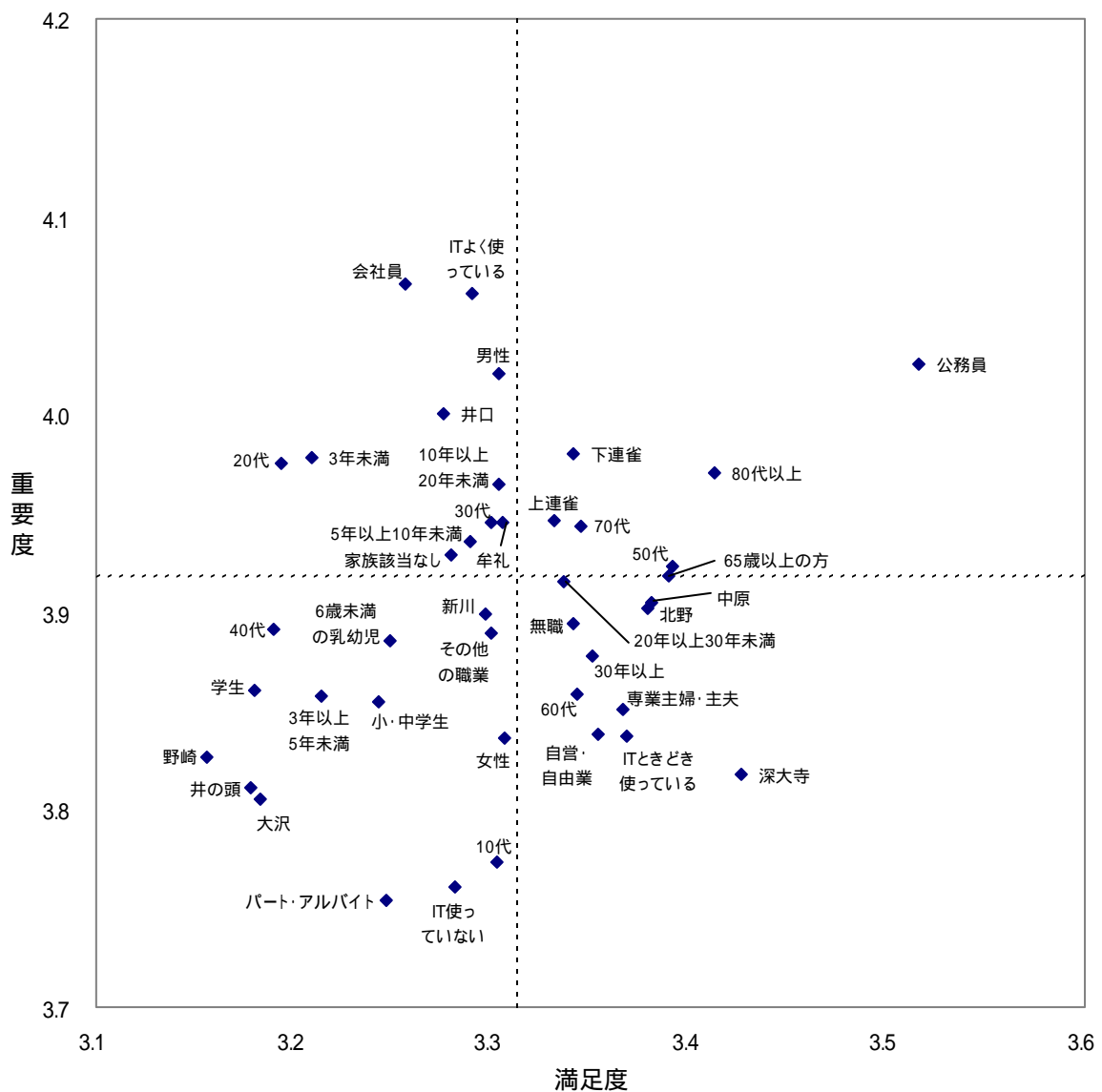
		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,585	460	553	473	76	23
		100.0%	29.0%	34.9%	29.8%	4.8%	1.5%
年齢	10代	54	42.6%	35.2%	22.2%	0.0%	0.0%
	20代	160	41.3%	30.6%	21.3%	6.9%	0.0%
	30代	257	31.1%	37.0%	24.9%	5.4%	1.6%
	40代	248	21.8%	36.7%	34.7%	5.6%	1.2%
	50代	295	27.5%	32.9%	33.2%	4.4%	2.0%
	60代	288	29.2%	33.3%	30.2%	5.2%	2.1%
	70代	210	26.7%	35.2%	33.3%	3.8%	1.0%
	80代以上	73	21.9%	43.8%	30.1%	1.4%	2.7%

男女平等社会の実現 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,574	78	248	744	72	45	387
		100.0%	5.0%	15.8%	47.3%	4.6%	2.9%	24.6%
年齢	10代	54	3.7%	18.5%	42.6%	9.3%	3.7%	22.2%
	20代	161	5.0%	14.3%	44.1%	5.6%	1.9%	29.2%
	30代	256	6.3%	15.6%	46.1%	3.5%	2.7%	25.8%
	40代	248	3.6%	12.5%	50.0%	6.9%	2.0%	25.0%
	50代	295	3.1%	15.3%	48.8%	3.7%	4.1%	25.1%
	60代	284	5.3%	19.7%	47.9%	3.2%	3.9%	20.1%
	70代	203	6.9%	16.3%	48.3%	4.4%	2.0%	22.2%
	80代以上	73	6.8%	13.7%	41.1%	4.1%	1.4%	32.9%

5.2 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる

(1) 情報環境の整備



全回答者の「情報環境の整備」(問4)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ3.92、3.31である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「80代以上」、「公務員」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「20代」、「会社員」、「3年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「自営・自由業」、「深大寺」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「パート・アルバイト」、「井の頭」、「野崎」、「大沢」、「IT使っていない」などである。

「情報環境の整備」に関しては、Eメールやインターネットなどの使用状況によって捉え方が異なると考えられる。プロット図をみると、「ITよく使っている」という回答者の重要度は平均値を大きく上回っているが、「IT使っていない」という回答者は対照的な位置に布置されており、ここからも違いが読みとれる（ただし満足度の違いはみられない）。

「情報環境の整備」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「IT活用」プロジェクトに関連する施策である。そこで本施策について、属性別の重要度・満足度の平均値の違いを統計的に検証（分散分析）した。

分析の結果、インターネット等の使用状況について、「よく使っている」回答者と「ときどき使っている」あるいは「使っていない」回答者の重要度で統計的な差が認められた。つまりインターネット等をよく利用している回答者の方が、そうでない回答者に比べて、明らかに「情報環境の整備」の重要度が高いということを示している。また、職業についても、「会社員」と「パート・アルバイト」あるいは「専業主婦・主夫」の重要度で統計的な差が認められた。

他方、年齢や居住地別には統計的な差は認められなかった。つまり年齢や居住地によって、平均値に「高い」、「低い」という関係はみられるが、統計的に必ずしも差があるとはいえないことを示している。

例えば性別に注目した場合、「男性」と「女性」の重要度・満足度、年齢の場合「10代」と「20代」の重要度・満足度について、本当に差があるといえるのか（偶発的なのか恒常的なのか）を統計的に検定するもの（以下、各施策の詳細な分析はこの手法を用いている）。なお有意確率（差があるかどうかの判断基準）は5%としている（これは簡単にいえば、20回同じ実験を繰り返した場合、19回は同じ結論が導き出せるというもの）。

インターネット等の使用状況別平均値

	よく使っている	ときどき使っている	使っていない
重要度	4.06	3.84	3.76
満足度	3.29	3.37	3.28

インターネット等の使用状況別統計的検定 *平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	ときどき使っている	よく使っている	-0.22	0.000
	使っていない		-0.30	0.000

職業別平均値

	会社員	公務員	自営・自由業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
重要度	4.07	4.03	3.84	3.75	3.85	3.86	3.89	3.89
満足度	3.26	3.52	3.35	3.25	3.37	3.18	3.34	3.30

職業別統計的検定 *平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	パート・アルバイト	会社員	-0.31	0.002
	専業主婦・主夫		-0.22	0.021

情報環境の整備 重要度 × インターネットやEメールの使用状況

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,554	451	605	430	54	14
		100.0%	29.0%	38.9%	27.7%	3.5%	0.9%
I T	よく使っている	723	36.0%	38.3%	22.0%	3.3%	0.4%
	ときどき使っている	337	23.7%	41.8%	30.0%	3.3%	1.2%
	使っていない	494	22.5%	37.9%	34.4%	3.8%	1.4%

情報環境の整備 満足度 × インターネットやEメールの使用状況

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,553	93	378	668	74	52	288
		100.0%	6.0%	24.3%	43.0%	4.8%	3.3%	18.5%
I T	よく使っている	722	6.5%	28.5%	38.9%	6.2%	5.3%	14.5%
	ときどき使っている	340	6.8%	25.0%	45.6%	3.2%	2.4%	17.1%
	使っていない	491	4.7%	17.7%	47.3%	3.7%	1.2%	25.5%

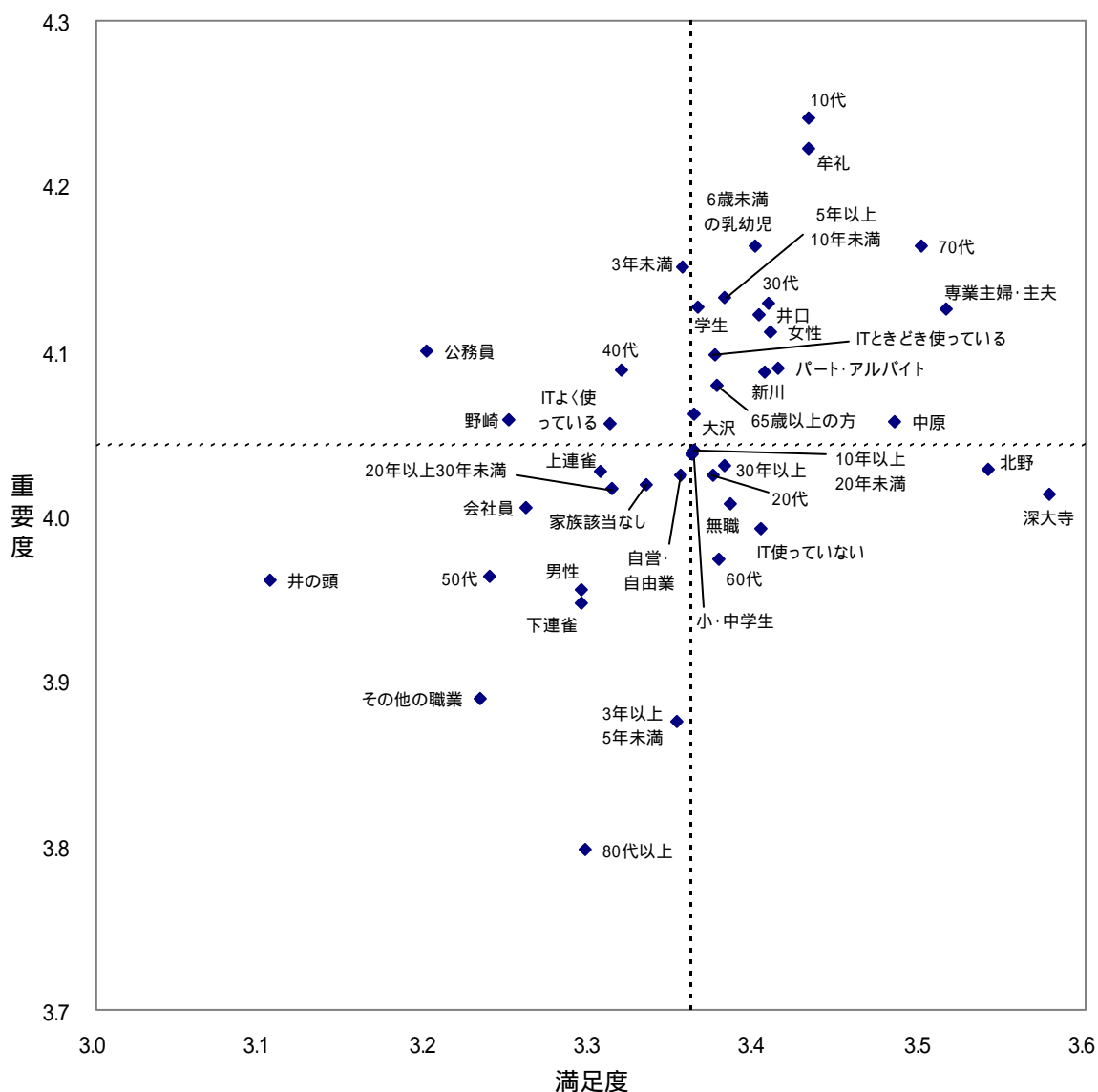
情報環境の整備 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,572	457	609	437	55	14
		100.0%	29.1%	38.7%	27.8%	3.5%	0.9%
職 業	会社員	459	36.4%	38.6%	20.9%	3.5%	0.7%
	公務員	40	40.0%	32.5%	20.0%	5.0%	2.5%
	自営・自由業	167	22.2%	43.7%	30.5%	3.0%	0.6%
	パート・アルバイト	167	20.4%	41.9%	31.1%	6.0%	0.6%
	専業主婦・主夫	307	25.4%	39.1%	32.2%	1.6%	1.6%
	学生	86	29.1%	34.9%	30.2%	4.7%	1.2%
	無職	265	29.4%	36.2%	29.4%	4.2%	0.8%
	その他	81	27.2%	37.0%	33.3%	2.5%	0.0%

情報環境の整備 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,572	95	383	678	75	53	288
		100.0%	6.0%	24.4%	43.1%	4.8%	3.4%	18.3%
職 業	会社員	464	6.9%	25.2%	37.9%	6.7%	5.6%	17.7%
	公務員	39	2.6%	38.5%	35.9%	2.6%	0.0%	20.5%
	自営・自由業	167	6.0%	26.9%	47.9%	2.4%	3.0%	13.8%
	パート・アルバイト	163	4.9%	21.5%	54.0%	3.7%	3.1%	12.9%
	専業主婦・主夫	309	6.1%	24.9%	45.3%	4.5%	1.3%	17.8%
	学生	87	6.9%	16.1%	50.6%	3.4%	5.7%	17.2%
	無職	268	5.6%	23.1%	38.8%	4.5%	2.2%	25.7%
	その他	75	5.3%	24.0%	42.7%	5.3%	2.7%	20.0%

(2) 都市型農業の育成



全回答者の「都市型農業の育成」(問5)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ4.04、3.36であり、全施策の中で満足度の平均値は3番目に高い。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「10代」、「70代」、「専業主婦・主夫」、「牟礼」などである。

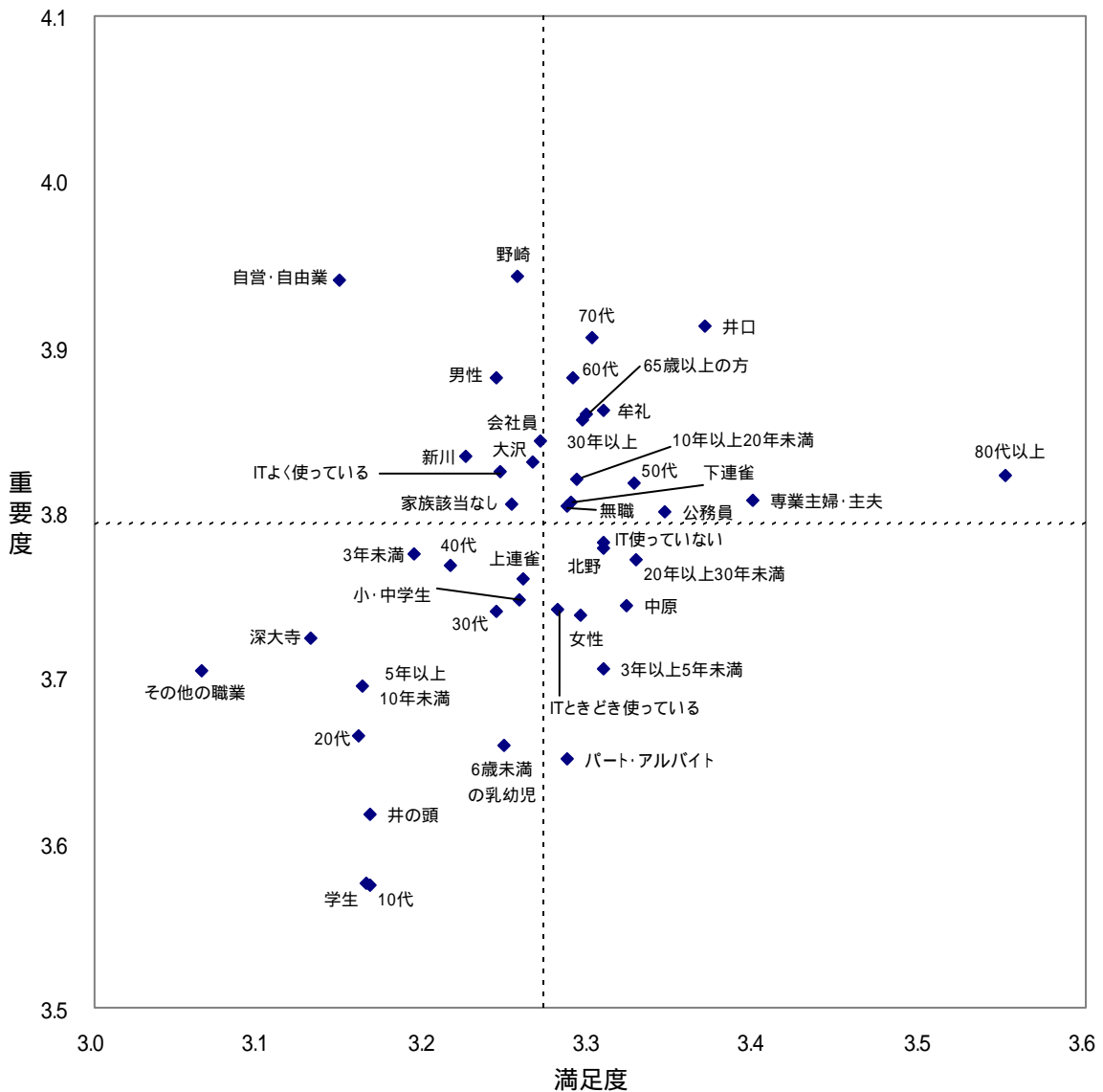
重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「公務員」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「深大寺」、「北野」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「80代以上」、「その他の職業」、「井の頭」などである。

分布をみると、概ね重要度が高い属性は満足度も高く、重要度が低い属性は満足度も低いというように、重要度と満足度の間に相関がみられる。

(3) 都市型産業の育成



全回答者の「都市型産業の育成」(問6)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ3.79、3.27である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性としては「80代以上」、「井口」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「自営・自由業」、「野崎」などであり、特に「自営・自由業」の回答者にとっては重要な施策であるといえる。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「パート・アルバイト」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「10代」、「20代」、「学生」、「その他の職業」、「井の頭」、「深大寺」などである。

「都市型産業の育成」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「活性化推進」プロジェクトに関連する施策である。そこで特徴的な属性である年齢、職業、居住地に関して平均値の違いを統計的に検定した。その結果、職業では「学生」よりも「自営・自由業」の重要度の方が高いことが明らかとなった。

職業別平均値

	会社員	公務員	自営・自由業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
重要度	3.84	3.80	3.94	3.65	3.81	3.57	3.80	3.70
満足度	3.27	3.34	3.15	3.29	3.40	3.16	3.29	3.06

職業別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	学生	自営・自由業	-0.37	0.036

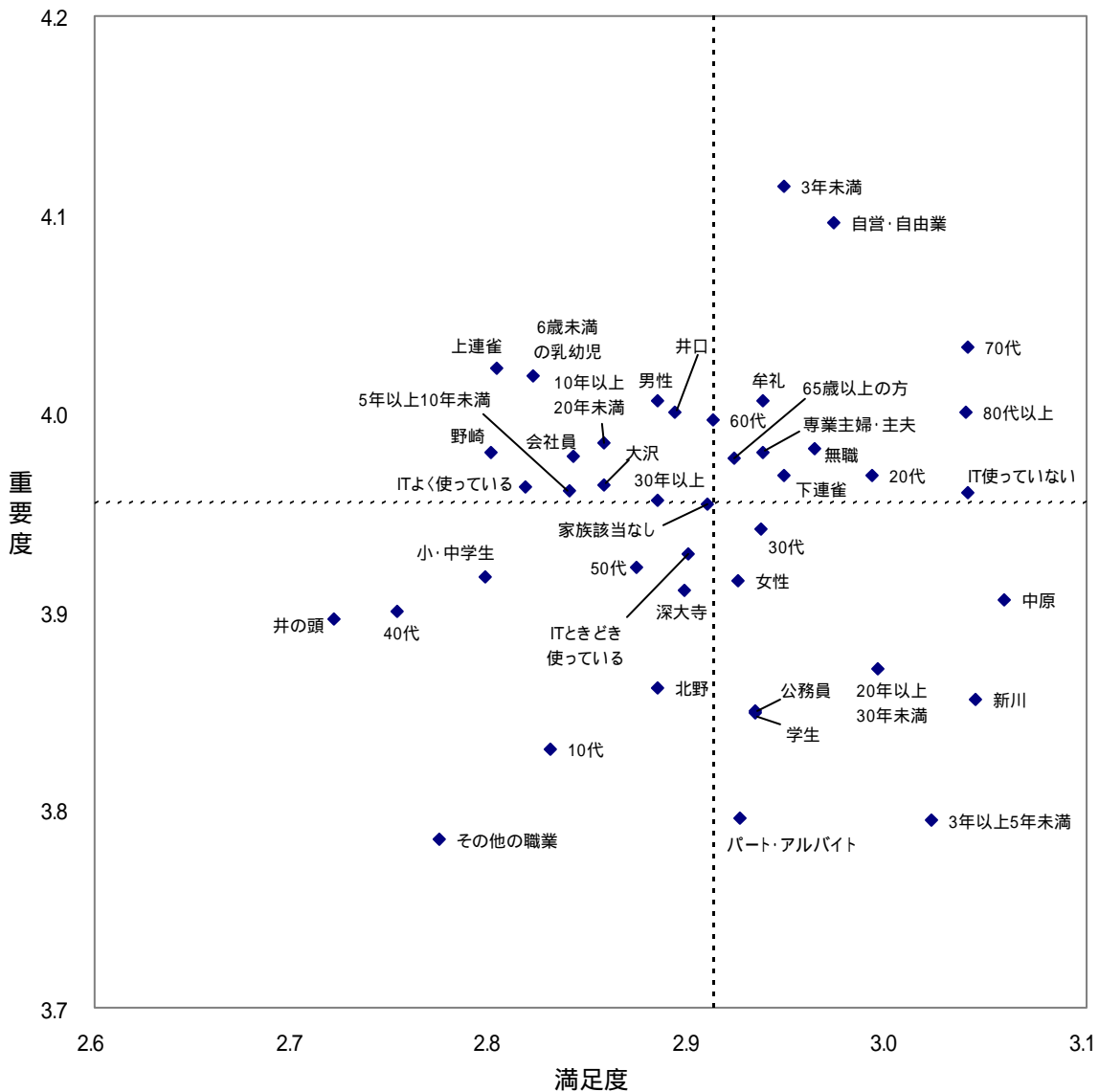
都市型産業の育成 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,582	370	614	521	59	18
		100.0%	23.4%	38.8%	32.9%	3.7%	1.1%
職業	会社員	459	26.8%	38.8%	27.9%	5.0%	1.5%
	公務員	40	25.0%	37.5%	30.0%	7.5%	0.0%
	自営・自由業	166	29.5%	38.0%	29.5%	3.0%	0.0%
	パート・アルバイト	169	17.2%	37.3%	40.8%	3.0%	1.8%
	専業主婦・主夫	310	22.3%	40.0%	34.5%	2.6%	0.6%
	学生	87	18.4%	32.2%	39.1%	9.2%	1.1%
	無職	270	20.7%	43.0%	33.3%	1.9%	1.1%
	その他	81	22.2%	33.3%	39.5%	2.5%	2.5%

都市型産業の育成 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,577	83	323	728	68	42	333
		100.0%	5.3%	20.5%	46.2%	4.3%	2.7%	21.1%
職業	会社員	462	4.8%	22.7%	42.4%	4.8%	3.2%	22.1%
	公務員	39	5.1%	17.9%	48.7%	2.6%	0.0%	25.6%
	自営・自由業	167	4.2%	18.6%	51.5%	7.2%	3.6%	15.0%
	パート・アルバイト	168	5.4%	19.0%	54.2%	3.6%	1.2%	16.7%
	専業主婦・主夫	311	6.1%	24.8%	41.5%	4.2%	1.0%	22.5%
	学生	87	5.7%	12.6%	49.4%	6.9%	2.3%	23.0%
	無職	267	6.0%	17.6%	47.6%	1.9%	3.0%	24.0%
	その他	76	3.9%	17.1%	48.7%	3.9%	7.9%	18.4%

(4) 商業環境の整備



全回答者の「商業環境の整備」(問7)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ3.95、2.91である。満足度の平均値は全施策の中でも2番目に低く、中間点である3点を下回っている。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「80代以上」、「自営・自由業」、「3年未満(居住年数)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「上連雀」、「野崎」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「パート・アルバイト」、「新川」、「中原」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「10代」、「40代」、「その他の職業」、「井の頭」などである。

「商業環境の整備」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「活性化推進」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、「パート・アルバイト」と「自営・自由業」の重要度で明らかな差が認められた。具体的には、「パート・アルバイト」をしている回答者よりも「自営・自由業」をしている回答者の方が「商業環境の整備」の重要度が高いことが明らかになった。

職業別平均値

	会社員	公務員	自営・自由業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
重要度	3.98	3.85	4.10	3.80	3.98	3.85	3.98	3.78
満足度	2.84	2.93	2.97	2.93	2.94	2.93	2.96	2.77

職業別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	パート・アルバイト	自営・自由業	-0.30	0.032

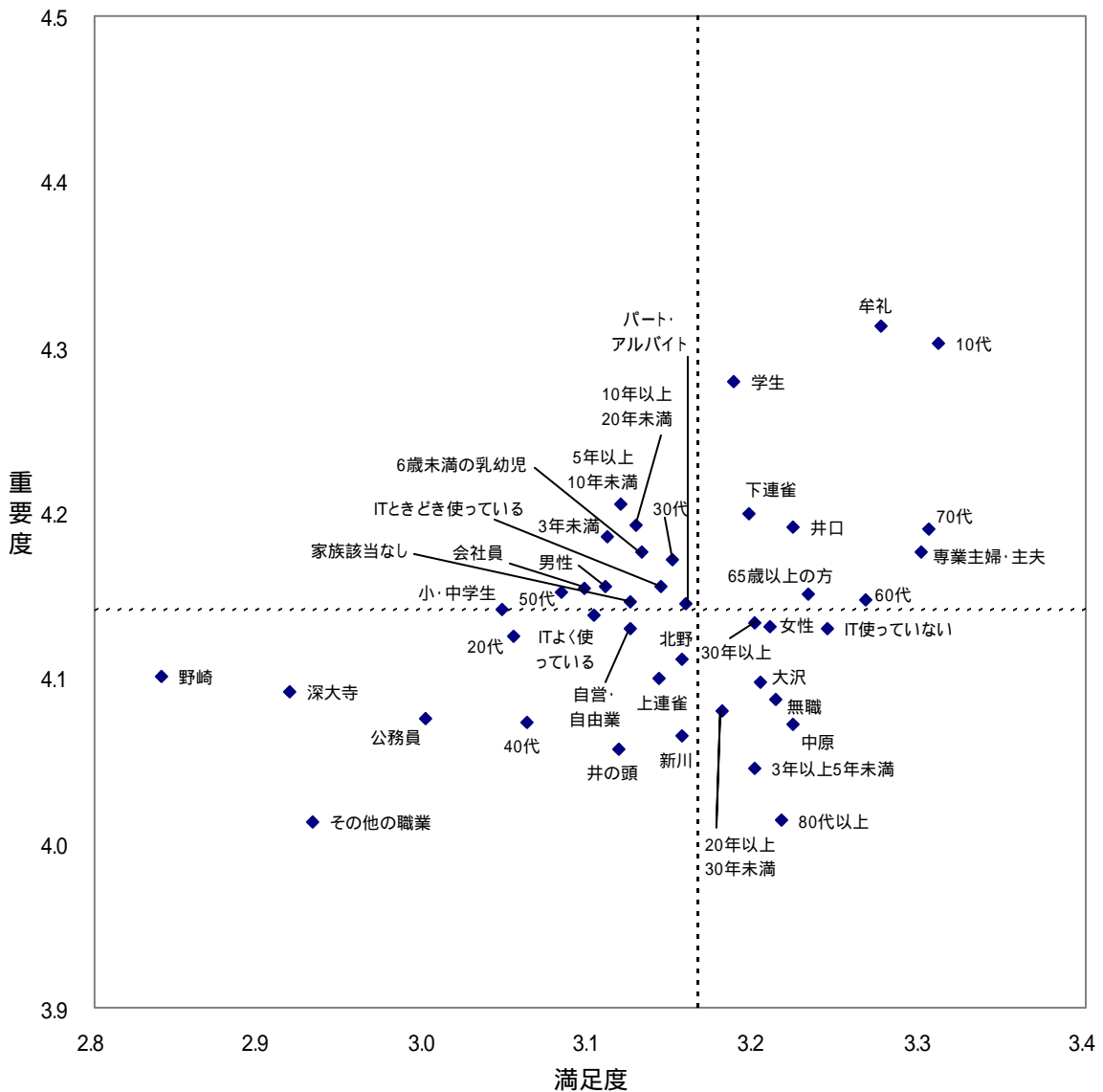
商業環境の整備 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,575	479	605	438	43	10
		100.0%	30.4%	38.4%	27.8%	2.7%	0.6%
職業	会社員	459	32.5%	37.5%	25.9%	3.7%	0.4%
	公務員	40	30.0%	32.5%	32.5%	2.5%	2.5%
	自営・自由業	167	36.5%	37.1%	25.7%	0.6%	0.0%
	パート・アルバイト	166	22.3%	39.8%	34.3%	2.4%	1.2%
	専業主婦・主夫	306	30.1%	40.8%	26.8%	1.6%	0.7%
	学生	86	24.4%	41.9%	27.9%	5.8%	0.0%
	無職	272	32.0%	37.5%	27.6%	2.6%	0.4%
	その他	79	25.3%	36.7%	31.6%	3.8%	2.5%

商業環境の整備 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,570	62	211	719	186	135	257
		100.0%	3.9%	13.4%	45.8%	11.8%	8.6%	16.4%
職業	会社員	461	3.3%	10.2%	49.0%	11.7%	9.1%	16.7%
	公務員	38	0.0%	18.4%	42.1%	13.2%	5.3%	21.1%
	自営・自由業	168	4.8%	19.6%	42.3%	10.1%	10.7%	12.5%
	パート・アルバイト	167	4.8%	12.0%	52.7%	10.2%	9.0%	11.4%
	専業主婦・主夫	308	4.2%	14.3%	42.2%	14.9%	6.5%	17.9%
	学生	87	6.9%	12.6%	42.5%	16.1%	8.0%	13.8%
	無職	266	4.1%	15.0%	42.9%	10.5%	7.9%	19.5%
	その他	75	1.3%	12.0%	49.3%	6.7%	13.3%	17.3%

(5) 消費生活・勤労者生活の向上



全回答者の「消費生活・勤労者生活の向上」(問8)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ4.14、3.16である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「10代」、「70代」、「専業主婦・主夫」、「学生」、「牟礼」などがある。

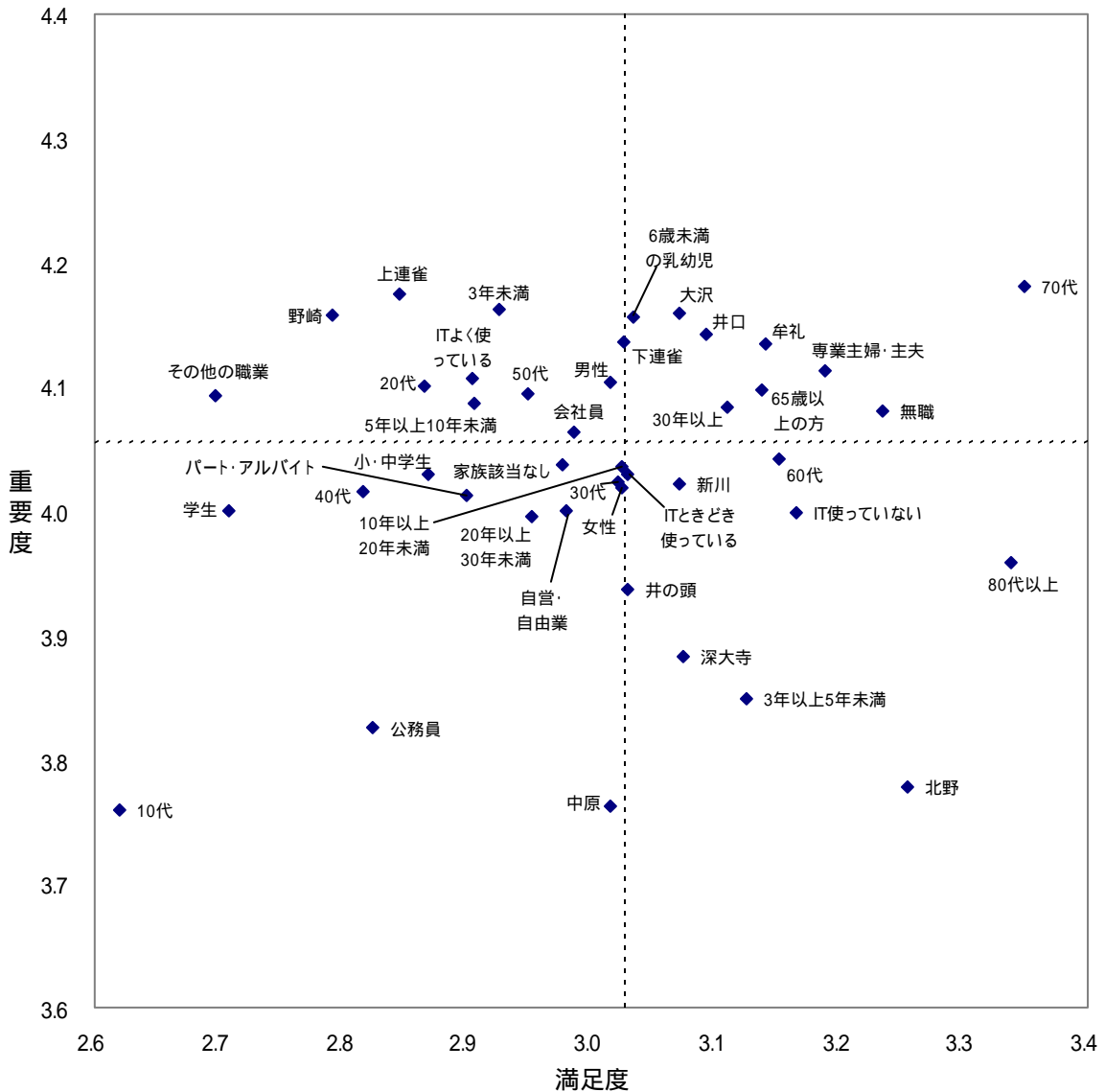
重要度が高く、満足度が低い領域については、ほとんどが平均値付近にプロットされており、特徴のある属性はみあたらない。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「公務員」、「その他の職業」、「野崎」、「深大寺」などである。

特に、野崎や深大寺に居住している回答者の満足度が低いことが特徴として挙げられる。

(6) 再開発の推進



全回答者の「再開発の推進」(問9)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ4.06、3.03である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「無職」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「その他の職業」、「上連雀」、「野崎」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「深大寺」、「北野」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「10代」、「公務員」、「学生」、「中原」などである。

「再開発の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「活性化推進」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、年齢では「60代」以上と「50代」以下の回答者で満足度の評価に有意な差がみられた（60代以上の方が満足度は高いといえる）。また、職業では「学生」よりも「専業主婦・主夫」や「無職」の回答者の方が、満足度は高いことが明らかとなった。さらに居住地域では、「中原」に居住している回答者は、「牟礼」、「井口」、「上連雀」、「下連雀」、「大沢」に居住している回答者よりも重要度が低いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	3.76	4.10	4.02	4.02	4.09	4.04	4.18	3.96
満足度	2.62	2.87	3.02	2.82	2.95	3.15	3.35	3.34

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	10代	60代	-0.53	0.037
	40代	60代	-0.34	0.016
	10代	70代	-0.73	0.001
	20代	70代	-0.48	0.002
	40代	70代	-0.53	0.000
	50代	70代	-0.40	0.003
	10代	80代以上	-0.72	0.015
	40代	80代以上	-0.52	0.024

職業別平均値

	会社員	公務員	自営・自由業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
重要度	4.06	3.83	4.00	4.01	4.11	4.00	4.08	4.09
満足度	2.99	2.82	2.98	2.90	3.19	2.71	3.23	2.70

職業別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	学生	専業主婦・主夫	-0.48	0.015
		無職	-0.53	0.006

居住地別平均値

	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口
重要度	3.94	4.13	3.78	4.02	3.76	4.14
満足度	3.03	3.14	3.25	3.07	3.02	3.09

	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
重要度	4.17	4.14	4.16	4.16	3.88
満足度	2.85	3.03	2.79	3.07	3.07

居住地別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	中原	牟礼	-0.37	0.018
		井口	-0.38	0.050
		上連雀	-0.41	0.002
		下連雀	-0.37	0.003
		大沢	-0.40	0.031

再開発の推進 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,594	611	575	318	66	24
		100.0%	38.3%	36.1%	19.9%	4.1%	1.5%
年齢	10代	54	37.0%	31.5%	11.1%	11.1%	9.3%
	20代	160	39.4%	36.3%	19.4%	5.0%	0.0%
	30代	257	40.5%	32.3%	19.1%	5.4%	2.7%
	40代	249	34.5%	39.0%	21.3%	4.0%	1.2%
	50代	297	38.4%	37.0%	21.2%	2.4%	1.0%
	60代	290	37.2%	36.2%	20.7%	5.2%	0.7%
	70代	215	40.5%	38.1%	20.5%	0.9%	0.0%
	80代以上	72	40.3%	31.9%	16.7%	5.6%	5.6%

再開発の推進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,584	113	380	555	204	184	148
		100.0%	7.1%	24.0%	35.0%	12.9%	11.6%	9.3%
年齢	10代	54	1.9%	20.4%	27.8%	25.9%	16.7%	7.4%
	20代	160	8.1%	18.8%	31.3%	13.1%	16.9%	11.9%
	30代	256	6.3%	23.0%	36.7%	14.8%	9.4%	9.8%
	40代	248	8.9%	19.0%	31.9%	14.5%	19.8%	6.0%
	50代	298	4.7%	22.8%	39.6%	12.8%	12.1%	8.1%
	60代	285	6.3%	29.5%	38.2%	9.8%	9.1%	7.0%
	70代	209	9.1%	29.2%	36.4%	9.1%	3.8%	12.4%
	80代以上	74	13.5%	27.0%	18.9%	13.5%	6.8%	20.3%

再開発の推進 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,585	607	572	317	65	24
		100.0%	38.3%	36.1%	20.0%	4.1%	1.5%
職業	会社員	461	39.5%	34.7%	19.5%	5.2%	1.1%
	公務員	40	37.5%	30.0%	17.5%	7.5%	7.5%
	自営・自由業	167	35.3%	35.9%	24.0%	3.0%	1.8%
	パート・アルバイト	167	35.9%	34.7%	24.6%	4.2%	0.6%
	専業主婦・主夫	312	39.7%	37.5%	18.3%	3.2%	1.3%
	学生	87	40.2%	39.1%	6.9%	8.0%	5.7%
	無職	275	38.5%	35.3%	22.9%	2.2%	1.1%
	その他	76	34.2%	44.7%	17.1%	3.9%	0.0%

再開発の推進 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,576	112	378	553	202	183	148
		100.0%	7.1%	24.0%	35.1%	12.8%	11.6%	9.4%
職業	会社員	461	7.6%	23.6%	32.3%	15.0%	12.6%	8.9%
	公務員	39	2.6%	23.1%	33.3%	12.8%	15.4%	12.8%
	自営・自由業	166	6.6%	19.9%	43.4%	9.6%	12.7%	7.8%
	パート・アルバイト	167	7.8%	19.2%	40.1%	13.2%	15.6%	4.2%
	専業主婦・主夫	312	7.1%	30.8%	33.0%	10.6%	8.7%	9.9%
	学生	87	4.6%	17.2%	31.0%	23.0%	14.9%	9.2%
	無職	271	8.5%	26.6%	35.4%	9.2%	7.0%	13.3%
	その他	73	4.1%	16.4%	35.6%	16.4%	17.8%	9.6%

再開発の推進 重要度 × 居住地

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,592	610	575	318	66	23
		100.0%	38.3%	36.1%	20.0%	4.1%	1.4%
居住地	井の頭	127	32.3%	36.2%	24.4%	7.1%	0.0%
	牟礼	179	43.0%	34.6%	17.3%	2.8%	2.2%
	北野	72	33.3%	23.6%	33.3%	6.9%	2.8%
	新川	139	36.7%	38.1%	18.0%	5.0%	2.2%
	中原	139	28.1%	35.3%	24.5%	9.4%	2.9%
	井口	113	39.8%	38.9%	16.8%	4.4%	0.0%
	上連雀	230	45.2%	32.6%	18.3%	2.2%	1.7%
	下連雀	352	40.3%	37.8%	17.9%	3.1%	0.9%
	野崎	51	39.2%	41.2%	17.6%	0.0%	2.0%
	大沢	113	38.9%	42.5%	14.2%	4.4%	0.0%
深大寺	77	29.9%	35.1%	31.2%	1.3%	2.6%	

再開発の推進 満足度 × 居住地

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,581	113	380	555	204	182	147
		100.0%	7.1%	24.0%	35.1%	12.9%	11.5%	9.3%
居住地	井の頭	123	7.3%	20.3%	31.7%	14.6%	8.9%	17.1%
	牟礼	179	8.4%	28.5%	29.1%	10.6%	11.2%	12.3%
	北野	72	11.1%	13.9%	44.4%	9.7%	2.8%	18.1%
	新川	139	4.3%	26.6%	39.6%	11.5%	8.6%	9.4%
	中原	143	6.3%	19.6%	44.8%	9.8%	10.5%	9.1%
	井口	111	6.3%	20.7%	42.3%	10.8%	7.2%	12.6%
	上連雀	228	7.0%	22.8%	29.8%	17.1%	17.1%	6.1%
	下連雀	347	7.8%	27.7%	33.4%	14.1%	13.3%	3.7%
	野崎	51	3.9%	23.5%	35.3%	11.8%	19.6%	5.9%
	大沢	110	7.3%	26.4%	31.8%	14.5%	10.0%	10.0%
深大寺	78	7.7%	21.8%	37.2%	10.3%	10.3%	12.8%	

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「公務員」、「井の頭」などである。

属性別の重要度は平均値周辺に分布しており、回答者の「安全で快適な道路の整備」に対する重要度の認識はほぼ一致している。

「安全で快適な道路の整備」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「バリアフリーのまちづくり」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、年齢では「60代」、「70代」に比べて「30代」、「40代」の満足度が明らかに低いことがわかった。居住地については、「井の頭」は「中原」、「大沢」に比べて満足度が低いことがわかった。また居住年数についても、20年以上の居住年数の長い回答者よりも「3年未満」、「5年以上10年未満」といった居住年数の短い回答者の方が、満足度は低いことが明らかになった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	4.33	4.43	4.50	4.46	4.34	4.49	4.48	4.43
満足度	2.80	2.62	2.57	2.48	2.63	2.92	2.95	2.75

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	30代	60代	-0.35	0.012
		70代	-0.37	0.014
	40代	60代	-0.44	0.000
		70代	-0.47	0.001

居住地別平均値

	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口
重要度	4.39	4.58	4.42	4.40	4.38	4.50
満足度	2.35	2.56	2.82	2.69	2.89	2.67

	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
重要度	4.43	4.42	4.27	4.54	4.44
満足度	2.66	2.75	2.80	2.93	2.74

居住地別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	井の頭	中原	-0.55	0.009
		大沢	-0.58	0.009

居住年数別平均値

	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上
重要度	4.45	4.38	4.45	4.46	4.42	4.46
満足度	2.47	2.63	2.54	2.63	2.80	2.84

居住年数別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	3年未満	20年以上30年未満	-0.33	0.048
		30年以上	-0.37	0.003
	5年以上10年未満		-0.30	0.019

安全で快適な道路の整備 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,599	943	456	173	18	9
		100.0%	59.0%	28.5%	10.8%	1.1%	0.6%
年齢	10代	54	55.6%	31.5%	7.4%	1.9%	3.7%
	20代	161	57.1%	29.2%	13.0%	0.6%	0.0%
	30代	257	62.6%	26.5%	9.3%	1.2%	0.4%
	40代	247	60.3%	27.9%	9.7%	1.2%	0.8%
	50代	297	53.2%	31.0%	13.1%	2.0%	0.7%
	60代	290	61.0%	27.2%	11.0%	0.7%	0.0%
	70代	218	61.0%	27.5%	10.6%	0.5%	0.5%
	80代以上	75	57.3%	32.0%	8.0%	1.3%	1.3%

安全で快適な道路の整備 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,577	82	265	558	276	296	100
		100.0%	5.2%	16.8%	35.4%	17.5%	18.8%	6.3%
年齢	10代	53	13.2%	11.3%	34.0%	11.3%	22.6%	7.5%
	20代	161	3.7%	16.1%	35.4%	18.0%	20.5%	6.2%
	30代	256	4.7%	16.0%	30.9%	21.5%	22.3%	4.7%
	40代	247	4.5%	11.7%	31.6%	20.2%	24.3%	7.7%
	50代	295	1.7%	17.3%	39.3%	17.3%	19.0%	5.4%
	60代	283	6.7%	20.5%	38.9%	15.9%	12.7%	5.3%
	70代	208	8.2%	21.2%	36.1%	12.5%	14.9%	7.2%
	80代以上	74	6.8%	13.5%	33.8%	18.9%	14.9%	12.2%

安全で快適な道路の整備 重要度 × 居住地

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,596	941	456	172	18	9
		100.0%	59.0%	28.6%	10.8%	1.1%	0.6%
居住地	井の頭	125	55.2%	31.2%	12.0%	0.8%	0.8%
	牟礼	180	66.7%	26.7%	5.0%	1.7%	0.0%
	北野	71	57.7%	29.6%	11.3%	0.0%	1.4%
	新川	140	62.9%	18.6%	15.0%	2.9%	0.7%
	中原	140	53.6%	31.4%	14.3%	0.7%	0.0%
	井口	114	64.0%	24.6%	9.6%	0.9%	0.9%
	上連雀	231	57.1%	31.2%	10.0%	0.9%	0.9%
	下連雀	351	57.8%	28.8%	11.4%	1.4%	0.6%
	野崎	51	51.0%	31.4%	13.7%	2.0%	2.0%
	大沢	114	62.3%	28.9%	8.8%	0.0%	0.0%
	深大寺	79	54.4%	35.4%	10.1%	0.0%	0.0%

安全で快適な道路の整備 満足度 × 居住地

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,573	82	264	559	276	293	99
		100.0%	5.2%	16.8%	35.5%	17.5%	18.6%	6.3%
居住地	井の頭	121	0.8%	15.7%	25.6%	19.8%	28.1%	9.9%
	牟礼	179	6.7%	11.7%	31.8%	17.3%	24.0%	8.4%
	北野	71	11.3%	7.0%	43.7%	12.7%	16.9%	8.5%
	新川	139	5.0%	16.5%	36.0%	18.7%	18.7%	5.0%
	中原	141	5.0%	21.3%	39.7%	15.6%	12.8%	5.7%
	井口	111	4.5%	15.3%	34.2%	20.7%	17.1%	8.1%
	上連雀	226	5.8%	13.3%	38.5%	19.9%	18.6%	4.0%
	下連雀	345	4.9%	19.1%	35.9%	17.1%	17.7%	5.2%
	野崎	51	2.0%	21.6%	39.2%	11.8%	15.7%	9.8%
	大沢	111	4.5%	25.2%	34.2%	15.3%	12.6%	8.1%
	深大寺	78	7.7%	17.9%	34.6%	17.9%	20.5%	1.3%

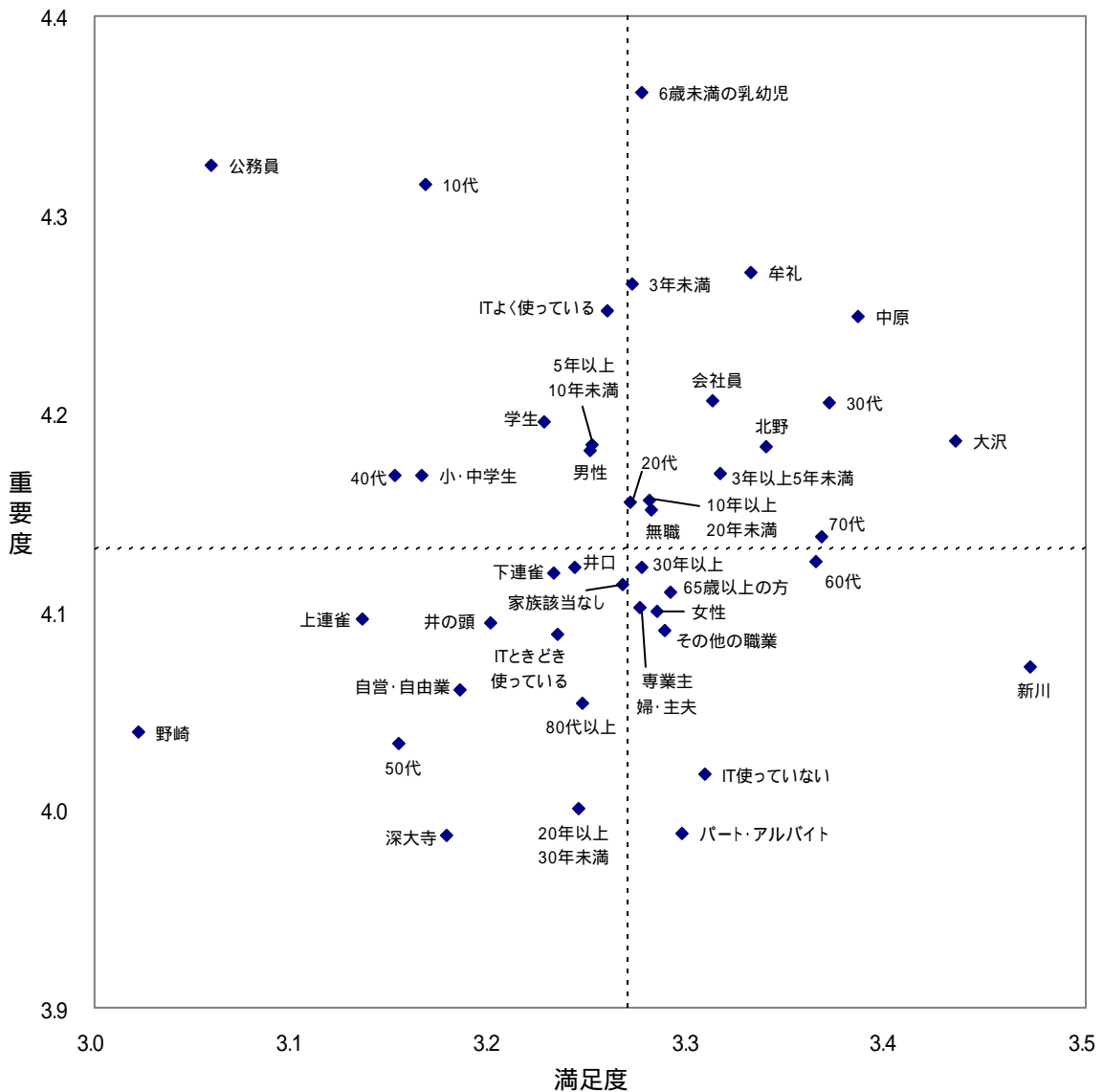
安全で快適な道路の整備 重要度 × 居住年数

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,598	942	457	172	18	9
		100.0%	58.9%	28.6%	10.8%	1.1%	0.6%
居住 年 数	3年未満	185	61.1%	24.9%	11.9%	2.2%	0.0%
	3年以上5年未満	112	55.4%	29.5%	12.5%	2.7%	0.0%
	5年以上10年未満	206	59.7%	27.7%	11.2%	0.5%	1.0%
	10年以上20年未満	256	61.3%	27.0%	9.4%	1.2%	1.2%
	20年以上30年未満	250	57.2%	29.6%	11.2%	1.6%	0.4%
	30年以上	589	58.4%	30.2%	10.4%	0.5%	0.5%

安全で快適な道路の整備 満足度 × 居住年数

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,576	82	264	559	276	295	100
		100.0%	5.2%	16.8%	35.5%	17.5%	18.7%	6.3%
居住 年 数	3年未満	185	3.8%	11.4%	32.4%	21.1%	23.2%	8.1%
	3年以上5年未満	111	5.4%	15.3%	31.5%	16.2%	21.6%	9.9%
	5年以上10年未満	205	6.3%	13.2%	30.7%	20.0%	24.9%	4.9%
	10年以上20年未満	253	4.7%	14.6%	37.5%	15.0%	21.7%	6.3%
	20年以上30年未満	247	3.6%	23.5%	35.2%	14.2%	17.8%	5.7%
	30年以上	575	6.1%	18.1%	38.1%	18.3%	13.6%	5.9%

(2) 緑と水の快適空間の創造



全回答者の「緑と水の快適空間の創造」(問 11)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.13、3.27 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「中原」、「大沢」、「牟礼」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「10代」、「公務員」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「パート・アルバイト」、「新川」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「50代」、「上連雀」、「野崎」、「深大寺」などである。

「緑と水の快適空間の創造」に対する評価を地域別にみると、「中原」、「牟礼」、「大沢」などは、満足度・重要度ともに平均値を上回っているのに対し、「上連雀」、「野崎」、

「深大寺」などは満足度・重要度ともに平均値を下回っており、地域属性による違いがみられる。

「緑と水の快適空間の創造」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「緑と水の回遊ルート整備」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、「上連雀」に居住している回答者は、「新川」に居住している回答者に比べて、満足度は低いことが明らかとなった。

居住地別平均値

	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口
重要度	4.09	4.27	4.18	4.07	4.25	4.12
満足度	3.20	3.33	3.34	3.47	3.39	3.24

	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
重要度	4.10	4.12	4.04	4.19	3.99
満足度	3.14	3.23	3.02	3.43	3.18

居住地別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	上連雀	新川	-0.34	0.043

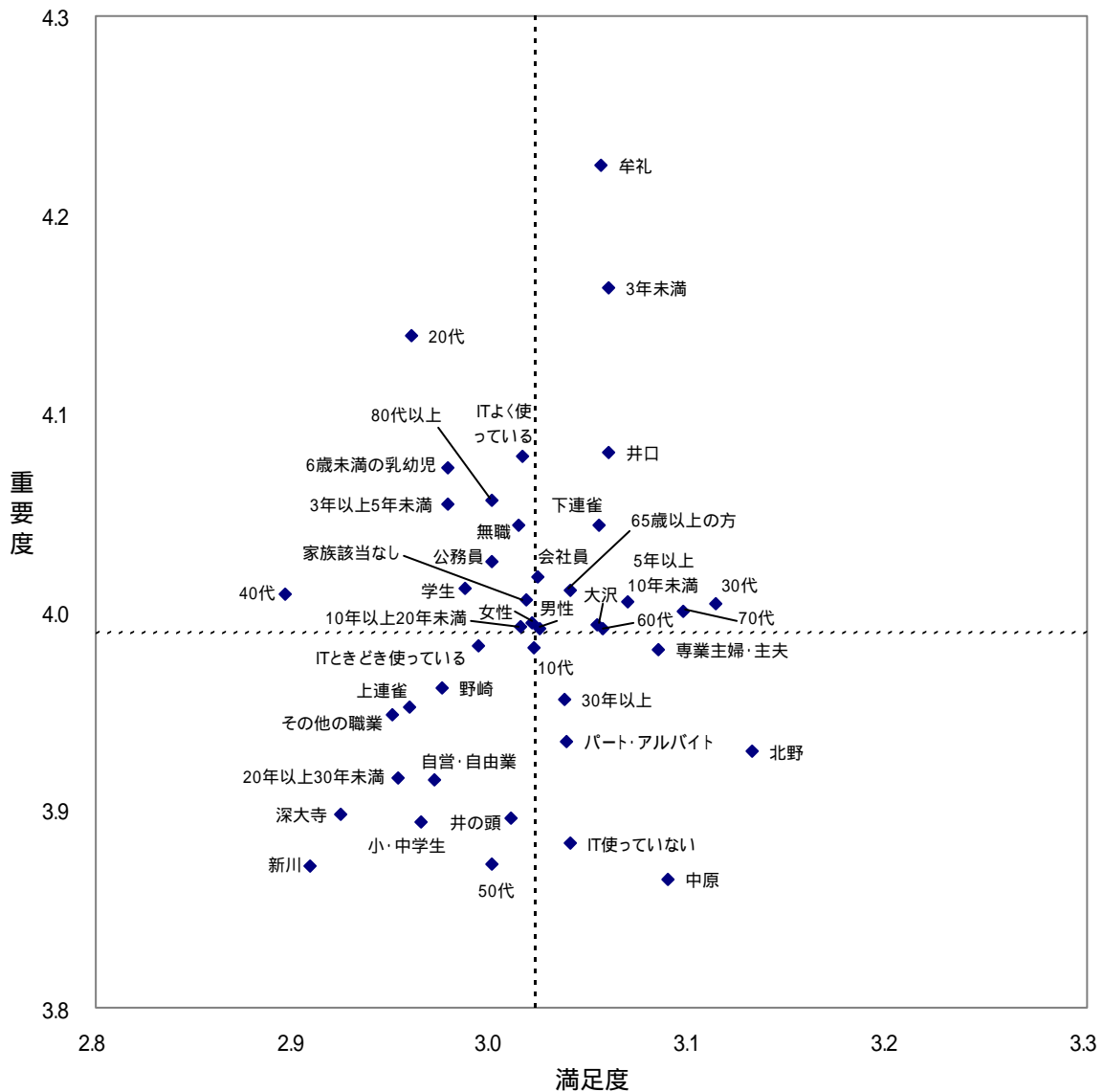
緑と水の快適空間の創造 重要度 × 居住地

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,600	646	579	330	38	7
		100.0%	40.4%	36.2%	20.6%	2.4%	0.4%
居住地	井の頭	127	37.8%	37.8%	21.3%	2.4%	0.8%
	牟礼	181	48.6%	32.6%	16.0%	2.8%	0.0%
	北野	71	42.3%	33.8%	23.9%	0.0%	0.0%
	新川	140	37.9%	39.3%	16.4%	5.0%	1.4%
	中原	141	45.4%	36.9%	14.9%	2.8%	0.0%
	井口	115	40.0%	34.8%	22.6%	2.6%	0.0%
	上連雀	230	37.0%	38.7%	21.7%	2.2%	0.4%
	下連雀	352	39.5%	35.2%	23.3%	1.7%	0.3%
	野崎	51	37.3%	35.3%	23.5%	2.0%	2.0%
	大沢	113	42.5%	35.4%	20.4%	1.8%	0.0%
深大寺	79	32.9%	38.0%	25.3%	2.5%	1.3%	

緑と水の快適空間の創造 満足度 × 居住地

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,581	133	379	713	135	61	160
		100.0%	8.4%	24.0%	45.1%	8.5%	3.9%	10.1%
居住地	井の頭	123	5.7%	24.4%	39.8%	12.2%	3.3%	14.6%
	牟礼	181	9.9%	25.4%	38.1%	9.9%	3.3%	13.3%
	北野	72	8.3%	25.0%	48.6%	5.6%	2.8%	9.7%
	新川	139	12.9%	28.1%	43.2%	3.6%	3.6%	8.6%
	中原	142	11.3%	29.6%	42.3%	8.5%	3.5%	4.9%
	井口	112	8.0%	18.8%	50.9%	8.0%	2.7%	11.6%
	上連雀	225	6.2%	18.7%	48.9%	11.1%	4.0%	11.1%
	下連雀	348	7.5%	23.9%	46.0%	8.6%	4.6%	9.5%
	野崎	51	2.0%	19.6%	52.9%	9.8%	5.9%	9.8%
	大沢	111	9.9%	27.9%	44.1%	5.4%	1.8%	10.8%
深大寺	77	9.1%	22.1%	48.1%	7.8%	7.8%	5.2%	

(3) 住環境の改善



全回答者の「住環境の改善」(問 12)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.99、3.02 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「牟礼」、「3年未満(居住年数)」などである。

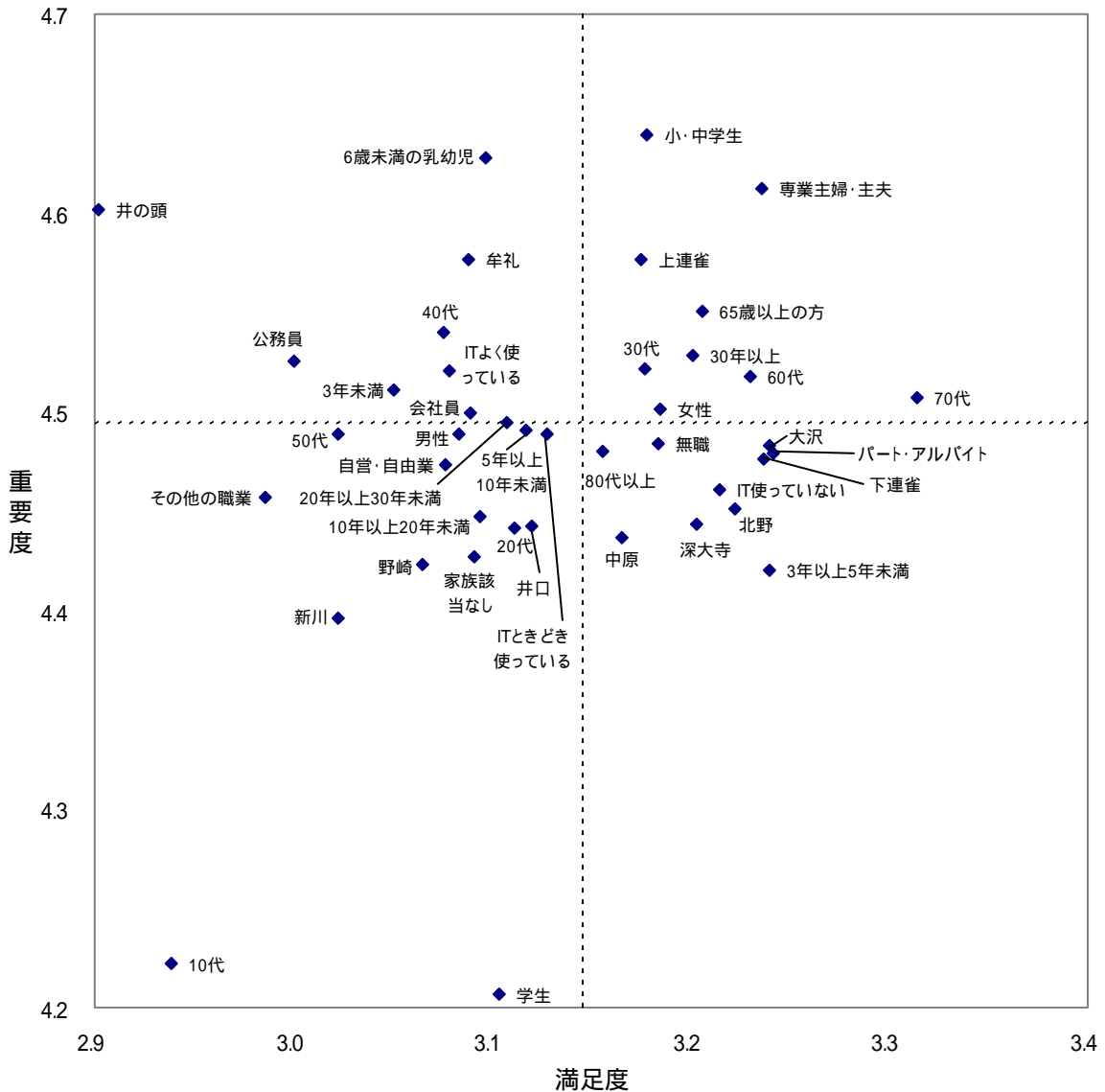
重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「20代」、「40代」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「中原」、「北野」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「新川」、「深大寺」、「小・中学生(同居家族)」、「20年以上30年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに、概ね平均値付近に分布しており、回答者の「住環境の改善」に対する認識はほぼ一致しているといえる。

(4) 安全安心のまちづくりの推進



全回答者の「安全安心のまちづくりの推進」(問 13)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.49、3.15 で、重要度の平均値は全施策の中でも 3 番目に高い。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「専業主婦・主夫」、「小・中学生(同居家族)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「公務員」、「井の頭」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「10代」、「学生」、「その他の職業」、「新川」などである。

「安全安心のまちづくりの推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「安全安心のまちづくり」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、乳幼児や小・中学生のいる世帯の方が、いない世帯よりも重要度が高いことが明らかになった。なお居住地も本施策に関連すると考えられるが、居住地による重要度・満足度の違いは統計的にはみられなかった。

乳幼児のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.63	4.49
満足度	3.10	3.14

乳幼児のいる世帯別統計的検定 *平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.14	0.023

小・中学生のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.64	4.48
満足度	3.18	3.12

小・中学生のいる世帯別統計的検定 *平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.16	0.002

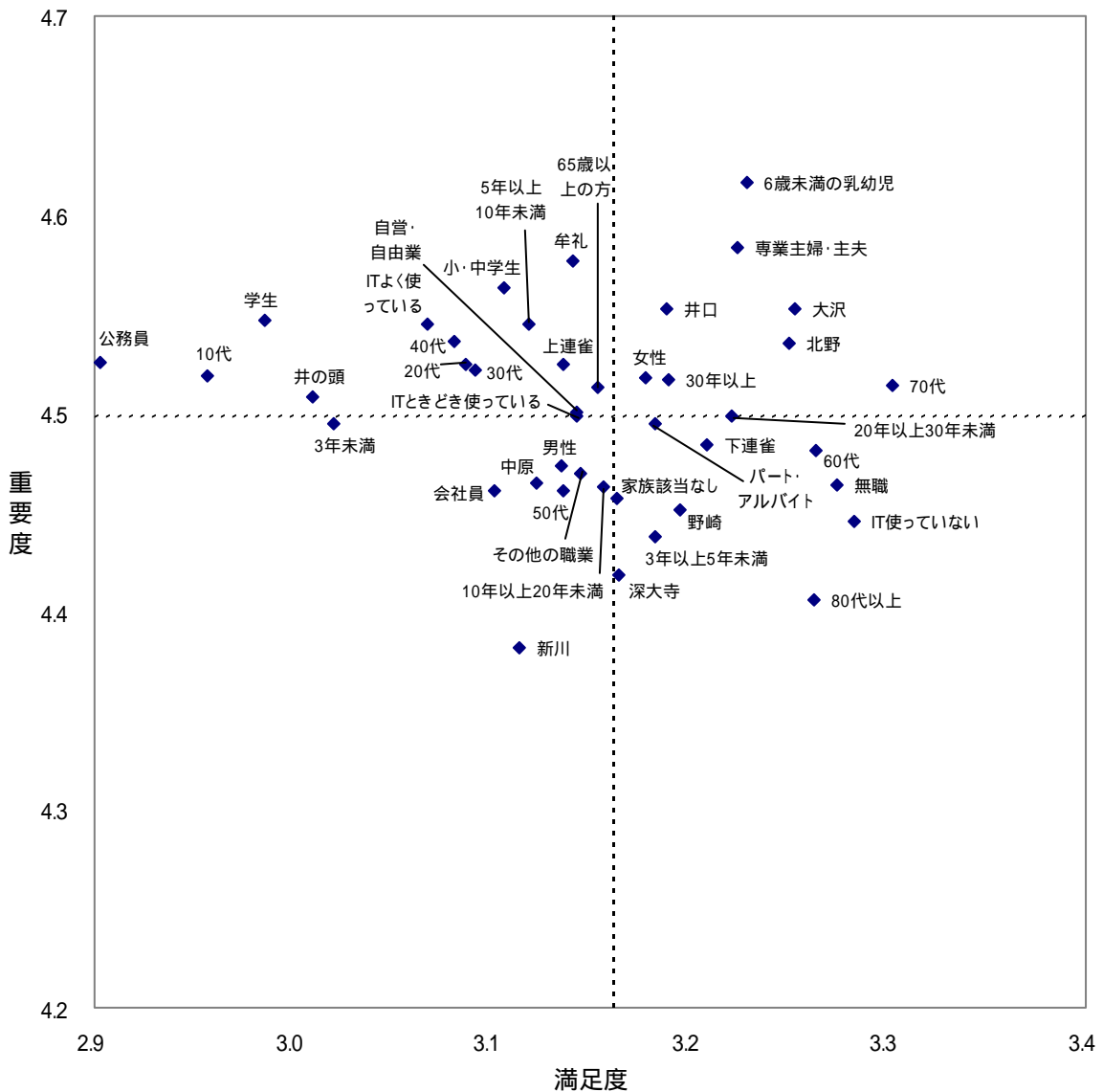
安全安心のまちづくりの推進 重要度 × 同居している家族

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,559	985	398	160	10	6
		100.0%	63.2%	25.5%	10.3%	0.6%	0.4%
同居家族	6歳未満の乳幼児	164	73.2%	18.3%	7.3%	0.6%	0.6%
	小・中学生	244	71.3%	22.1%	5.7%	0.8%	0.0%
	65歳以上の方	487	65.5%	25.1%	8.6%	0.6%	0.2%
	当てはまる人はいない	769	57.7%	28.7%	12.5%	0.5%	0.5%

安全安心のまちづくりの推進 満足度 × 同居している家族

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,537	107	341	662	175	99	153
		100.0%	7.0%	22.2%	43.1%	11.4%	6.4%	10.0%
同居家族	6歳未満の乳幼児	161	7.5%	20.5%	42.9%	11.8%	7.5%	9.9%
	小・中学生	242	7.0%	29.3%	36.0%	14.5%	6.2%	7.0%
	65歳以上の方	480	7.1%	26.0%	42.9%	10.4%	5.4%	8.1%
	当てはまる人はいない	755	6.9%	19.2%	44.2%	10.9%	7.0%	11.8%

(5) 災害に強いまちづくりの推進



全回答者の「災害に強いまちづくりの推進」(問 14)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.50、3.16 で、重要度の平均値は全施策の中でも 2 番目に高い。

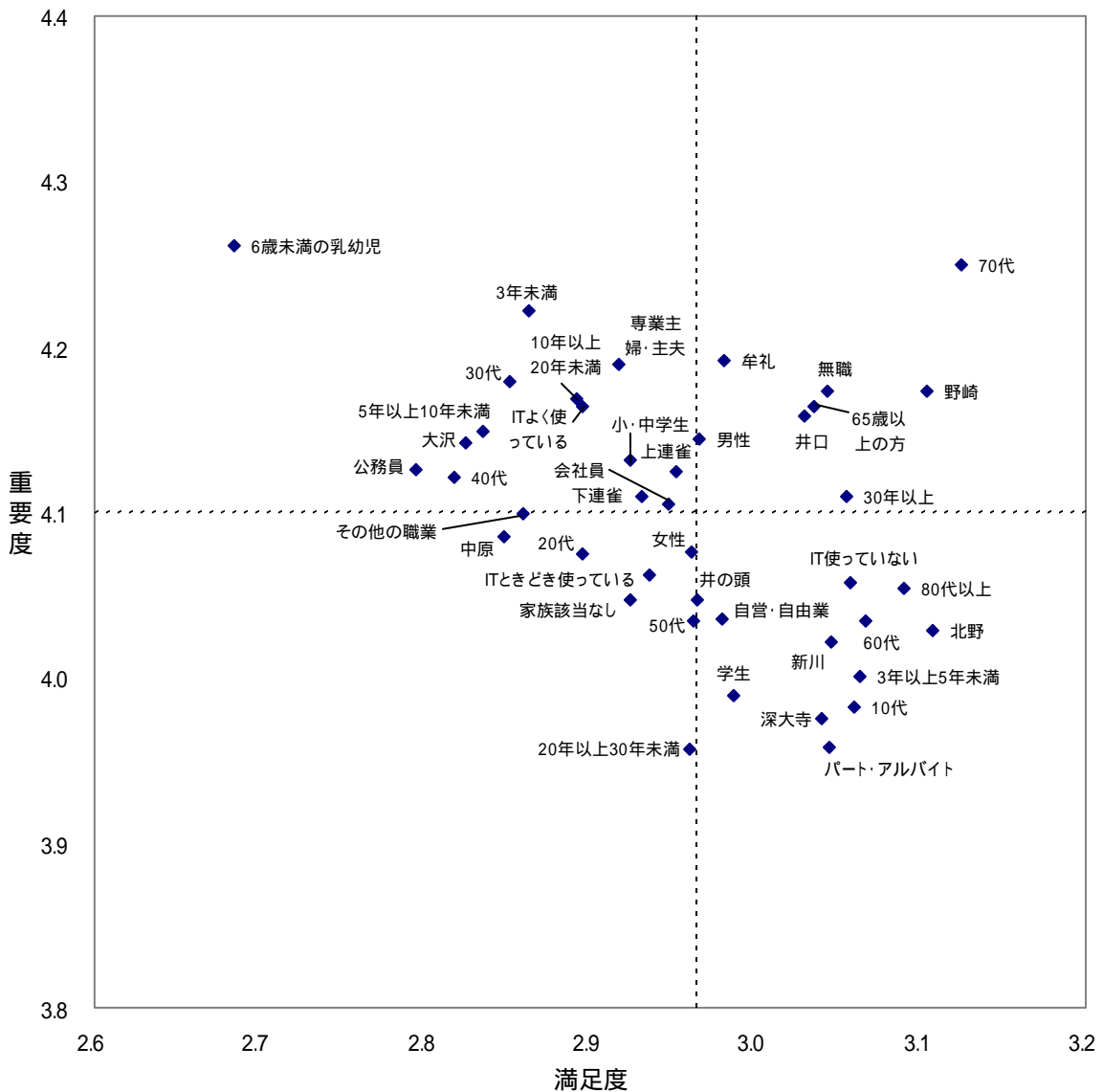
重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「専業主婦・主夫」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「10代」、「公務員」、「学生」、「井の頭」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「無職」、「IT使っていない」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「新川」、「3年未満(居住年数)」などである。

(6) 都市交通環境の整備



全回答者の「都市交通環境の整備」(問 15)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.10、2.96 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「野崎」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「30代」、「公務員」、「大沢」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」、「3年未満(居住年数)」、「5年以上10年未満(居住年数)」などである。

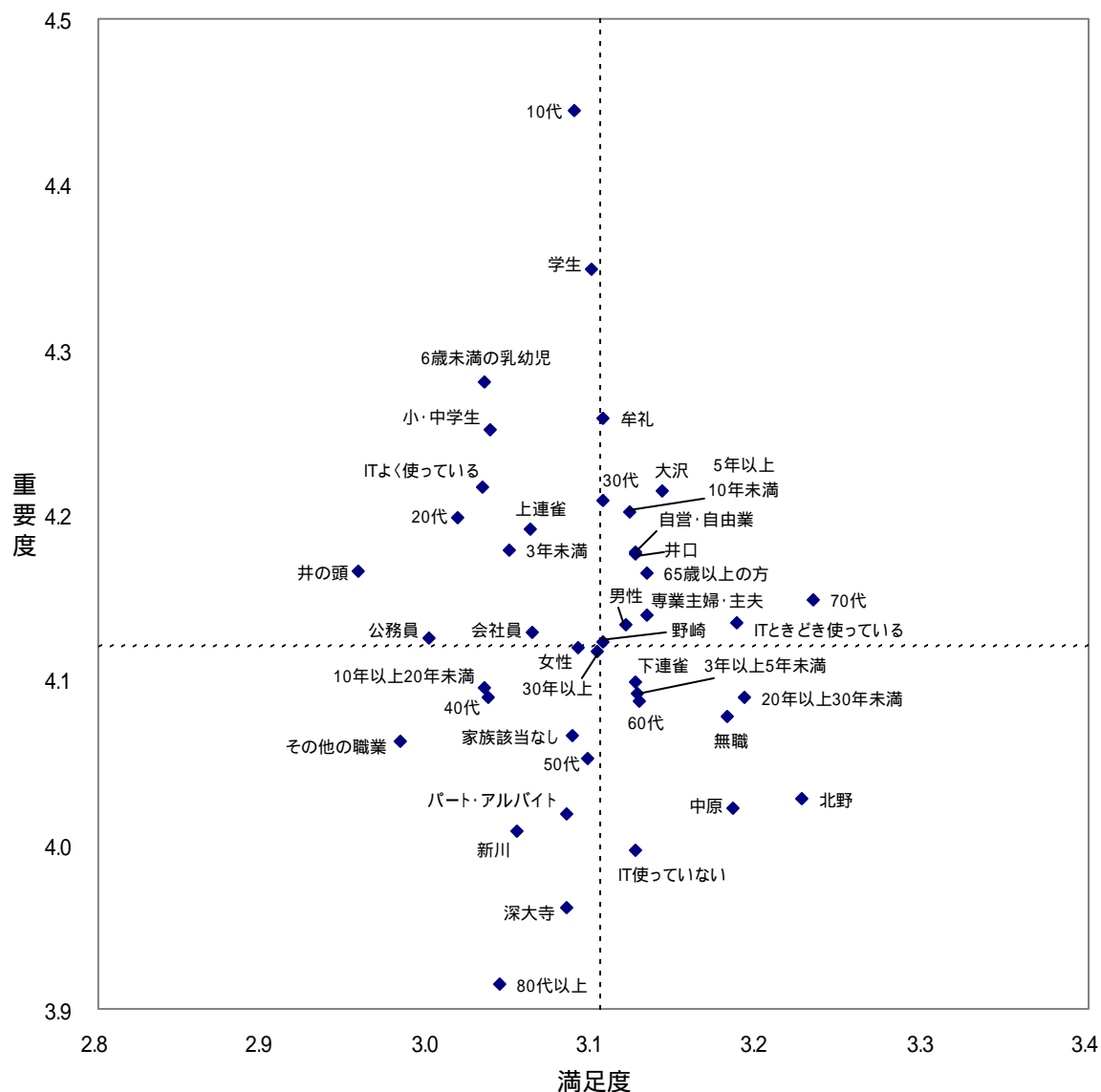
重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「パート・アルバイト」、「北野」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性については、ほとんどが平均値付近にあり、特徴的な属性はみあたらない。

このプロット図から、「6歳未満の乳幼児」のいる世帯の重要度が高いことが特徴として読みとれる。

5.4 人と自然が共存できる循環・環境のまちをつくる

(1) 環境保全の推進



全回答者の「環境保全の推進」(問 16)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ4.12、3.10である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「大沢」、「牟礼」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「10代」、「20代」、「学生」、「井の頭」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」、「小・中学生(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「北野」、「中原」、「IT使っていない」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「80代以上」、「その他の職業」、「深大寺」、「新川」などである。

「環境保全の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「循環型社会形成」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、年齢では「50代」や「80代以上」の回答者よりも「10代」の回答者の方が、重要度の平均値が高いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	4.44	4.20	4.21	4.09	4.05	4.09	4.15	3.92
満足度	3.09	3.02	3.11	3.04	3.10	3.13	3.23	3.04

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	50代	10代	-0.39	0.044
	80代以上		-0.53	0.016

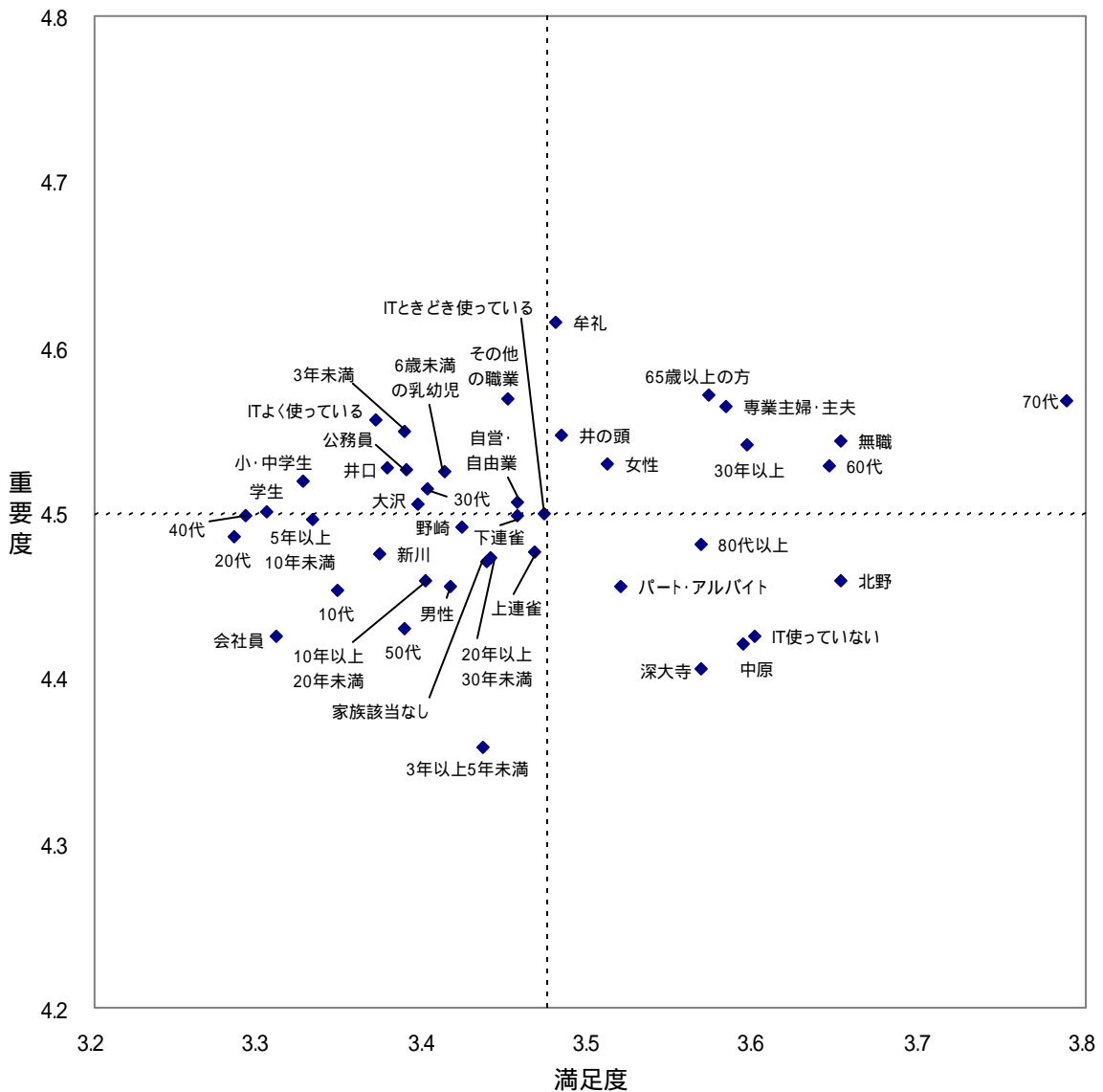
環境保全の推進 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,589	655	520	377	30	7
		100.0%	41.2%	32.7%	23.7%	1.9%	0.4%
年齢	10代	54	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	20代	162	45.1%	31.5%	21.6%	1.9%	0.0%
	30代	255	48.2%	27.1%	22.0%	2.7%	0.0%
	40代	248	37.9%	37.5%	21.0%	2.8%	0.8%
	50代	292	38.7%	31.5%	27.1%	1.7%	1.0%
	60代	290	38.6%	33.4%	26.2%	1.4%	0.3%
	70代	217	39.2%	38.2%	21.2%	0.9%	0.5%
	80代以上	71	35.2%	23.9%	38.0%	2.8%	0.0%

環境保全の推進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,569	63	178	857	79	49	343
		100.0%	4.0%	11.3%	54.6%	5.0%	3.1%	21.9%
年齢	10代	54	5.6%	16.7%	46.3%	9.3%	5.6%	16.7%
	20代	161	3.1%	5.6%	54.0%	3.1%	3.7%	30.4%
	30代	256	4.3%	12.9%	48.0%	4.3%	4.7%	25.8%
	40代	247	3.6%	10.1%	52.6%	6.5%	4.0%	23.1%
	50代	290	1.7%	13.1%	60.0%	5.9%	1.4%	17.9%
	60代	283	5.3%	10.6%	62.2%	4.6%	2.8%	14.5%
	70代	206	5.8%	14.1%	53.9%	3.4%	1.9%	20.9%
	80代以上	72	4.2%	6.9%	43.1%	6.9%	2.8%	36.1%

(2) 資源循環型ごみ処理の推進



全回答者の「資源循環型ごみ処理の推進」(問 17)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.50、3.47 であり、全施策の中で重要度・満足度ともに第 1 位である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「60代」、「70代」、「無職」などがあり、特に「70代」は平均値を大きく上回っている。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「3年未満(居住年数)」、「小・中学生(同居家族)」、「ITよく使っている」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は少ないが、「北野」、「中原」、「深大寺」、「IT使っていない」などが挙げられる。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「20代」、「会社員」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

「資源循環型ごみ処理の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「循環型社会形成」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、年齢別では「60代」、「70代」よりも「20代」～「50代」の方が満足度は高いことが明らかとなった。職業別では「会社員」よりも「専業主婦・主夫」、「無職」の方が、重要度は高いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	4.45	4.48	4.51	4.50	4.43	4.53	4.57	4.48
満足度	3.35	3.28	3.40	3.29	3.39	3.64	3.79	3.57

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	20代	60代	-0.36	0.002
	30代		-0.24	0.046
	40代		-0.35	0.000
	50代		-0.26	0.017
	10代	70代	-0.44	0.040
	20代		-0.50	0.000
	30代		-0.39	0.000
	40代		-0.50	0.000
	50代		-0.40	0.000

職業別平均値

	会社員	公務員	自営・自由業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
重要度	4.42	4.53	4.51	4.46	4.56	4.50	4.54	4.57
満足度	3.31	3.39	3.46	3.52	3.58	3.30	3.65	3.45

職業別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	会社員	専業主婦・主夫	-0.27	0.002
		無職	-0.34	0.000

資源循環型ごみ処理の推進 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,609	972	476	154	6	1
		100.0%	60.4%	29.6%	9.6%	0.4%	0.1%
年齢	10代	53	54.7%	35.8%	9.4%	0.0%	0.0%
	20代	163	59.5%	30.7%	9.2%	0.0%	0.6%
	30代	257	63.4%	25.3%	10.5%	0.8%	0.0%
	40代	251	59.8%	30.7%	9.2%	0.4%	0.0%
	50代	296	56.4%	30.4%	12.8%	0.3%	0.0%
	60代	292	62.0%	28.8%	9.2%	0.0%	0.0%
	70代	222	64.4%	28.8%	5.9%	0.9%	0.0%
	80代以上	75	56.0%	36.0%	8.0%	0.0%	0.0%

資源循環型ごみ処理の推進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,592	178	539	616	98	49	112
		100.0%	11.2%	33.9%	38.7%	6.2%	3.1%	7.0%
年齢	10代	54	14.8%	20.4%	40.7%	11.1%	3.7%	9.3%
	20代	162	9.9%	22.2%	44.4%	8.0%	4.3%	11.1%
	30代	256	10.5%	33.6%	37.1%	7.0%	5.1%	6.6%
	40代	251	7.2%	29.5%	44.6%	6.4%	5.2%	7.2%
	50代	297	5.7%	35.7%	43.8%	6.7%	2.0%	6.1%
	60代	287	15.0%	38.3%	35.2%	3.5%	2.1%	5.9%
	70代	211	17.5%	43.6%	29.4%	3.3%	0.5%	5.7%
	80代以上	74	16.2%	32.4%	29.7%	10.8%	1.4%	9.5%

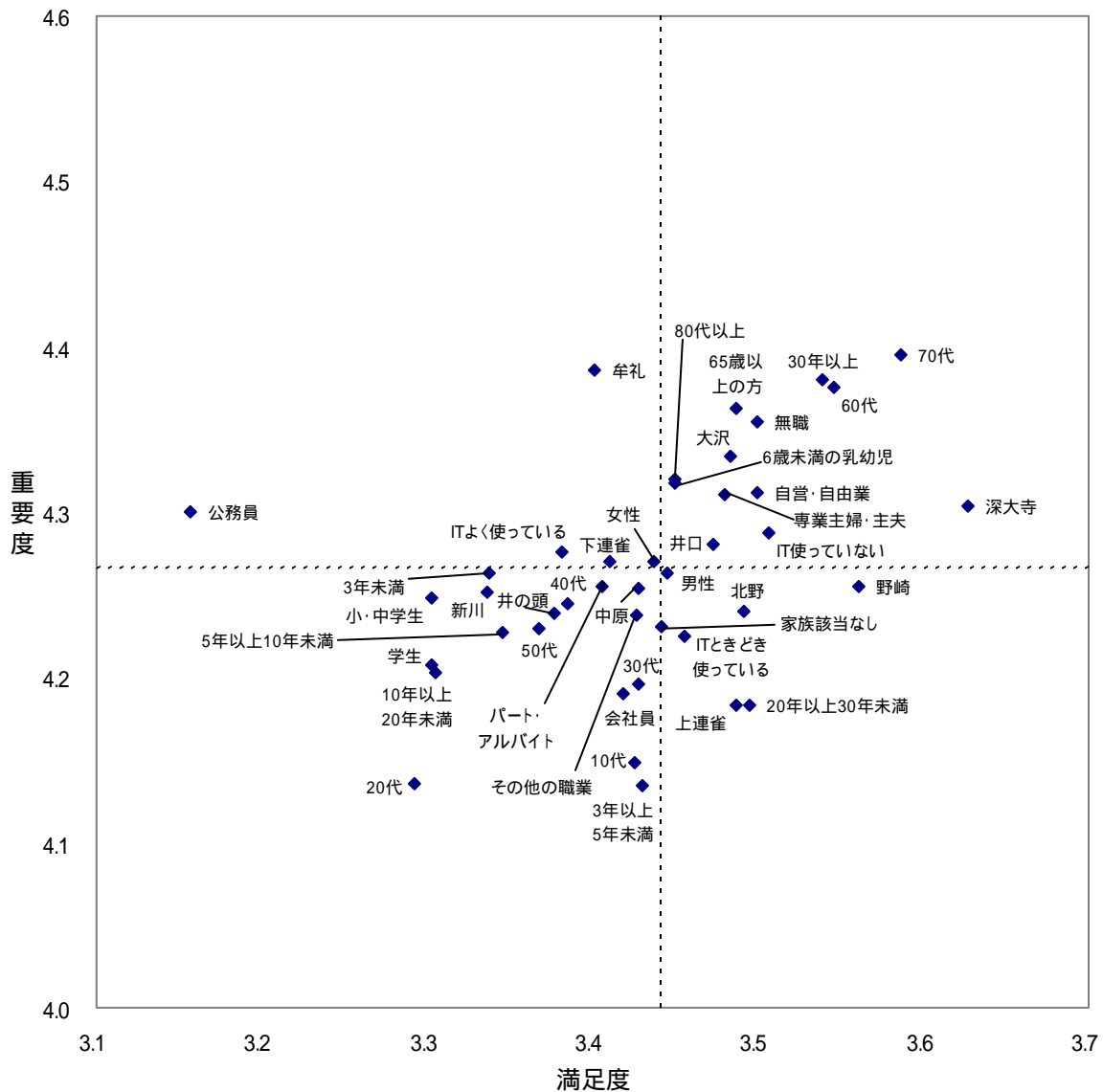
安全で快適な道路の整備 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,590	938	453	172	18	9
		100.0%	59.0%	28.5%	10.8%	1.1%	0.6%
職業	会社員	461	57.9%	28.6%	12.1%	1.1%	0.2%
	公務員	40	52.5%	30.0%	12.5%	2.5%	2.5%
	自営・自由業	168	58.9%	29.2%	10.1%	0.6%	1.2%
	パート・アルバイト	166	54.8%	30.7%	14.5%	0.0%	0.0%
	専業主婦・主夫	314	62.4%	26.1%	9.6%	1.6%	0.3%
	学生	87	55.2%	35.6%	5.7%	1.1%	2.3%
	無職	276	59.4%	28.3%	10.9%	0.7%	0.7%
	その他	78	66.7%	23.1%	6.4%	3.8%	0.0%

安全で快適な道路の整備 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,568	82	264	555	274	293	100
		100.0%	5.2%	16.8%	35.4%	17.5%	18.7%	6.4%
職業	会社員	459	4.6%	16.6%	35.3%	18.7%	19.0%	5.9%
	公務員	39	2.6%	5.1%	41.0%	20.5%	20.5%	10.3%
	自営・自由業	165	4.8%	21.2%	36.4%	17.0%	15.8%	4.8%
	パート・アルバイト	166	6.6%	18.1%	38.0%	13.9%	18.1%	5.4%
	専業主婦・主夫	309	4.9%	14.9%	34.6%	19.1%	21.0%	5.5%
	学生	86	9.3%	14.0%	39.5%	14.0%	19.8%	3.5%
	無職	270	6.7%	17.0%	34.4%	16.3%	15.6%	10.0%
	その他	74	0.0%	23.0%	27.0%	18.9%	24.3%	6.8%

(3) 水循環の促進



全回答者の「水循環の促進」(問 18)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.27、3.44 であり、全施策の中で満足度が 2 番目に高い。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「60代」、「70代」、「深大寺」、「30年以上(居住年数)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は少ないが、「公務員」、「牟礼」などが挙げられる。

同様に重要度が低く、満足度が高い領域にある属性も少ないが、「上連雀」、「野崎」、「20年以上30年未満」などが挙げられる。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「20代」、「学生」、「10年以上20年未満(居住年数)」、「小・中学生(同居家族)」などがある。

概ね、「水循環の促進」に関して重要と捉えている回答者ほど、満足度が高くなる

傾向にある。

「水循環の促進」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「循環型社会形成」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、「20代」は「60代」、「70代」と比べて重要度が低く、「70代」と比べて満足度が低いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	4.15	4.13	4.20	4.24	4.23	4.38	4.40	4.32
満足度	3.43	3.29	3.43	3.39	3.37	3.55	3.59	3.45

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	20代	60代	-0.24	0.039
		70代	-0.26	0.031
満足度	20代	70代	-0.29	0.043

水循環の促進 重要度 × 年齢

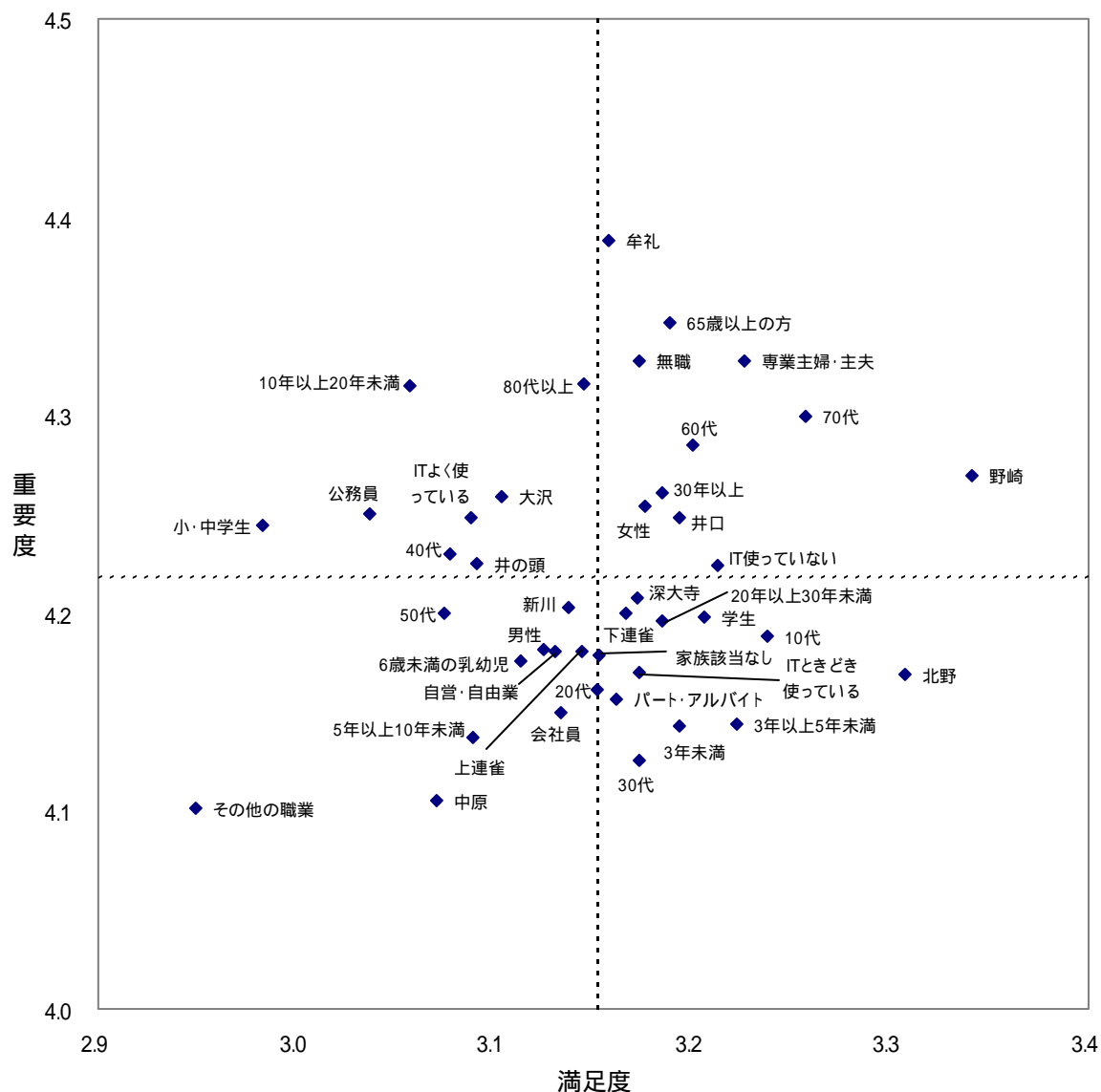
		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,602	748	558	276	17	3
		100.0%	46.7%	34.8%	17.2%	1.1%	0.2%
年齢	10代	54	40.7%	37.0%	18.5%	3.7%	0.0%
	20代	163	39.9%	36.8%	20.9%	1.8%	0.6%
	30代	255	44.7%	32.2%	21.6%	1.2%	0.4%
	40代	249	44.2%	37.3%	17.3%	1.2%	0.0%
	50代	296	42.9%	38.5%	17.2%	1.4%	0.0%
	60代	290	52.8%	32.4%	14.5%	0.3%	0.0%
	70代	220	54.5%	31.8%	12.7%	0.5%	0.5%
	80代以上	75	49.3%	33.3%	17.3%	0.0%	0.0%

水循環の促進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,587	131	399	689	47	22	299
		100.0%	8.3%	25.1%	43.4%	3.0%	1.4%	18.8%
年齢	10代	54	7.4%	20.4%	44.4%	0.0%	1.9%	25.9%
	20代	162	6.8%	16.0%	41.4%	1.9%	3.7%	30.2%
	30代	256	7.4%	22.7%	41.8%	2.7%	1.2%	24.2%
	40代	249	5.6%	23.7%	47.8%	2.4%	0.8%	19.7%
	50代	296	3.7%	29.7%	48.6%	3.4%	1.0%	13.5%
	60代	286	14.0%	27.3%	40.9%	3.8%	1.7%	12.2%
	70代	210	10.5%	31.0%	38.1%	3.3%	0.0%	17.1%
	80代以上	74	13.5%	18.9%	41.9%	4.1%	2.7%	18.9%

5.5 希望と安全にみちた健康・福祉のまちをつくる

(1) 地域福祉の推進



全回答者の「地域福祉の推進」(問 19)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ4.22、3.15である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「専業主婦・主夫」、「無職」、「野崎」、「牟礼」、「65歳以上の方(同居家族)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「80代以上」、「10年以上20年未満(居住年数)」、「小・中学生(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「北野」、「3年以上5年未満」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「その他の職業」、「中原」、「5年以上

10年未満（居住年数）」などである。

「地域福祉の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「地域ケア推進」プロジェクト及び「バリアフリーのまちづくり」プロジェクトに関連する施策である。

年齢、職業、居住地に関して平均値の違いを統計的に検定したが、いずれも統計的な有意差は認められなかった。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、高齢者と同居している世帯の方が同居していない世帯よりも重要度が高いことが明らかとなった。

高齢者のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.47	4.35
満足度	3.10	3.10

高齢者のいる世帯別統計的検定 *平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.12	0.008

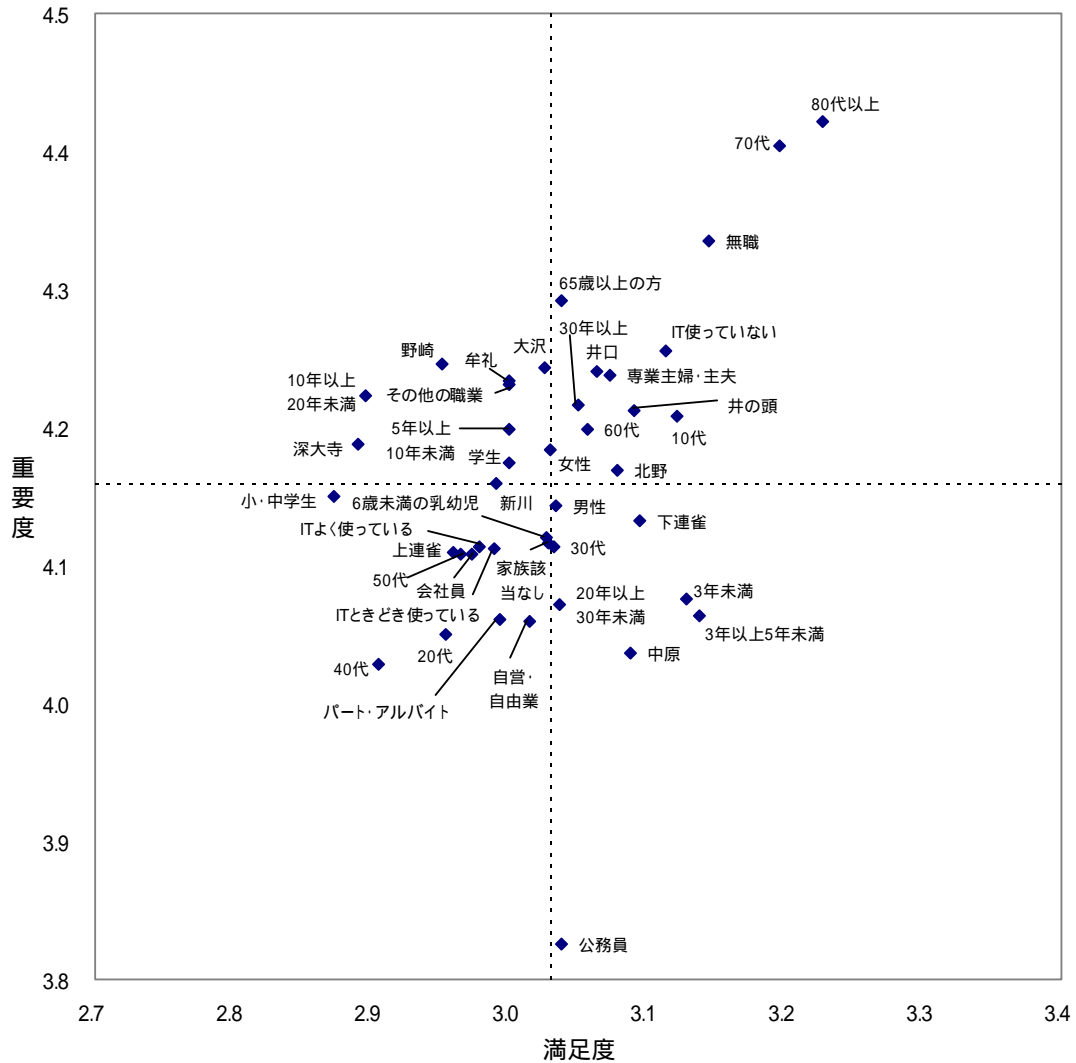
高齢者福祉の充実 重要度 × 同居している家族

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,549	839	501	187	16	6
		100.0%	54.2%	32.3%	12.1%	1.0%	0.4%
同居家族	6歳未満の乳幼児	164	54.3%	30.5%	12.2%	3.0%	0.0%
	小・中学生	241	48.1%	38.6%	11.6%	1.2%	0.4%
	65歳以上の方	479	59.1%	30.1%	9.8%	0.4%	0.6%
	当てはまる人はいない	767	53.8%	31.9%	12.9%	1.0%	0.3%

高齢者福祉の充実 満足度 × 同居している家族

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,528	72	225	676	117	69	369
		100.0%	4.7%	14.7%	44.2%	7.7%	4.5%	24.1%
同居家族	6歳未満の乳幼児	164	1.8%	10.4%	43.9%	4.3%	3.7%	36.0%
	小・中学生	239	2.1%	9.6%	44.8%	7.5%	5.0%	31.0%
	65歳以上の方	470	6.8%	18.1%	41.5%	9.6%	6.8%	17.2%
	当てはまる人はいない	754	4.6%	14.3%	45.0%	7.6%	3.6%	24.9%

(4) 生活支援の充実



全回答者の「生活支援の充実」(問 22)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.16、3.03 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「80代以上」、「無職」などである。

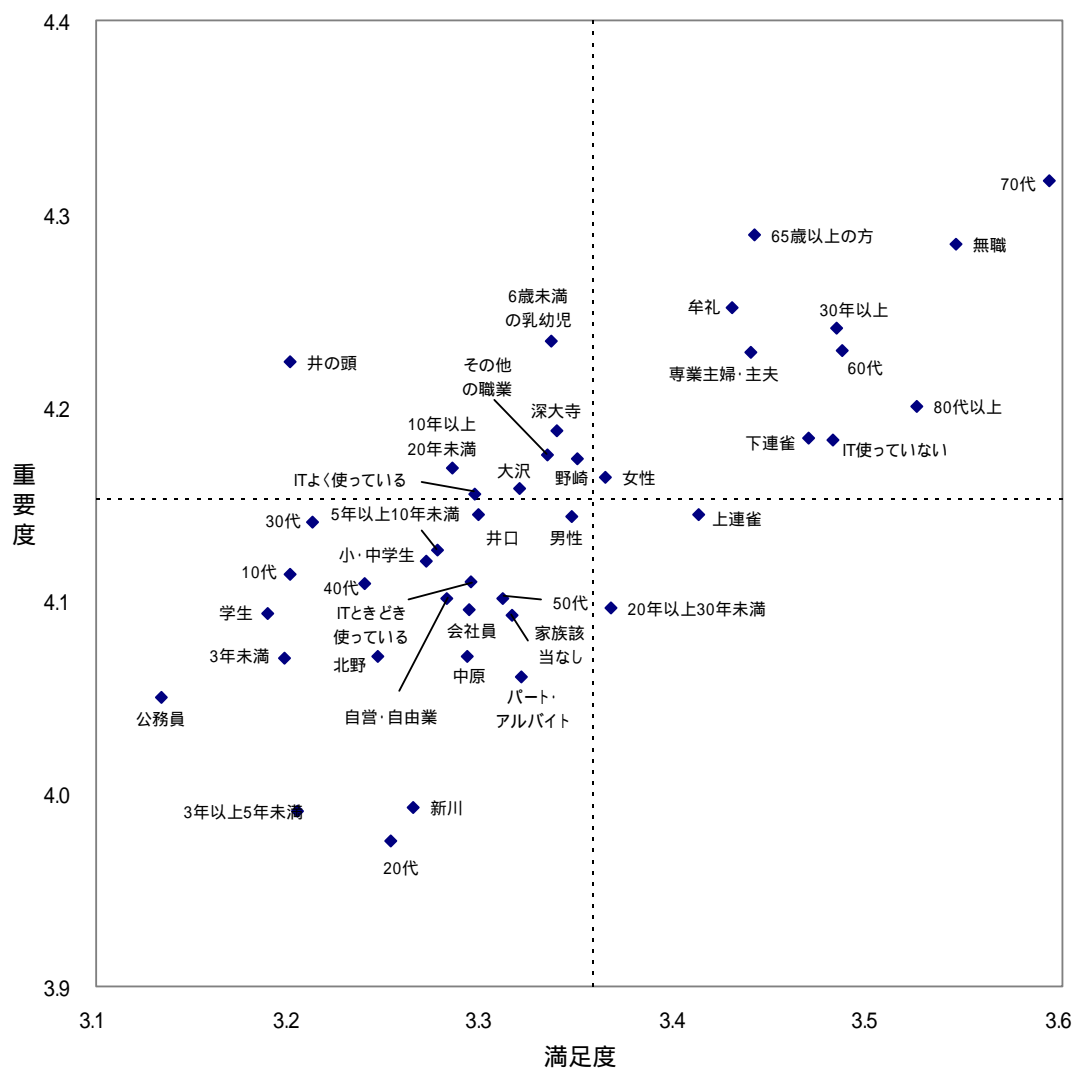
重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「野崎」、「10年以上20年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「公務員」、「中原」、「3年未満(居住年数)」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「20代」、「40代」などである。

「70代」、「80代以上」の重要度・満足度が平均値を大きく上回っているのが特徴といえる。

(5) 健康づくりの推進



全回答者の「健康づくりの推進」(問 23)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.15、3.36 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「60代」、「70代」、「80代以上」、「無職」、「65歳以上の方(同居家族)」、「30年以上(居住年数)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「井の頭」などである。

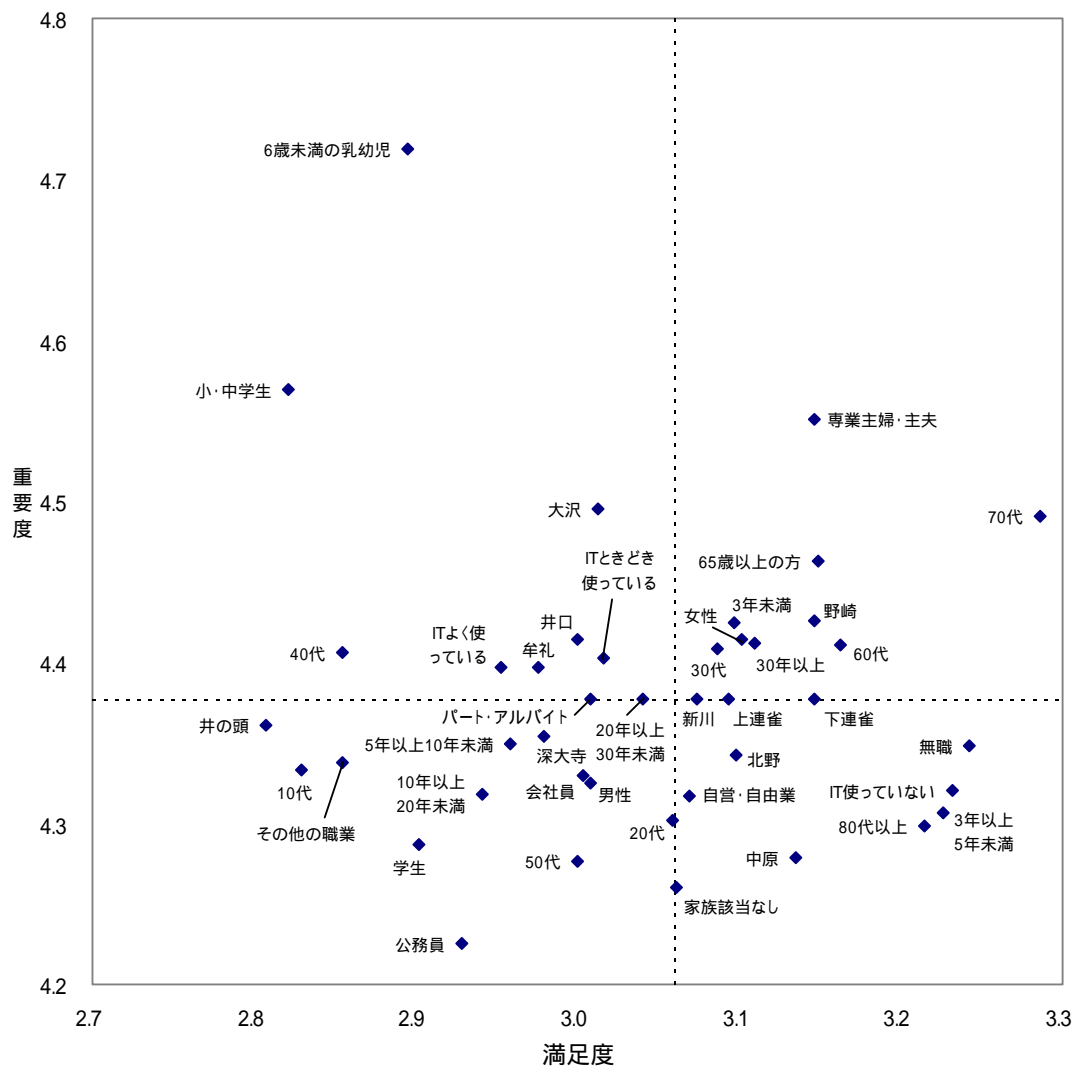
重要度が低く、満足度が高い領域にある属性はほとんどみられない。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「20代」、「公務員」、「新川」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

60代以上の比較的高年齢層の重要度・満足度が、ともに高いことが特徴として挙げられる。

5.6 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる

(1) 子どもの人権の尊重



全回答者の「子どもの人権の尊重」(問 24)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.38、3.06 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「専業主婦・主夫」などである。

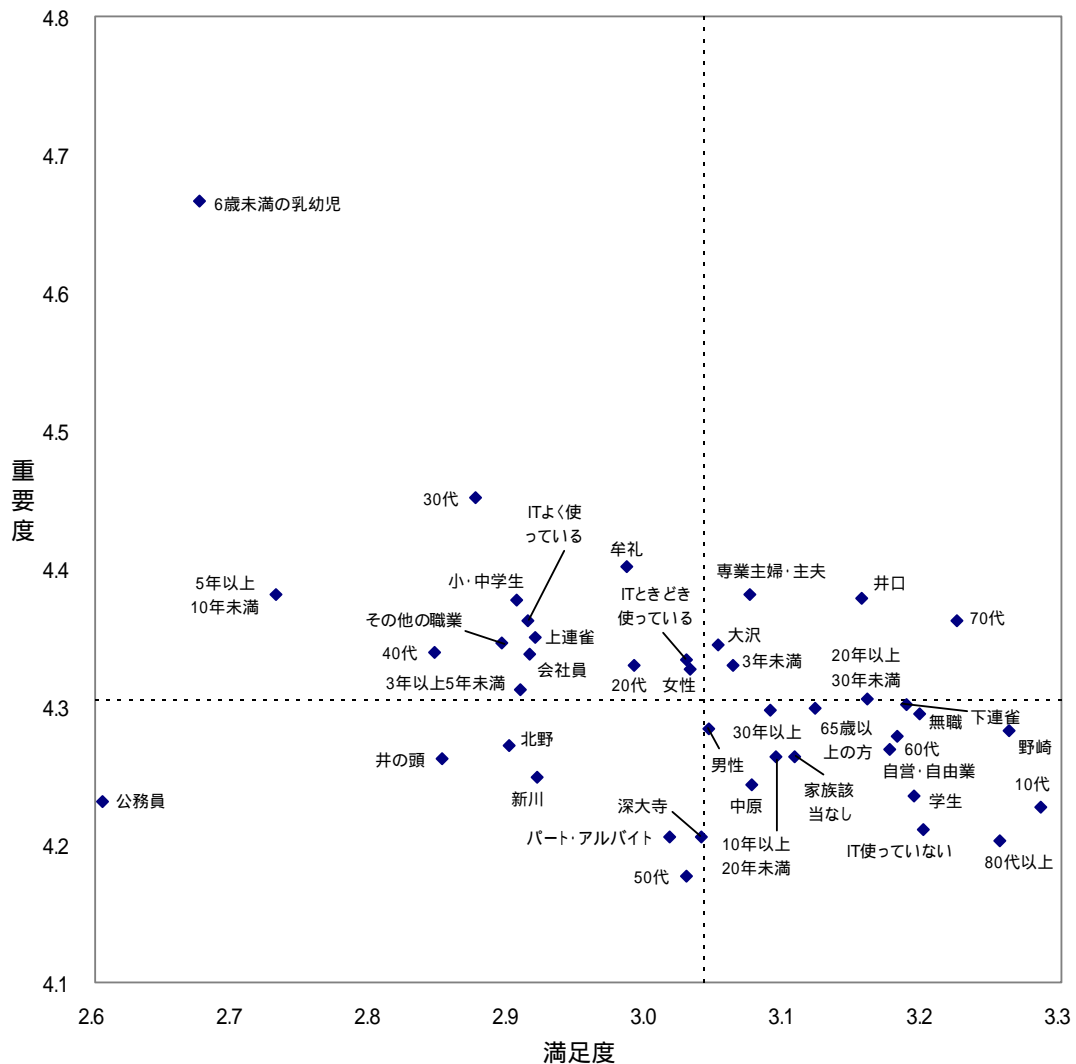
重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「40代」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」、「小・中学生(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「無職」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「10代」、「学生」、「公務員」、「その他の職業」、「井の頭」などである。

「6歳未満の乳幼児」、「小・中学生」などの子どもがいる世帯の重要度が非常に高くなっているのが特徴として挙げられる。

(2) 子育て支援の充実



全回答者の「子育て支援の充実」(問 25)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.30、3.04 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は少ないが、「70代」、「井口」などが挙げられる。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「30代」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」、「5年以上10年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「10代」、「80代以上」、「学生」、「野崎」、「IT使っていない」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は少ないが、「公務員」、「井の頭」などが挙げられる。

「子育て支援の充実」に関しては、「6歳未満の乳幼児」のいる世帯の重要度が非常に高く、それに対する満足度が低いことが特徴として挙げられる。

「子育て支援の充実」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「子ども・子育て支援」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、年齢別では「50代」よりも「30代」の方が重要度は高く、「60代」、「70代」よりも「30代」、「40代」の方が満足度は低いことが明らかとなった。また同居している家族では、乳幼児や小・中学生など子どものいる世帯の方が、いない世帯に比べ満足度が低いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	4.23	4.33	4.45	4.34	4.18	4.28	4.36	4.20
満足度	3.29	2.99	2.88	2.85	3.03	3.18	3.22	3.26

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	50代	30代	-0.27	0.002
満足度	30代	60代	-0.31	0.014
		70代	-0.35	0.009
	40代	60代	-0.34	0.004
		70代	-0.38	0.002

乳幼児のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.67	4.28
満足度	2.68	3.08

乳幼児のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.39	0.000
満足度	いる	いない	-0.40	0.000

小・中学生のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.38	4.31
満足度	2.91	3.06

小・中学生のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	いる	いない	-0.15	0.029

子育て支援の充実 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,588	820	463	284	17	4
		100.0%	51.6%	29.2%	17.9%	1.1%	0.3%
年齢	10代	53	50.9%	24.5%	20.8%	3.8%	0.0%
	20代	161	53.4%	28.0%	17.4%	0.6%	0.6%
	30代	257	63.0%	20.2%	16.0%	0.4%	0.4%
	40代	248	52.8%	29.0%	17.3%	0.8%	0.0%
	50代	293	42.0%	36.2%	19.5%	2.4%	0.0%
	60代	287	47.4%	34.5%	17.1%	0.7%	0.3%
	70代	215	56.3%	25.1%	17.7%	0.5%	0.5%
	80代以上	74	45.9%	29.7%	23.0%	1.4%	0.0%

子育て支援の充実 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,569	65	210	688	103	97	406
		100.0%	4.1%	13.4%	43.8%	6.6%	6.2%	25.9%
年齢	10代	53	11.3%	18.9%	35.8%	7.5%	5.7%	20.8%
	20代	161	4.3%	9.3%	37.9%	5.0%	6.8%	36.6%
	30代	255	3.9%	15.7%	36.9%	11.4%	11.0%	21.2%
	40代	247	2.8%	10.9%	50.6%	9.3%	10.1%	16.2%
	50代	291	0.3%	13.4%	49.8%	3.1%	4.5%	28.9%
	60代	281	5.0%	18.5%	41.3%	5.0%	5.0%	25.3%
	70代	207	7.2%	10.1%	46.4%	5.8%	1.4%	29.0%
	80代以上	74	6.8%	8.1%	43.2%	5.4%	0.0%	36.5%

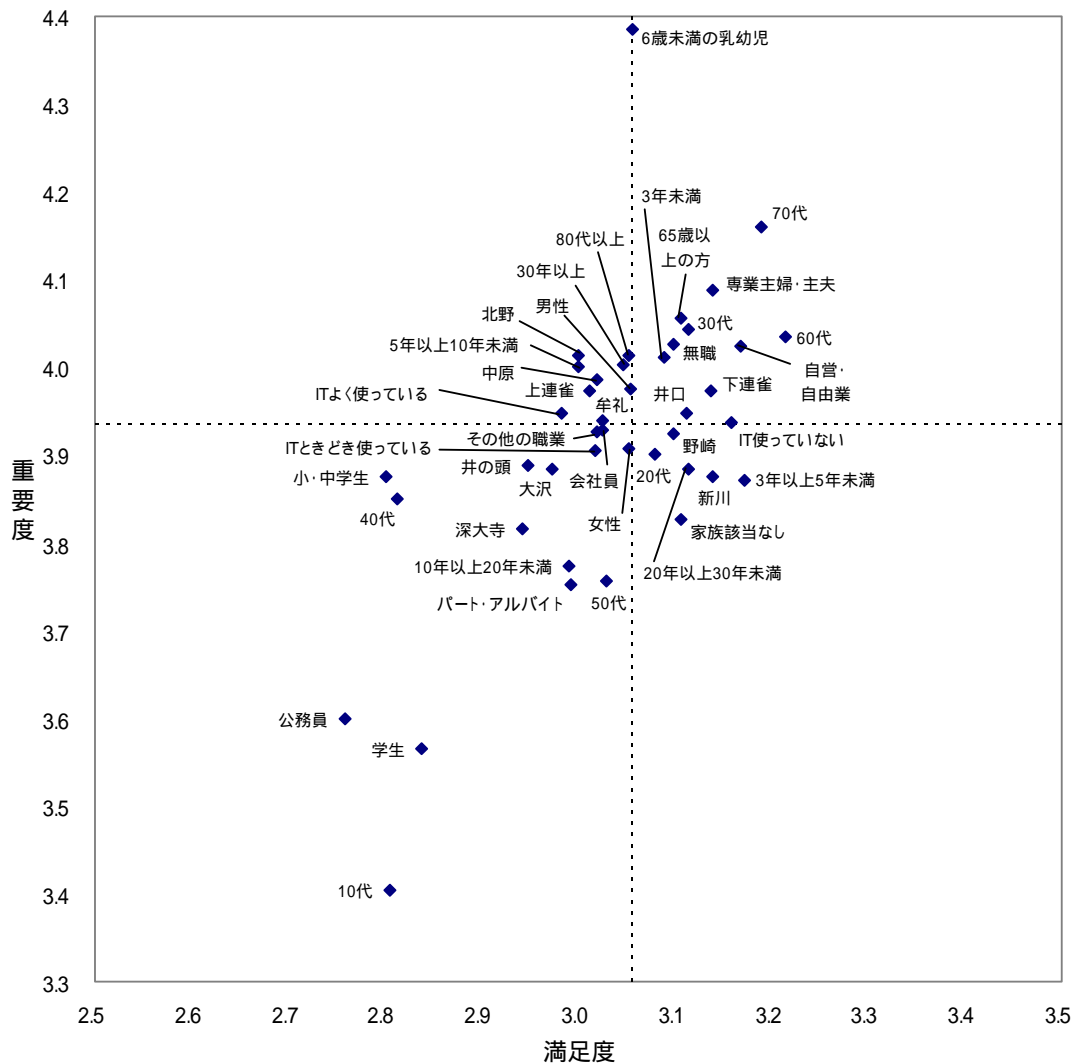
子育て支援の充実 重要度 × 同居している家族

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,543	807	449	266	17	4
		100.0%	52.3%	29.1%	17.2%	1.1%	0.3%
同居家族	6歳未満の乳幼児	165	75.2%	16.4%	8.5%	0.0%	0.0%
	小・中学生	244	54.9%	30.3%	12.7%	1.6%	0.4%
	65歳以上の方	479	50.7%	30.3%	17.3%	1.5%	0.2%
	当てはまる人はいない	759	48.6%	30.6%	19.6%	0.9%	0.3%

子育て支援の充実 満足度 × 同居している家族

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,524	61	204	664	102	96	397
		100.0%	4.0%	13.4%	43.6%	6.7%	6.3%	26.0%
同居家族	6歳未満の乳幼児	163	4.3%	23.9%	23.3%	16.6%	22.7%	9.2%
	小・中学生	240	4.6%	16.7%	42.9%	13.3%	10.4%	12.1%
	65歳以上の方	472	4.9%	13.1%	44.5%	6.8%	3.6%	27.1%
	当てはまる人はいない	749	3.3%	11.9%	46.5%	3.5%	3.9%	31.0%

(3) 魅力ある教育の推進



全回答者の「魅力ある教育の推進」(問 26)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.94、3.05 である。

本施策に対する重要度・満足度は比較的 average 付近に集中しているが、その一方で「6歳未満の乳幼児」のいる回答者の重要度が非常に高く、「10代」、「公務員」、「学生」の重要度・満足度が、ともに低いことが特徴的である。

「魅力ある教育の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの 1 つである「子ども・子育て支援」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、年齢別では「10代」の重要度が他の年代と比べて低いことなどがわかった。また「40代」の満足度は、「30代」、「60代」、「70代」と比べて低いことが明らかとなった。

さらに同居家族別にみると、乳幼児のいる世帯の方がいない世帯に比べて重要度が高く、小・中学生のいる世帯の方がいない世帯よりも満足度が低いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	3.40	3.90	4.04	3.85	3.76	4.04	4.16	4.01
満足度	2.80	3.08	3.11	2.81	3.03	3.21	3.19	3.05

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	10代	20代	-0.50	0.029
		30代	-0.64	0.000
		60代	-0.63	0.000
		70代	-0.76	0.000
		80代以上	-0.61	0.013
	40代	70代	-0.31	0.015
	50代	30代	-0.29	0.013
		60代	-0.28	0.013
満足度	40代	30代	-0.30	0.009
		60代	-0.40	0.000
		70代	-0.38	0.001

乳幼児のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.39	3.89
満足度	3.06	3.05

乳幼児のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.50	0.000

小・中学生のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	3.88	3.96
満足度	2.80	3.10

小・中学生のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	いる	いない	-0.30	0.000

魅力ある教育の推進 重要度 × 年齢

	合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	
合計	1,581	561	491	418	90	21	
	100.0%	35.5%	31.1%	26.4%	5.7%	1.3%	
年齢	10代	52	15.4%	30.8%	38.5%	9.6%	5.8%
	20代	161	34.8%	29.2%	29.2%	5.0%	1.9%
	30代	257	46.7%	22.2%	22.6%	5.8%	2.7%
	40代	245	31.8%	31.0%	28.6%	7.3%	1.2%
	50代	296	24.7%	36.1%	30.7%	7.1%	1.4%
	60代	284	37.3%	34.2%	23.2%	5.3%	0.0%
	70代	213	42.7%	32.4%	23.0%	1.9%	0.0%
	80代以上	73	39.7%	30.1%	23.3%	5.5%	1.4%

魅力ある教育の推進 満足度 × 年齢

	合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	
合計	1,573	54	188	705	93	72	461	
	100.0%	3.4%	12.0%	44.8%	5.9%	4.6%	29.3%	
年齢	10代	53	1.9%	9.4%	52.8%	15.1%	7.5%	13.2%
	20代	160	3.8%	10.6%	39.4%	5.6%	3.8%	36.9%
	30代	257	5.4%	12.5%	42.8%	6.6%	4.3%	28.4%
	40代	246	2.4%	9.8%	47.6%	11.0%	9.3%	19.9%
	50代	296	0.3%	12.5%	51.0%	3.7%	3.7%	28.7%
	60代	280	5.0%	13.2%	45.0%	2.1%	3.2%	31.4%
	70代	207	4.8%	14.0%	42.5%	4.8%	2.9%	30.9%
	80代以上	74	2.7%	9.5%	29.7%	6.8%	2.7%	48.6%

魅力ある教育の推進 重要度 × 同居している家族

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,537	552	477	399	88	21
		100.0%	35.9%	31.0%	26.0%	5.7%	1.4%
同居 家族	6歳未満の乳幼児	166	62.0%	19.3%	15.1%	2.4%	1.2%
	小・中学生	243	32.9%	33.3%	24.7%	6.6%	2.5%
	65歳以上の方	475	38.1%	33.5%	25.1%	2.7%	0.6%
	当てはまる人はいない	757	31.3%	31.2%	28.0%	7.9%	1.6%

魅力ある教育の推進 満足度 × 同居している家族

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,527	50	183	685	91	71	447
		100.0%	3.3%	12.0%	44.9%	6.0%	4.6%	29.3%
同居 家族	6歳未満の乳幼児	164	6.1%	15.9%	38.4%	9.1%	7.3%	23.2%
	小・中学生	241	2.1%	15.8%	41.1%	17.0%	10.0%	14.1%
	65歳以上の方	471	3.4%	12.1%	46.7%	4.2%	3.6%	29.9%
	当てはまる人はいない	751	3.2%	10.8%	46.1%	3.2%	3.5%	33.3%

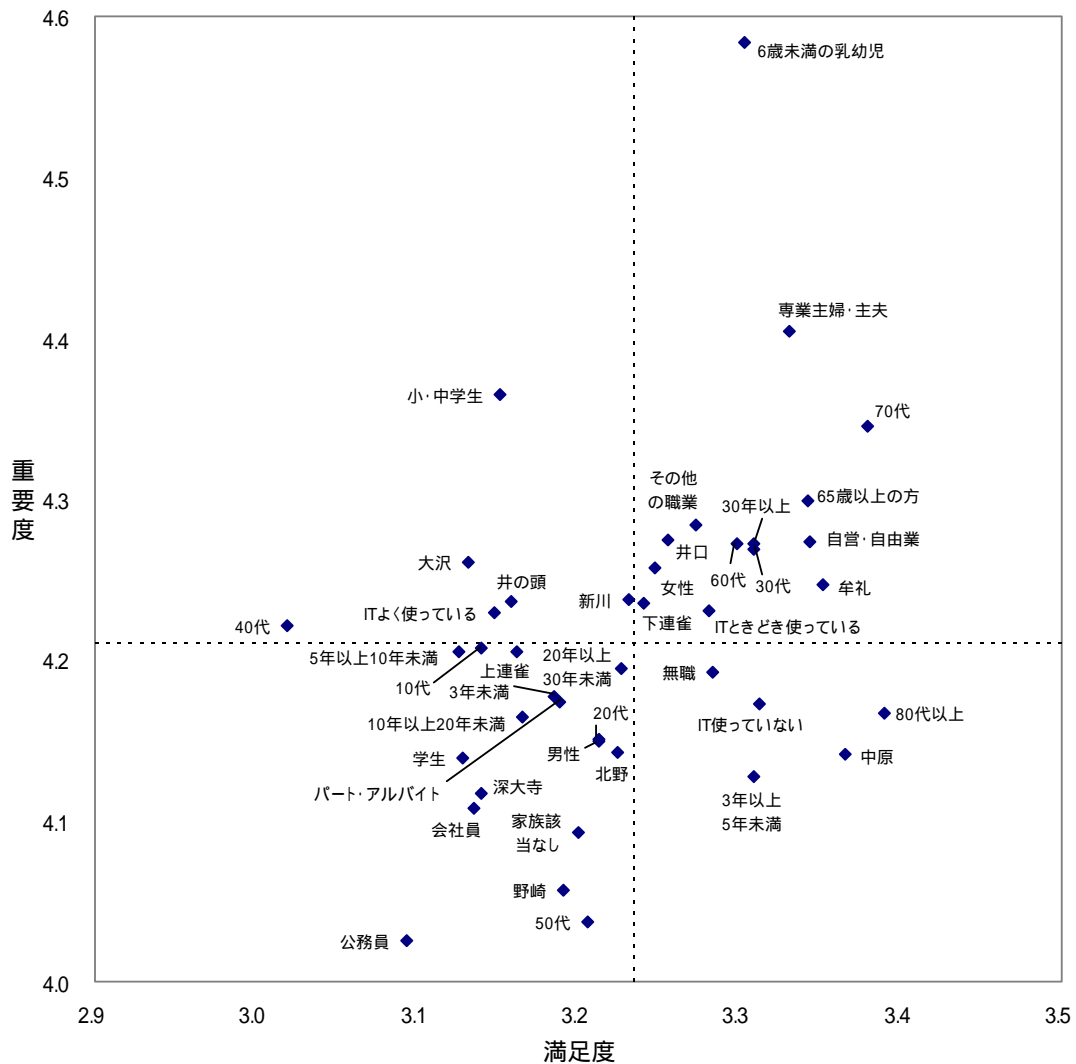
魅力ある教育の推進 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,571	559	489	413	89	21
		100.0%	35.6%	31.1%	26.3%	5.7%	1.3%
職業	会社員	458	35.6%	32.1%	23.4%	7.4%	1.5%
	公務員	40	22.5%	32.5%	30.0%	12.5%	2.5%
	自営・自由業	165	35.2%	37.0%	23.0%	4.8%	0.0%
	パート・アルバイト	166	28.3%	25.9%	39.8%	4.8%	1.2%
	専業主婦・主夫	309	43.7%	28.2%	23.0%	3.6%	1.6%
	学生	85	21.2%	31.8%	35.3%	5.9%	5.9%
	無職	267	36.3%	34.5%	24.7%	4.5%	0.0%
	その他	81	39.5%	23.5%	28.4%	7.4%	1.2%

魅力ある教育の推進 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,564	54	187	700	93	72	458
		100.0%	3.5%	12.0%	44.8%	5.9%	4.6%	29.3%
職業	会社員	462	2.6%	11.7%	45.7%	4.8%	5.2%	30.1%
	公務員	39	2.6%	7.7%	41.0%	15.4%	7.7%	25.6%
	自営・自由業	166	5.4%	13.3%	47.6%	6.6%	2.4%	24.7%
	パート・アルバイト	165	2.4%	10.3%	52.1%	6.1%	4.8%	24.2%
	専業主婦・主夫	306	4.6%	15.0%	42.8%	6.9%	3.6%	27.1%
	学生	85	1.2%	9.4%	51.8%	10.6%	7.1%	20.0%
	無職	266	4.1%	11.7%	36.1%	4.1%	4.9%	39.1%
	その他	75	2.7%	8.0%	49.3%	4.0%	4.0%	32.0%

(4) 安全で開かれた学校環境の整備



全回答者の「安全で開かれた学校環境の整備」(問 27)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 4.21、3.23 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「専業主婦・主夫」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「40代」、「小・中学生(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は、数が少ないものの「80代以上」、「中原」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性には「50代」、「会社員」、「公務員」、「野崎」などである。

家族に「6歳未満の乳幼児」や「小・中学生」のいる回答者は、「子育て支援の充実」(問 25)、「魅力ある教育の推進」(問 26)と同様、重要度の評価が高くなっている。

「安全で開かれた学校環境の整備」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「安全安心のまちづくり」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、「50代」の重要度は「30代」、「60代」、「70代」と比べて低く、「40代」の満足度は「30代」、「60代」、「70代」と比べて低いことがわかった。また、乳幼児や小・中学生のいる世帯の重要度は、いない世帯と比べて高いことが明らかとなった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	4.21	4.15	4.27	4.22	4.04	4.27	4.35	4.17
満足度	3.14	3.21	3.31	3.02	3.21	3.30	3.38	3.39

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	50代	30代	-0.23	0.023
		60代	-0.24	0.014
		70代	-0.31	0.001
満足度	40代	30代	-0.29	0.003
		60代	-0.28	0.004
		70代	-0.36	0.000

乳幼児のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.58	4.18
満足度	3.30	3.22

乳幼児のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.40	0.000

小・中学生のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	4.36	4.19
満足度	3.15	3.25

小・中学生のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.17	0.003

安全で開かれた学校環境の整備 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,589	722	506	338	20	3
		100.0%	45.4%	31.8%	21.3%	1.3%	0.2%
年齢	10代	53	41.5%	39.6%	17.0%	1.9%	0.0%
	20代	160	45.0%	28.8%	22.5%	3.8%	0.0%
	30代	257	50.6%	27.2%	21.4%	0.0%	0.8%
	40代	248	47.2%	30.6%	19.4%	2.8%	0.0%
	50代	296	32.8%	39.5%	26.4%	1.4%	0.0%
	60代	286	48.6%	30.4%	20.6%	0.3%	0.0%
	70代	217	52.1%	31.3%	16.1%	0.0%	0.5%
	80代以上	72	44.4%	29.2%	25.0%	1.4%	0.0%

安全で開かれた学校環境の整備 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,574	63	261	724	62	30	434
		100.0%	4.0%	16.6%	46.0%	3.9%	1.9%	27.6%
年齢	10代	53	5.7%	24.5%	47.2%	11.3%	5.7%	5.7%
	20代	159	3.1%	10.7%	41.5%	3.1%	0.6%	40.9%
	30代	256	5.1%	17.2%	43.8%	3.9%	0.8%	29.3%
	40代	247	3.6%	14.6%	50.2%	8.1%	6.1%	17.4%
	50代	297	0.7%	16.8%	53.5%	2.4%	0.3%	26.3%
	60代	281	4.6%	17.8%	44.8%	2.8%	1.4%	28.5%
	70代	207	6.8%	20.3%	41.1%	2.4%	1.9%	27.5%
	80代以上	74	5.4%	12.2%	36.5%	1.4%	0.0%	44.6%

安全で開かれた学校環境の整備 重要度 × 同居している家族

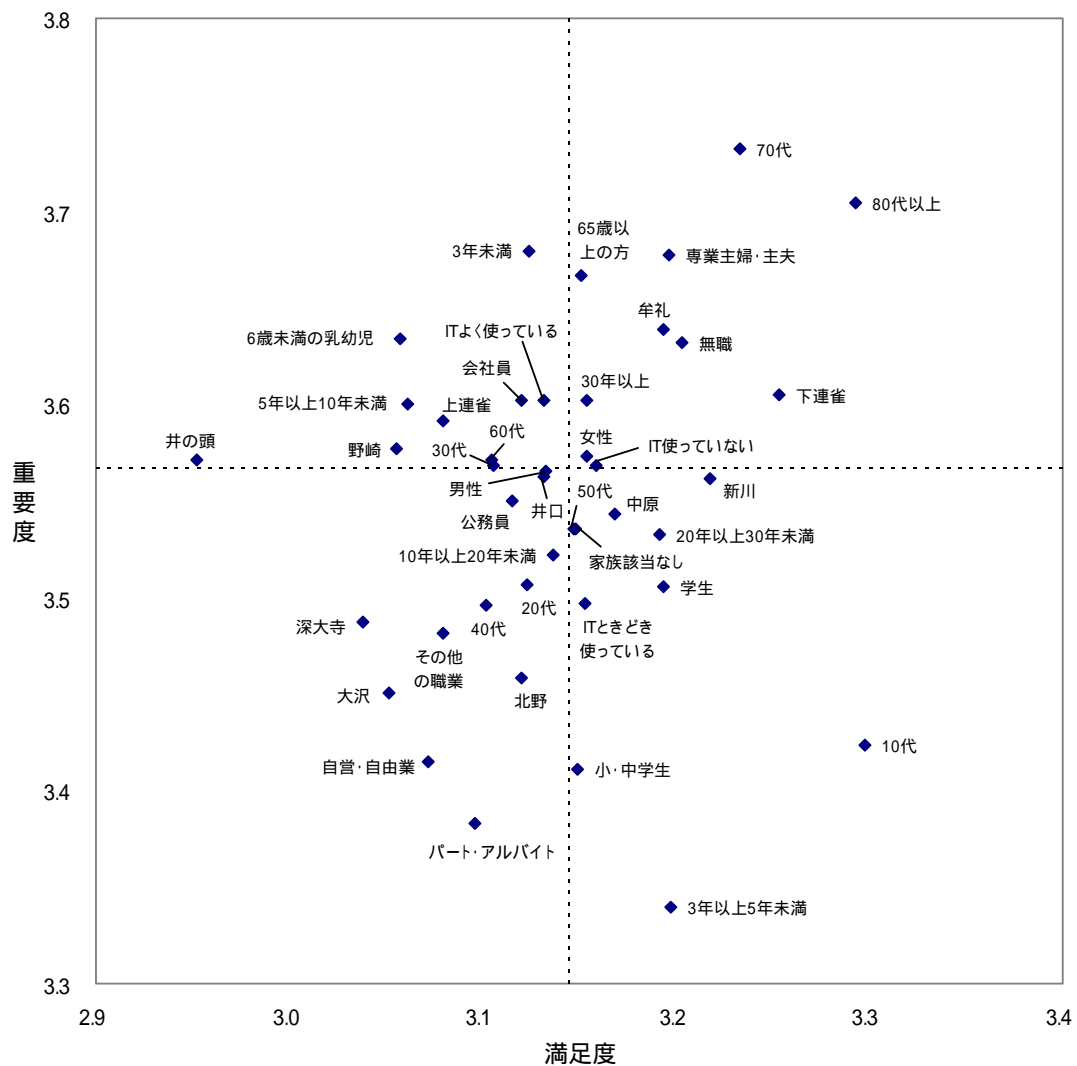
		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,545	713	486	323	20	3
		100.0%	46.1%	31.5%	20.9%	1.3%	0.2%
同居家族	6歳未満の乳幼児	166	66.3%	25.9%	7.8%	0.0%	0.0%
	小・中学生	244	53.3%	31.6%	13.5%	1.6%	0.0%
	65歳以上の方	481	49.7%	31.0%	18.9%	0.4%	0.0%
	当てはまる人はいない	759	39.7%	32.5%	25.6%	1.8%	0.4%

安全で開かれた学校環境の整備 満足度 × 同居している家族

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,528	60	252	702	62	30	422
		100.0%	3.9%	16.5%	45.9%	4.1%	2.0%	27.6%
同居家族	6歳未満の乳幼児	164	4.3%	23.8%	39.6%	3.7%	3.0%	25.6%
	小・中学生	242	3.3%	29.3%	44.2%	10.3%	5.8%	7.0%
	65歳以上の方	473	5.1%	18.2%	46.5%	2.5%	0.4%	27.3%
	当てはまる人はいない	750	3.5%	12.4%	46.9%	2.9%	1.5%	32.8%

5.7 創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる

(1) 生涯学習活動の推進



全回答者の「生涯学習活動の推進」(問 28)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.57、3.14 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「80代以上」、「専業主婦・主夫」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「井の頭」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」、「3年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「10代」、「小・中学生(同居家族)」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「自営・自由業」、「パート・アルバイト」、「深大寺」、「大沢」などである。

「生涯学習活動の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「IT活用」プロジェクト、また重点プロジェクトの1つである「三鷹ネットワーク大学」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、三鷹ネットワーク大学のある「下連雀」の満足度が、「井の頭」よりも高いことが明らかとなった。

居住地別平均値

	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口
重要度	3.57	3.64	3.46	3.56	3.54	3.56
満足度	2.95	3.19	3.12	3.22	3.17	3.13

	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
重要度	3.59	3.61	3.58	3.45	3.49
満足度	3.08	3.25	3.06	3.05	3.04

居住地別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
満足度	井の頭	下連雀	-0.30	0.018

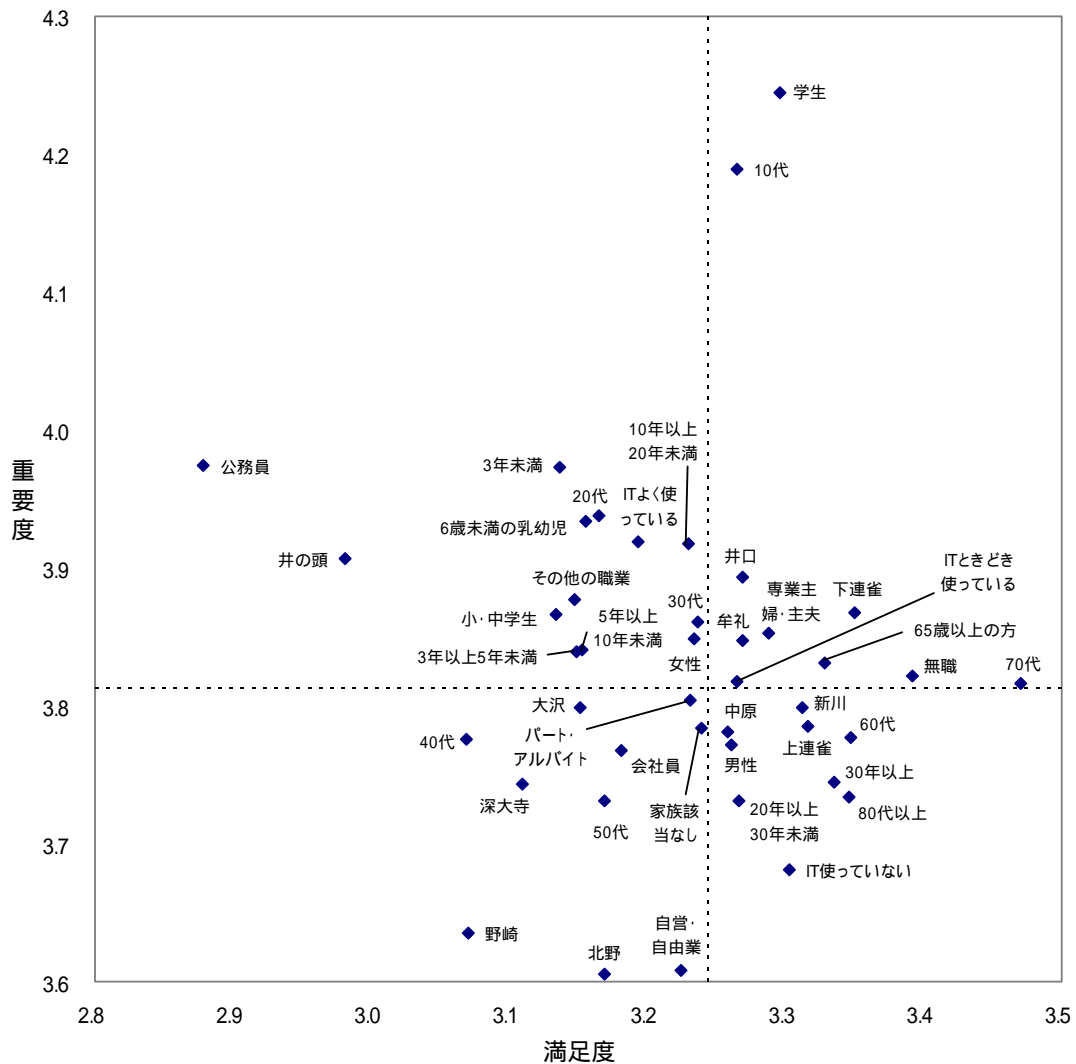
生涯学習活動の推進 重要度 × 居住地

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,576	271	514	653	115	23
		100.0%	17.2%	32.6%	41.4%	7.3%	1.5%
居住地	井の頭	126	15.9%	32.5%	45.2%	5.6%	0.8%
	牟礼	180	17.8%	36.7%	38.9%	5.0%	1.7%
	北野	72	15.3%	27.8%	47.2%	6.9%	2.8%
	新川	137	19.0%	27.0%	46.7%	5.8%	1.5%
	中原	140	18.6%	27.1%	46.4%	5.7%	2.1%
	井口	112	11.6%	42.9%	37.5%	6.3%	1.8%
	上連雀	223	18.4%	34.5%	35.9%	10.3%	0.9%
	下連雀	347	18.7%	33.7%	38.3%	7.8%	1.4%
	野崎	52	21.2%	26.9%	42.3%	7.7%	1.9%
	大沢	111	14.4%	28.8%	45.0%	10.8%	0.9%
深大寺	76	13.2%	31.6%	47.4%	6.6%	1.3%	

生涯学習活動の推進 満足度 × 居住地

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,567	47	189	808	65	27	431
		100.0%	3.0%	12.1%	51.6%	4.1%	1.7%	27.5%
居住地	井の頭	125	1.6%	4.0%	54.4%	4.0%	3.2%	32.8%
	牟礼	177	2.3%	16.9%	45.2%	3.4%	2.3%	29.9%
	北野	72	2.8%	9.7%	52.8%	1.4%	2.8%	30.6%
	新川	135	3.0%	15.6%	51.9%	3.7%	0.7%	25.2%
	中原	142	3.5%	9.9%	59.2%	1.4%	1.4%	24.6%
	井口	109	1.8%	11.9%	50.5%	4.6%	0.9%	30.3%
	上連雀	225	1.8%	9.8%	54.2%	5.8%	0.9%	27.6%
	下連雀	344	4.9%	16.6%	50.0%	4.1%	1.5%	23.0%
	野崎	52	1.9%	11.5%	48.1%	3.8%	3.8%	30.8%
	大沢	111	4.5%	7.2%	48.6%	7.2%	2.7%	29.7%
深大寺	75	1.3%	8.0%	53.3%	5.3%	1.3%	30.7%	

(2) 図書館活動の推進



全回答者の「図書館活動の推進」(問 29)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.81、3.24 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「10代」、「70代」、「学生」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「公務員」、「井の頭」、「3年未満(居住年数)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「80代以上」、「IT使っていない」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「40代」、「自営・自由業」、「野崎」、「北野」などである。

このプロット図からは、「10代」「学生」の重要度が平均値を大きく上回っていること、「公務員」、「井の頭」の満足度が平均値を大きく下回っていることが特徴として挙げられる。

図書館活動の推進 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,597	408	557	567	58	7
		100.0%	25.5%	34.9%	35.5%	3.6%	0.4%
年齢	10代	53	39.6%	41.5%	17.0%	1.9%	0.0%
	20代	161	34.8%	32.3%	26.7%	4.3%	1.9%
	30代	258	29.8%	31.0%	35.3%	3.1%	0.8%
	40代	250	22.4%	37.2%	36.8%	2.8%	0.8%
	50代	297	23.6%	31.6%	39.1%	5.7%	0.0%
	60代	291	23.0%	35.1%	38.5%	3.4%	0.0%
	70代	212	23.1%	38.7%	34.9%	3.3%	0.0%
	80代以上	75	16.0%	42.7%	40.0%	1.3%	0.0%

図書館活動の推進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,578	97	353	743	98	59	228
		100.0%	6.1%	22.4%	47.1%	6.2%	3.7%	14.4%
年齢	10代	52	15.4%	26.9%	25.0%	21.2%	5.8%	5.8%
	20代	161	4.3%	23.0%	39.1%	6.2%	6.2%	21.1%
	30代	257	7.4%	23.3%	41.6%	8.6%	4.7%	14.4%
	40代	249	4.8%	17.7%	50.2%	7.6%	6.8%	12.9%
	50代	298	5.0%	20.1%	51.7%	6.0%	4.7%	12.4%
	60代	284	5.6%	24.6%	54.9%	2.8%	1.1%	10.9%
	70代	204	8.3%	26.0%	44.1%	3.9%	0.0%	17.6%
	80代以上	73	4.1%	20.5%	47.9%	2.7%	0.0%	24.7%

図書館活動の推進 重要度 × 職業

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,587	407	554	562	57	7
		100.0%	25.6%	34.9%	35.4%	3.6%	0.4%
職業	会社員	461	26.7%	29.9%	38.0%	4.3%	1.1%
	公務員	39	43.6%	17.9%	30.8%	7.7%	0.0%
	自営・自由業	166	15.7%	37.3%	39.2%	7.8%	0.0%
	パート・アルバイト	168	22.6%	37.5%	37.5%	2.4%	0.0%
	専業主婦・主夫	312	24.4%	40.1%	32.4%	2.9%	0.3%
	学生	86	46.5%	33.7%	17.4%	2.3%	0.0%
	無職	274	22.6%	38.7%	36.9%	1.8%	0.0%
	その他	81	30.9%	29.6%	37.0%	1.2%	1.2%

図書館活動の推進 満足度 × 職業

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,569	97	350	739	97	59	227
		100.0%	6.2%	22.3%	47.1%	6.2%	3.8%	14.5%
職業	会社員	460	6.3%	19.6%	45.4%	6.3%	5.4%	17.0%
	公務員	39	2.6%	23.1%	33.3%	12.8%	12.8%	15.4%
	自営・自由業	166	4.2%	19.3%	56.0%	4.8%	1.8%	13.9%
	パート・アルバイト	166	8.4%	18.1%	52.4%	4.8%	4.8%	11.4%
	専業主婦・主夫	308	5.2%	28.2%	47.1%	6.8%	2.9%	9.7%
	学生	85	11.8%	30.6%	31.8%	16.5%	4.7%	4.7%
	無職	269	5.9%	22.7%	49.4%	2.2%	0.4%	19.3%
	その他	76	5.3%	19.7%	42.1%	7.9%	5.3%	19.7%

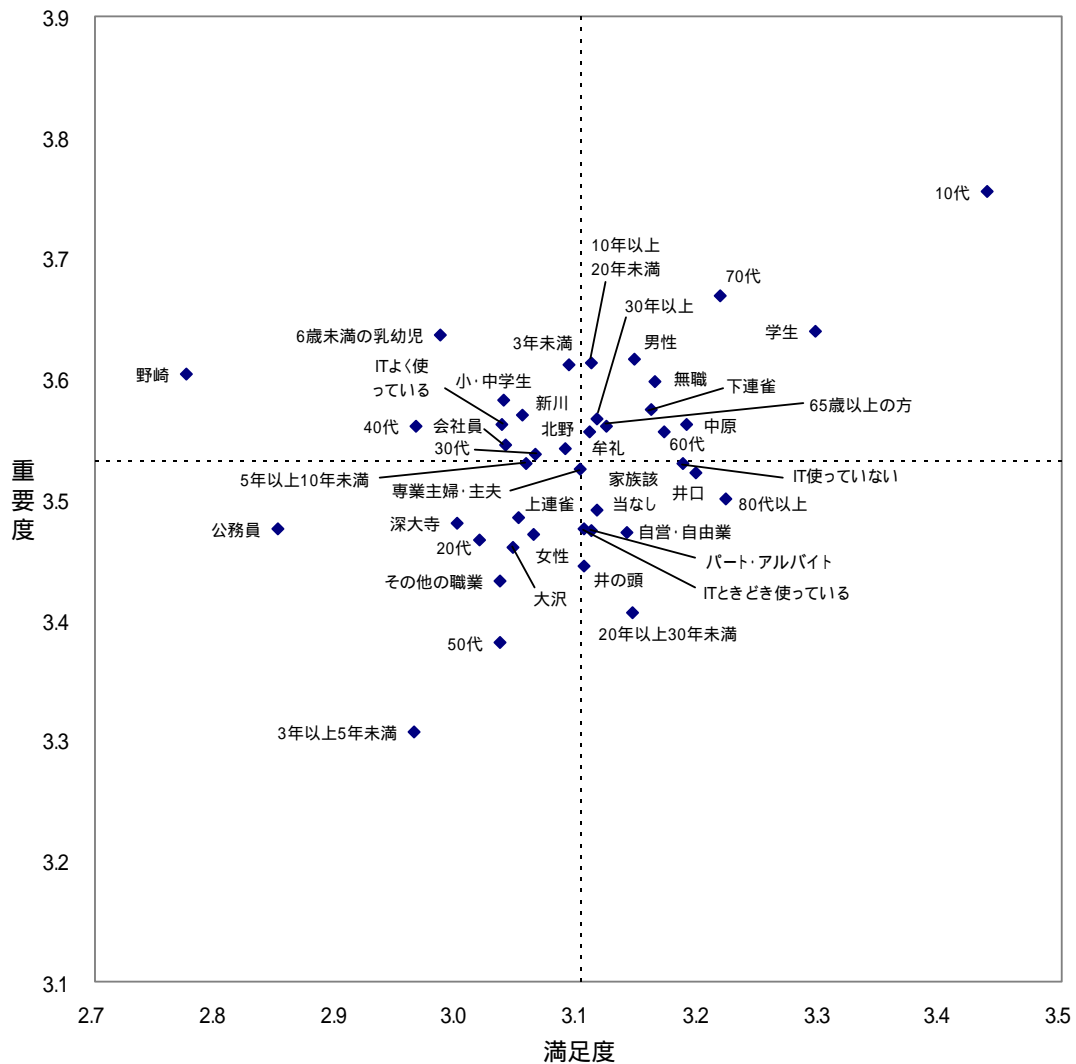
図書館活動の推進 重要度 × 居住地

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,594	407	556	566	58	7
		100.0%	25.5%	34.9%	35.5%	3.6%	0.4%
居住地	井の頭	128	28.9%	36.7%	31.3%	2.3%	0.8%
	牟礼	183	27.9%	32.8%	36.1%	2.7%	0.5%
	北野	71	14.1%	35.2%	47.9%	2.8%	0.0%
	新川	139	26.6%	34.5%	31.7%	6.5%	0.7%
	中原	142	24.6%	33.1%	38.7%	2.8%	0.7%
	井口	112	25.0%	42.0%	30.4%	2.7%	0.0%
	上連雀	228	25.4%	32.5%	38.2%	3.1%	0.9%
	下連雀	347	26.8%	37.2%	32.3%	3.5%	0.3%
	野崎	52	17.3%	30.8%	50.0%	1.9%	0.0%
	大沢	114	28.1%	30.7%	34.2%	7.0%	0.0%
深大寺	78	21.8%	35.9%	37.2%	5.1%	0.0%	

図書館活動の推進 満足度 × 居住地

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,575	98	353	741	97	59	227
		100.0%	6.2%	22.4%	47.0%	6.2%	3.7%	14.4%
居住地	井の頭	126	4.0%	16.7%	44.4%	7.1%	9.5%	18.3%
	牟礼	181	5.0%	24.3%	42.5%	3.9%	4.4%	19.9%
	北野	71	1.4%	19.7%	56.3%	2.8%	2.8%	16.9%
	新川	137	7.3%	29.9%	41.6%	8.8%	3.6%	8.8%
	中原	142	7.0%	18.3%	54.9%	4.2%	2.8%	12.7%
	井口	110	6.4%	20.9%	49.1%	5.5%	2.7%	15.5%
	上連雀	225	6.2%	28.0%	44.9%	6.2%	3.1%	11.6%
	下連雀	343	7.9%	25.1%	44.9%	5.0%	2.9%	14.3%
	野崎	52	3.8%	7.7%	65.4%	1.9%	3.8%	17.3%
	大沢	112	8.0%	18.8%	44.6%	12.5%	4.5%	11.6%
深大寺	76	5.3%	13.2%	52.6%	11.8%	1.3%	15.8%	

(3) 市民スポーツ活動の推進



全回答者の「市民スポーツ活動の推進」(問 30)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.53、3.10 である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「10代」、「70代」、「学生」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「野崎」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は、ほぼ平均値付近に布置されており、特徴的な属性はみあたらない。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「公務員」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

「市民スポーツ活動の推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる重点プロジェクトの1つである「スポーツの拠点づくり」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、性別では「男性」の方が「女性」よりも重要度・満足度ともに高いことが明らかとなった。また年齢別では、「70代」は「50代」に比べ重要度が高いこと、「10代」は「20代」～「50代」に比べ満足度が高いことなどが明らかとなった。

性別平均値

	男性	女性
重要度	3.62	3.47
満足度	3.15	3.06

性別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	男性	女性	0.15	0.001
満足度	男性	女性	0.09	0.048

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	3.75	3.47	3.54	3.56	3.38	3.56	3.67	3.50
満足度	3.44	3.02	3.07	2.97	3.03	3.17	3.22	3.22

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	50代	70代	-0.29	0.006
満足度	20代	10代	-0.42	0.019
			-0.37	0.030
			-0.47	0.001
			-0.40	0.011
	40代	70代	-0.25	0.019

市民スポーツ活動の推進 重要度 × 性別

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,585	257	467	738	109	14
		100.0%	16.2%	29.5%	46.6%	6.9%	0.9%
性	男性	681	18.4%	32.7%	42.1%	5.6%	1.2%
	女性	904	14.6%	27.0%	49.9%	7.9%	0.7%

市民スポーツ活動の推進 満足度 × 性別

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,574	49	196	869	63	54	343
		100.0%	3.1%	12.5%	55.2%	4.0%	3.4%	21.8%
性	男性	679	3.2%	16.2%	53.8%	4.1%	3.4%	19.3%
	女性	895	3.0%	9.6%	56.3%	3.9%	3.5%	23.7%

市民スポーツ活動の推進 重要度 × 年齢

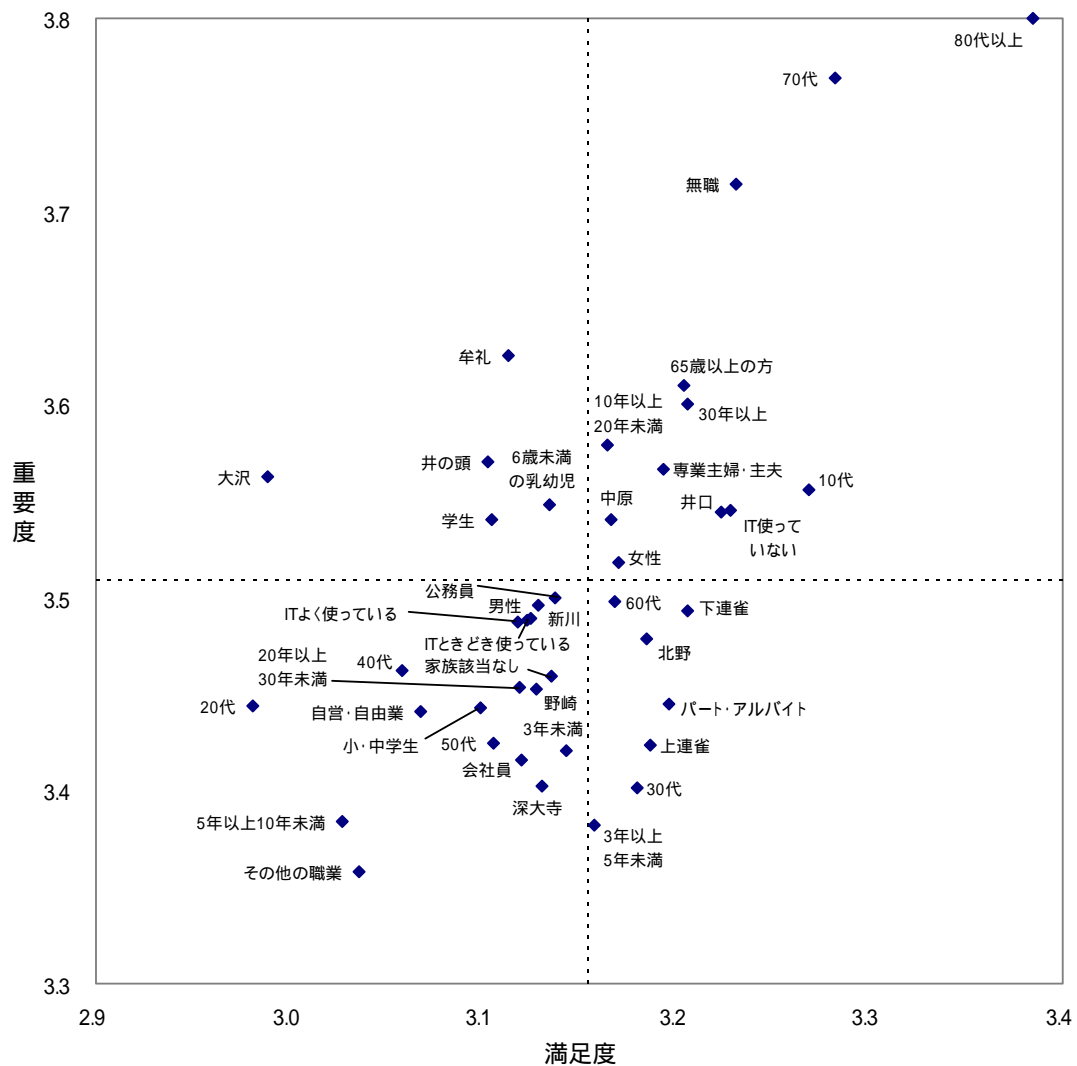
		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,591	257	468	743	109	14
		100.0%	16.2%	29.4%	46.7%	6.9%	0.9%
年齢	10代	53	28.3%	30.2%	32.1%	7.5%	1.9%
	20代	159	18.9%	23.3%	45.3%	10.7%	1.9%
	30代	257	15.6%	31.9%	44.0%	7.8%	0.8%
	40代	250	16.4%	30.4%	46.0%	7.2%	0.0%
	50代	296	9.5%	29.7%	51.7%	7.8%	1.4%
	60代	290	17.6%	27.6%	48.3%	5.9%	0.7%
	70代	214	19.6%	31.8%	44.9%	3.3%	0.5%
	80代以上	72	13.9%	29.2%	51.4%	4.2%	1.4%

市民スポーツ活動の推進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,579	49	196	873	63	54	344
		100.0%	3.1%	12.4%	55.3%	4.0%	3.4%	21.8%
年齢	10代	53	13.2%	24.5%	43.4%	7.5%	1.9%	9.4%
	20代	160	1.9%	8.8%	49.4%	5.0%	3.1%	31.9%
	30代	257	2.7%	13.2%	52.9%	4.3%	4.7%	22.2%
	40代	248	4.8%	7.7%	56.0%	8.1%	6.0%	17.3%
	50代	298	0.0%	13.1%	56.7%	3.7%	3.4%	23.2%
	60代	285	3.2%	13.3%	60.0%	1.8%	2.1%	19.6%
	70代	204	3.9%	15.7%	60.3%	1.5%	2.0%	16.7%
	80代以上	74	4.1%	9.5%	44.6%	1.4%	1.4%	39.2%

5.8 ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる

(1) コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進



全回答者の「コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進」(問 32)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ 3.51、3.15 であり、全施策のうち重要度は最も低い。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「80代以上」、「無職」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「大沢」、「牟礼」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「30代」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「20代」、「その他の職業」、「5年以上10年未満(居住年数)」などである。

「コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである「協働のまちづくり」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、概ね「70代」、「80代以上」の回答者の重要度・満足度は、他の年代に比べて高いことが明らかとなった。また、高齢者と同居している世帯の方が、同居していない世帯と比べて重要度が高いことがわかった。

年代別平均値

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
重要度	3.56	3.44	3.40	3.46	3.42	3.50	3.77	3.80
満足度	3.27	2.98	3.18	3.06	3.11	3.17	3.28	3.38

年代別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	20代	70代	-0.33	0.011
	30代		-0.37	0.000
	40代		-0.31	0.005
	50代		-0.35	0.000
	60代		-0.27	0.018
	30代	80代以上	-0.40	0.019
満足度	50代		-0.38	0.031
	20代	70代	-0.30	0.011
	40代		-0.22	0.050
	20代	80代以上	-0.40	0.013

高齢者のいる世帯別平均値

	いる	いない
重要度	3.61	3.47
満足度	3.20	3.13

高齢者のいる世帯別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	いる	いない	0.14	0.004

コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進 重要度 × 年齢

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,570	242	468	738	91	31
		100.0%	15.4%	29.8%	47.0%	5.8%	2.0%
年齢	10代	54	18.5%	22.2%	55.6%	3.7%	0.0%
	20代	160	15.0%	30.0%	43.8%	6.9%	4.4%
	30代	254	13.0%	28.7%	46.5%	9.1%	2.8%
	40代	249	12.0%	30.5%	50.2%	6.0%	1.2%
	50代	290	12.1%	26.9%	54.1%	5.2%	1.7%
	60代	285	14.7%	30.2%	47.7%	4.9%	2.5%
	70代	208	25.0%	33.2%	36.5%	4.3%	1.0%
	80代以上	70	22.9%	37.1%	37.1%	2.9%	0.0%

コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進 満足度 × 年齢

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,561	60	186	869	60	31	355
		100.0%	3.8%	11.9%	55.7%	3.8%	2.0%	22.7%
年齢	10代	54	3.7%	16.7%	51.9%	3.7%	0.0%	24.1%
	20代	160	3.1%	6.3%	47.5%	6.3%	3.8%	33.1%
	30代	253	4.3%	10.3%	53.4%	2.8%	1.6%	27.7%
	40代	248	2.4%	8.5%	59.3%	3.2%	2.8%	23.8%
	50代	291	2.7%	10.3%	59.5%	3.4%	2.1%	22.0%
	60代	282	3.2%	18.1%	57.4%	5.7%	2.1%	13.5%
	70代	200	7.0%	13.5%	57.0%	3.5%	0.5%	18.5%
	80代以上	73	6.8%	16.4%	46.6%	0.0%	1.4%	28.8%

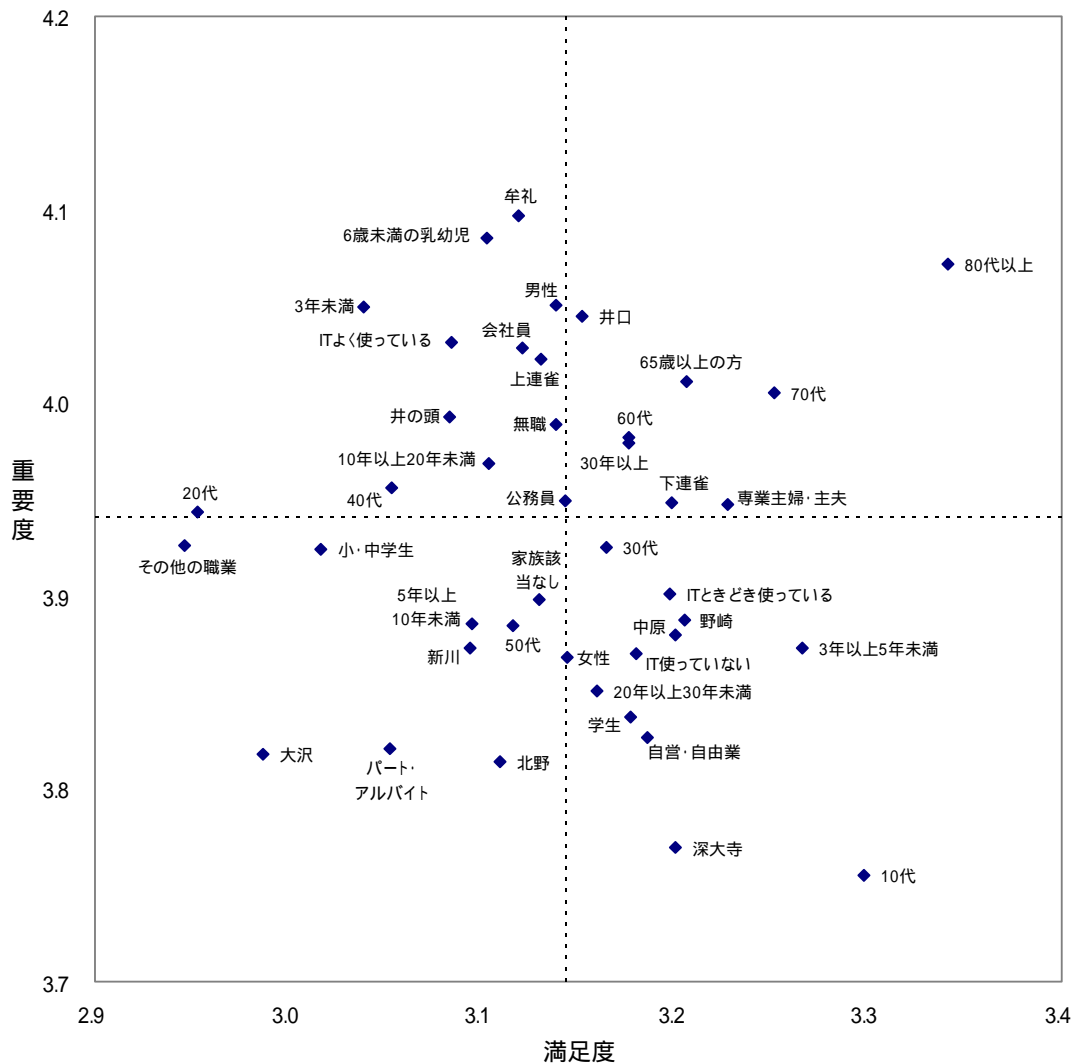
コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進 重要度 × 同居している家族

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
合計		1,530	239	455	717	88	31
		100.0%	15.6%	29.7%	46.9%	5.8%	2.0%
同居家族	6歳未満の乳幼児	166	18.7%	30.7%	39.8%	8.4%	2.4%
	小・中学生	244	11.1%	29.5%	52.5%	6.6%	0.4%
	65歳以上の方	469	18.1%	30.5%	46.3%	4.5%	0.6%
	当てはまる人はいない	756	14.7%	28.7%	47.5%	6.1%	3.0%

コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進 満足度 × 同居している家族

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,518	60	181	843	58	31	345
		100.0%	4.0%	11.9%	55.5%	3.8%	2.0%	22.7%
同居家族	6歳未満の乳幼児	164	4.9%	11.0%	49.4%	3.7%	3.7%	27.4%
	小・中学生	242	2.1%	12.8%	53.3%	5.4%	2.1%	24.4%
	65歳以上の方	466	4.3%	14.8%	57.5%	4.5%	1.1%	17.8%
	当てはまる人はいない	746	4.2%	9.8%	56.6%	3.2%	2.3%	24.0%

(2) 「効率的で開かれた自治体」の実現と都市自治の確立



全回答者の「『効率的で開かれた自治体』の実現と都市自治の確立」(問33)に対する重要度・満足度の平均値は、それぞれ3.94、3.14である。

重要度・満足度ともに高い領域にある属性は「70代」、「80代以上」などである。

重要度が高く、満足度が低い領域にある属性は「20代」、「牟礼」、「3年未満(居住年数)」、「6歳未満の乳幼児(同居家族)」などである。

重要度が低く、満足度が高い領域にある属性は「10代」、「深大寺」、「3年以上5年未満(居住年数)」などである。

重要度・満足度ともに低い領域にある属性は「パート・アルバイト」、「その他の職業」、「大沢」などである。

「『効率的で開かれた自治体』の実現と都市自治の確立」は、現在三鷹市で取り組んでいる最重点プロジェクトの1つである、「協働のまちづくり」プロジェクトに関連する施策である。

属性別の平均値の違いを統計的に検定したところ、「女性」よりも「男性」の重要度の方が高いことがわかった。

性別平均値

	男性	女性
重要度	4.05	3.87
満足度	3.14	3.14

性別統計的検定

*平均の差は、.05で有意

	属性 (I)	属性 (J)	平均値の差 (I-J)	有意確率
重要度	男性	女性	0.18	0.000

「効率的で開かれた自治体」の実現と都市自治の確立 重要度 × 性別

		合計	重要	まあ重要	ふつう	あまり重要 ではない	重要では ない
合計		1,554	546	431	537	29	11
		100.0%	35.1%	27.7%	34.6%	1.9%	0.7%
性	男性	674	40.7%	27.0%	29.8%	1.8%	0.7%
	女性	880	30.9%	28.3%	38.2%	1.9%	0.7%

「効率的で開かれた自治体」の実現と都市自治の確立 満足度 × 性別

		合計	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
合計		1,552	67	204	753	68	54	406
		100.0%	4.3%	13.1%	48.5%	4.4%	3.5%	26.2%
性	男性	670	5.5%	15.1%	47.3%	6.3%	4.5%	21.3%
	女性	882	3.4%	11.7%	49.4%	2.9%	2.7%	29.8%

6 . その他

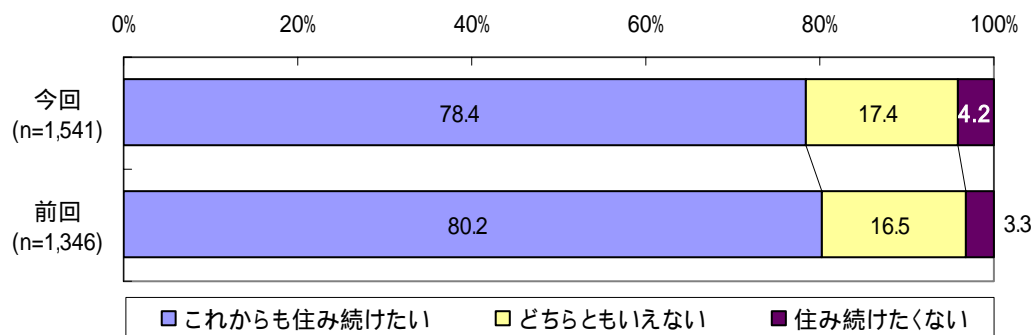
6 . 1 三鷹市での居留意向

今後の三鷹市での居留意向を聞いたところ、「これからも住みたい」が78.4%、「どちらともいえない」が17.4%、「住みたくなかない」が4.2%で、引き続き三鷹市に住みたいと考えている市民が8割を占める。これは前回調査と比べてもほぼ同じ結果となっている。

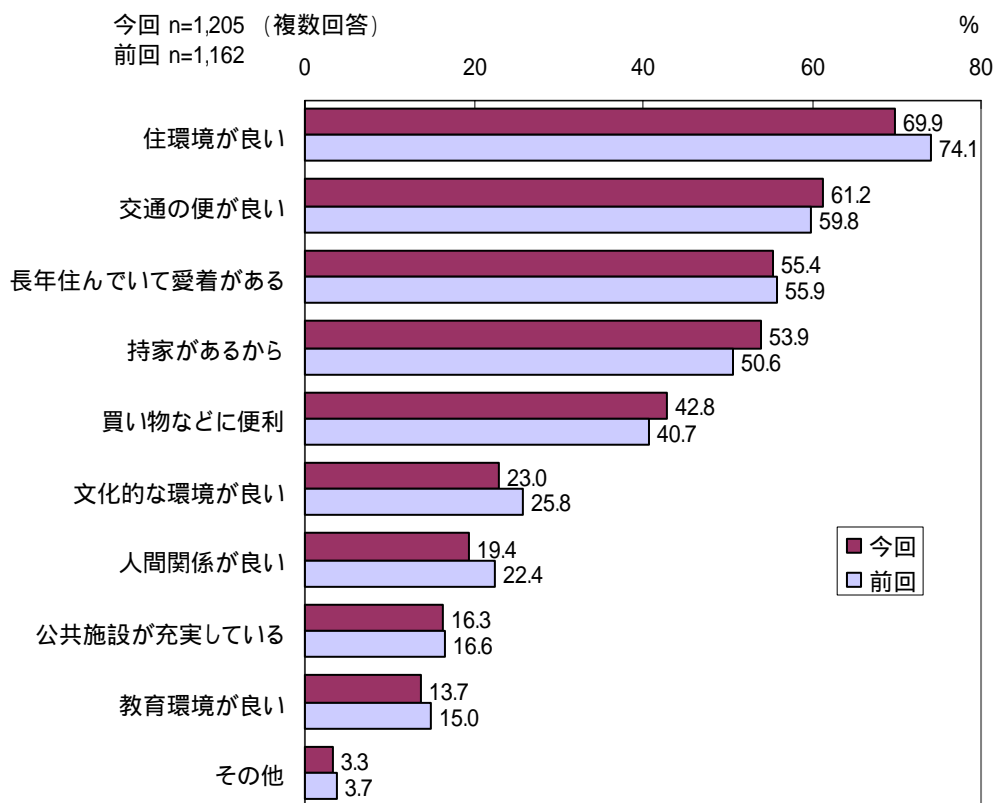
なお、回答者が「これからも住みたい」と考える理由（次ページ）としては、「住環境が良い」が69.9%で最も多く、次いで「交通の便が良い」が61.2%、「長年住んでいて愛着がある」が55.4%、「持ち家があるから」が53.9%と続いている。前回調査と比較すると、「住環境が良い」という回答が4.2ポイント低下しているが、その他の理由にはそれほど大きな変化はみられない。

一方で「住みたくなかない」と考える理由としては、「交通の便が悪い」が43.5%で最も多く、次いで「住環境が悪い」が41.9%、「買い物などに不便」が38.7%、「公共施設が利用しにくい」が38.7%と続いている。前回調査と比較すると、上位4つの理由の割合が高くなっている。ただし、回答数が62（前回調査では45）と少数であるため参考にとどめる。

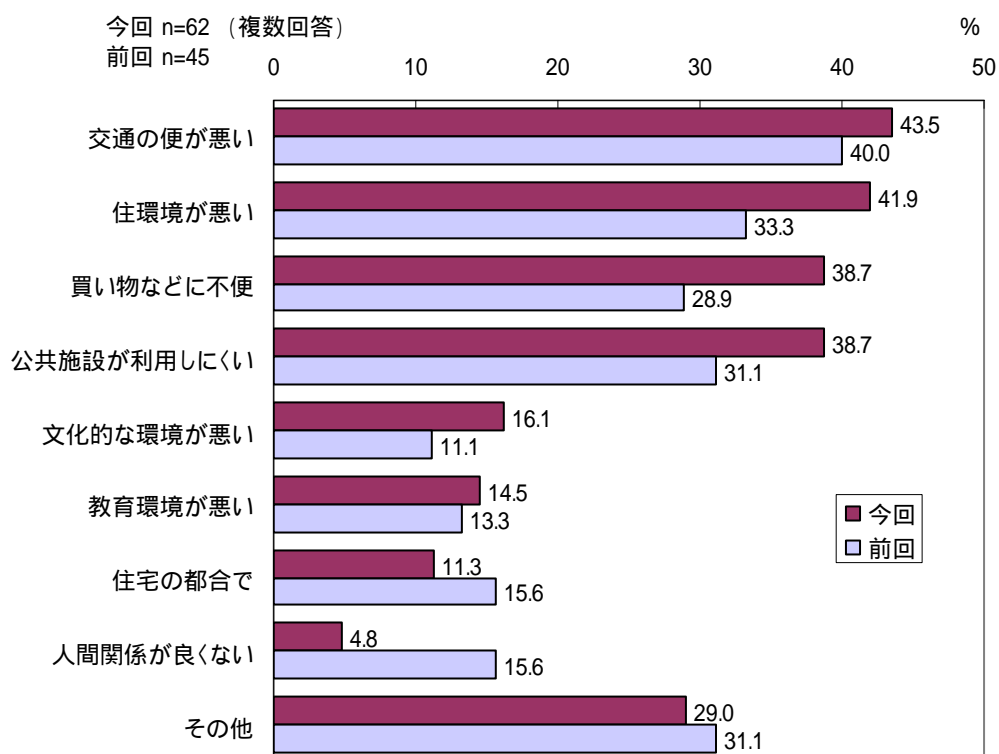
以上のことから、今後の居留意向を考える場合に、回答者にとっては住環境、交通の便、買い物の便、公共施設の利用しやすさなどが重要なキーワードとなっていると考えられる。



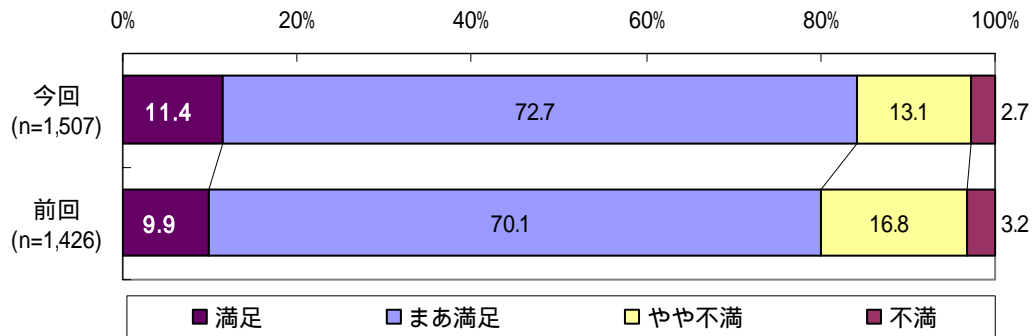
住み続けたい理由



住み続けたくない理由



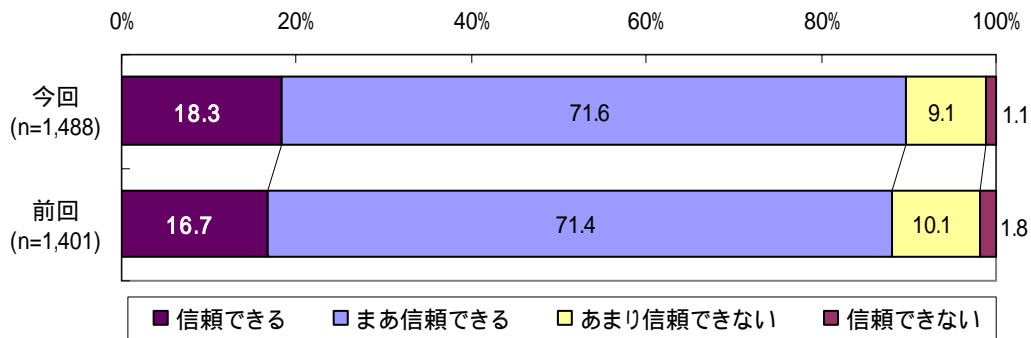
6.2 三鷹市政への満足度



三鷹市政に対する総合的な評価は、「まあ満足」が72.7%で最も多く、「満足」と「まあ満足」を合わせた84.1%の回答者が三鷹市政に対して肯定的な評価をしている。

前回調査と比較すると、「やや不満」の割合が低下し、逆に「満足」と「まあ満足」が増加している。

6.3 三鷹市役所への信頼度



三鷹市役所に対する信頼度は、「まあ信頼できる」が71.6%で最も多く、「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせると89.9%の回答者が、三鷹市役所に対して信頼を寄せている。

なお、前回調査と比較しても、変化はほとんどみられない。

7 . 結果の考察（まとめ）

7 割の施策で満足度向上

施策別の重要度・満足度の平均値について、今回調査と前回調査とを比較した（P.9～10）。前回調査と比べて重要度が高くなった施策は、「再開発の推進」、「商業環境の整備」、「男女平等社会の実現」、「安全で開かれた学校環境の整備」などが上位である。

また満足度は、全施策のうち4分の3の施策で前回調査の平均値を上回っている。特に満足度の向上が顕著であった施策は、「資源循環型ごみ処理の推進」、「都市型農業の育成」、「『効率的で開かれた自治体』の実現と都市自治の確立」、「国際化の推進」などであり、ここ数年間の市政に対する評価が一定程度得られたと解釈できる（ただし、対象者が異なっている（追跡調査ではない）ため、単純に比較するには注意が必要である）。

改善要望度の順位の入替わり

改善要望度の上位施策は、第1位が前回調査に引き続き「安全で快適な道路の整備」、第2位は「子どもの人権の尊重」（前回調査では第4位）、第3位は「子育て支援の充実」（同3位）と続いている。前回調査の順位から大きく入れ替わったのは、第8位の「商業環境の整備」（同18位）と第10位の「再開発の推進」（同17位）で、いずれも三鷹市の活性化につながる施策である。概ね改善要望度の高い上位10施策は、交通環境、子ども、まちづくり、福祉、活性化に関連する施策といえる。

逆に改善要望度が低くなった施策は、第18位の「『効率的で開かれた自治体』の実現と都市自治の確立」（同10位）と第20位の「資源循環型ごみ処理の推進」（同11位）で、これらの施策については満足度の向上（P.10）が反映された結果と考えられる。

施策別の重要度・満足度

改善要望度が最も高かった「安全で快適な道路の整備」に関して、重要であると思っているにもかかわらず、満足度が低い回答者の特徴は、30代～40代、乳幼児や小中学生のいる世帯、居住年数が短いことが挙げられる。つまり、子どもにとって安全な道路とはいえないと思っている市民、あるいは三鷹市へ転居してきた際に快適な道路環境の整備が不十分であると実感した市民にとっては、十分納得のできる効果は表れていないものと考えられる（「都市交通環境の整備」についても同様の傾向が読みとれる）。

それに加えて、改善要望度の高い上位10施策のうち、子どもやまちづくりに関しては乳幼児や子どものいる世帯、福祉に関しては70代以上の回答者の重要度が高くなっており、どのような市民が施策に対して重要と捉えているのか（満足していないのか）、属性（特徴）を捉えることで施策を考える上で必要な視点が導き出される。

三鷹市での居留意向・市政への満足度

今後も三鷹市に住み続けたいと考えている回答者は8割で、住み続けたい理由としては、住環境の良さや利便性が多く挙がっている。この結果は、一見改善要望度が最も高かった「安全で快適な道路の整備」に対する満足度（評価）と矛盾するように捉えられるが、住環境といった場合、最も生活に密着しているインフラの1つが道路であり、それに対する要望が大きいのは当然といえる。

また、三鷹市政に対する満足度については、回答者の8割強が満足している。さらに、市役所に対する信頼度については、回答者の9割が信頼を寄せている。この結果は、これまでの市政が市民の期待に着実に応えてきたことの成果といえる。今後も市民の要望・意向を施策に反映し、少しでも多くの市民の信頼を得るよう努力していくことが必要である。

第3次三鷹市基本計画（第2次改定）に向けた
市民意向調査結果報告書

平成19年3月

発行 三鷹市

編集 三鷹市企画部企画経営室

〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号

電話 0422-45-1151（代表）